

通信諸元（電及呼出符號）ハ狀況特ニ豫想戰況、部下部隊ノ兵力及使用豫定、配當數等ヲ考慮シ所要數ヲ各部隊ニ分配ス此ノ際狀況ニ應ジ所要ノ豫備ヲ控置ス

第四節 飛行場ニ於ケル通信網

一、飛行場内通信連絡施設

飛行場内通信連絡施設ハ主トシテ航空地區部隊ノ構成スル飛行場通信網ニ依リ有線電話、擴聲機、視號通信、音響通信等ヲ使用スルノ外簡單ナル標旗ヲ使用スルコトアリ

二、通信網

飛行場通信網ハ成ルベク飛行部隊指揮用、警備用及一般勤務用ニ區分シテ構成ス

- 1、飛行部隊指揮用通信網ハ飛行部隊指揮官ト其ノ部下隊長トノ間ニ勉メテ直通電話ヲ構成ス
- 2、警備用通信網ハ通常警備中隊長ノ近傍ニ開設スル交換所ヲ基點トシ所要ノ警備小隊長ノ位置、監視哨、火點、對空射擊部隊、對敵照明部隊、航路標識部隊等トノ間ニ構成ス此ノ際視號通信、音響通信等ヲ併用シ且對空監視哨ト對空射擊部隊トノ間ハ直通電話トスルヲ可トス
- 3、一般勤務用通信網ハ通常大隊本部、大隊内各中隊及各機關、戰隊本部戰隊内各中隊、航空通信聯隊ノ通信所、氣象、情報及補給機關等ヲ交換機ニ加入セシメテ構成ス
- 4、飛行場通信網ハ勉メテ既設設備及所要ノ應用材料ヲ利用シ堅固ニ施設シ且他ノ行動ヲ妨害セザ

ル如ク構成スルヲ要ス

應急的ニ構成セル線路ハ機ヲ見テ堅固ニ補修スルヲ要ス

- 5、飛行場通信網ハ航空通信聯隊ニ於テ構成スル通信網ト接續セザルヲ本則トス故ニ兩者ノ連絡便ナル如ク考慮スルヲ要ス

第四章 通信實施

第一節 要則

一、要旨

通信連絡ノ實施ニ方リテハ信務ヲ確立スルヲ要ス之ガ爲指揮官ハ常ニ通信ノ現況ヲ明カニシ勉メテ

電文ヲ簡潔ニシ電報種類ノ選擇ヲ適切ナラシムルト共ニ電報ノ發信ヲ節減スルヲ要ス

- 二、通信ノ現況ヲ明カナラシムル爲ニハ通信網就中通信量、通信系ノ交信時間、電報ノ組立及通信所要時間等ヲ考慮スルヲ要ス

- 三、電文ヲ簡潔ナラシムル爲ニハ内容ノ輕重、緩急ニ應ジ起案文ヲ勉メテ簡潔、平易化スルト共ニ使

用暗號書ノ收容原語ヲ活用スルコト緊要ナリ

- 四、電報種類竝ニ發信權ハ第二節及航空高級指揮官ノ規定セル連絡規定ニ據ルモノトヌ各級指揮官ハ

發信權行使ヲ嚴正ナラシムルト共ニ高位電報ノ濫發ニ陥ラザルノ著意ヲ必要トス

五、電報ノ發信ヲ節減スル爲ニハ内容ノ緩急ニ應ジ輸送機等ノ連絡機關ヲ活用スルト共ニ部内發信電報ヲ統制シ重複又ハ不必要電報ノ發信ヲ禁止スルヲ要ス

六、通信ノ指揮及指導

指揮官ハ部下通信機關或ハ關係通信機關ト連絡ヲ密ニシ之ガ指揮及指導ヲ適切ニシ以テ通信實施ヲシテ戰鬪又ハ作戰指導ニ適應シ戰機ニ投合セシムルヲ要ス

七、通信ノ傍受

指揮官ハ其ノ對空通信所ヲシテ部下飛行部隊ノ通信ヲ傍受シ其ノ狀況ヲ明カナラシメ又所要ニ應ジ關係アル部隊ノ通信ヲ傍受シテ戰鬪指導ニ資スルモノトス

八、無線通信法ハ通常自由通信ニ依リ時トシテ順位通信、時間通信、放送等ニ依ル

第二節 電報ノ種類及發信權並ニ送信順位

作戰ニ關スル通信ハ分秒ヲ爭フノミナラズ通信ノ輻輳ハ取扱ニ誤謬ヲ生ジ作戰就中航空作戰ニ至大ノ影響ヲ及スヲ以テ通信ノ濫用ハ深ク之ヲ戒メザルベカラズ之ガ爲通信ニ關スル諸規定ヲ設ケテ發信權ヲ有スル者ヲ限定セラルルモノトス

一、軍用電報ノ種類

軍用電報ハ其ノ重要度ニ依リ軍機、普通等ニ緊急ノ度ニ依リ特別緊急、緊急、普通、緩送等ニ區分シ各々其ノ發信權ヲ有スル者ヲ限定セラル之ガ細部ハ口述ス

返信人ハ返信ニ限リ往信ト同一順位若クハ其ノ以下ノ電報ヲ發信スルコトヲ得若シ返信人發信權ヲ有セザルカ又ハ自己ノ發信權ヨリ上位ノ返信ヲ發スルトキハ之ニ對スル往信ヲ通信所ニ示スヲ要ス

一作一四〇

發信權ヲ有スル各官ハ電報順位ノ選擇ヲ適切ニシ特ニ特別緊急等ハ眞ニ其ノ必要ヲ認ムル場合ニ限リ發信スルモノトス然ラザレバ同一順位ノ電報輻輳シ遂ニ緊急ナル通信ヲ妨害スルニ至ルノ虞多シ

一作一四〇

二、航空通信網内ニ於ケル發信權

航空通信網ニ於ケル(地上兵團通信網ニ連繫スルモノヲ除ク)電報ノ發信權ハ當該通信網ヲ統轄スル航空高級指揮官之ヲ規定スルモノトス

作戰上緊急ヲ要スル電報ハ作戰緊急ノ指定ヲ行フコトヲ得而シテ該指定ノ電報ノ送信順位ハ同一種類ノ電報ノ首位トス

作網三八

第三節 電話ノ通話權

航空高級指揮官ハ電話ノ輻輳ヲ防ギ重要通信ノ速通ヲ圖ル爲緊急(他ノ通信ヲ中止セシム)至急(普通ニ先ダチ通話ス)普通等ノ區分ヲ設ケ此等ノ通話權ヲ有スル者ヲ指定スルモノトス

實戰ニ於ケル經驗上此ノ方法ヲ講ズルニアラザレバ重要通信ノ速達ヲ期スルコト能ハズト認メラレタル結果ナリ

第五章 通信施設ノ掩護及破壊

敵及敵意ヲ有スル住民ニ對シ通信施設ヲ掩護スルハ其ノ附近ニ在ル軍隊ノ義務トス

作一四一

各部隊長ハ部下ヲシテ通信施設ノ掩護ニ關シ周密ナル注意ヲ拂ハシムルト共ニ所要ニ應ジ斥候或ハ部隊ヲ派遣シ又部隊、住民若クハ部落ニ擔任區域ヲ與ヘテ掩護ノ責ニ任ゼシムルモノトス

作一四一

敵ノ作戰地域内ニ在ル通信施設ハ勉メテ之ヲ破壊又ハ撤去スルモノトス然レドモ其ノ實施ニ方リテハ情報勤務ノ爲之ガ利用上ノ價值ヲ考察スレコト必要ナリ

作一四一

我が軍ノ作戰地域内ニ在ル通信施設ノ破壊及撤去ハ退却ニ在リテハ後衛司令官ノ任トシ駐軍若クハ前進ニ在リテハ敵及敵意ヲ有スル住民相互ニ通信スルノ顧慮アル場合ニ限り獨立セル部隊ノ指揮官之ヲ命令スルコトヲ得然レドモ重要ナル通信施設ノ根本的破壊竝ニ地下線及水底線ノ破壊又ハ撤去ハ獨立シテ作戰スル師團長以上ノ命令ニ依ルモノトス

作一四二

我が軍ノ通信施設ヲ破壊又ハ撤去セル場合竝ニ之ヲ破壊又ハ撤去セラレアルヲ發見セル場合ニ於テハ其ノ地點、日時、方法、程度等ヲ所屬上級指揮官及最寄通信所ニ急報スルヲ要ス

作一四二

第六章 航測勤務

第一節 要 則

一、協力飛行部隊トノ連繫

航測勤務ハ協カスベキ飛行部隊ノ分科、裝備無線機ノ性能、通信法、航進及戰鬪法等ニ適應セシムルヲ要ス之ガ爲航測部隊ハ飛行部隊ト事前ノ協定ヲ綿密ニシ飛行部隊指揮官ノ航測部隊利用ノ企圖竝ニ狀況特ニ氣象ノ變化ニ應ズル行動豫定ヲ詳知シ以テ其ノ勤務ヲ飛行部隊ノ行動ニ即應セシムルノ著意肝要ナリ

航規

二、航 測 通 信

航測通信ハ其ノ特性上動モスレバ我が飛行部隊ノ企圖ヲ暴露スルノ虞アリ故ニ指揮官以下特ニ通信軍紀ヲ嚴正ナラシムルト共ニ通信ノ實施ニ方リテハ注意ヲ倍蕪シ特ニ短切急襲的通信ニ徹シ空界及飛行部隊ノ狀況ニ應ジ通信法ノ選定ヲ適切ニシ不要電波ノ放射ヲ嚴ニ戒ムルヲ要ス

航規

三、測定精度ノ向上

航測勤務ニ方リテハ常ニ測定技能ヲ向上セシムルト共ニ兵器整備ト相俟ツテ誤差測定ヲ綿密周到ニシ以テ測定精度ノ向上ヲ期スルヲ要ス之ガ爲機會ヲ設ケテ誤差測定ヲ實施スルノ外協カスベキ飛行

部隊トノ連繫ヲ緊密ニシ航測成果ニ鑑ミ誤差ノ原因ヲ探求シ手段ヲ盡クシテ之ガ排除ニ勉ムルコト緊要ナリ

四、飛行部隊ノ航測機關ノ利用

飛行團長ハ所屬飛行師團作戰地域内ニ於ケル所要ノ航測機關ノ配置、通信諸元、各測定所ノ位置（經、緯度要スレバ飛行場ニ對スル關係位置）及無線位置線ノ個性等ヲ部下部隊ニ徹底セシムルコト緊要ナリ

又所要ニ應ジ飛行團長ハ航測部隊誤差測定ノ爲飛行機ヲ協力セシムルモノトス
位置決定ニ任ズル航測部隊ノ利用ハ飛行師團内ニ於ケル其ノ兵力及配置、隣接飛行部隊ノ之ガ利用ノ要度等ニ依リ所要ニ應ジ飛行師團長ニ於テ統制セララルコトアリ
飛行團長ハ飛行師團長ノ命令ニ基キ部下部隊ノ之ガ利用ノ要度ヲ考慮シ測定ヲ要求シ得ル指揮官若クハ飛行機、利用シ得ル地域及時機等ニ關シ所要ノ統制ヲ行フヲ要ス

第二節 航測ノ實施

要旨 航測ノ實施ニ方リテハ關係部隊ノ連絡ヲ密ニシ航測及通信ヲ迅速精確ナラシムルヲ要ス蓋シ之ニ依リ良ク飛行部隊ノ航進ヲ容易ナラシメ得ルト共ニ我ガ企圖ヲ秘匿シ且空界ノ輻輳ヲ避ケ得ベキヲ以テナリ

通信系 航測ノ爲ノ通信ハ飛行部隊（機）及航測部隊間ノ通信、航測部隊内ニ於ケル地上相互ノ通信ニ分チ空地相互間ニハ無線電信ヲ、地上相互間ニハ有（無）線電信ヲ使用ス

第一款 航測部隊

部署 航測部隊各級指揮官ハ通常各隊ノ協力部隊ヲ定メ目的及任務ニ應ジ主トシテ無線位置線ノ決定ニ任ゼシメ或ハ位置ノ決定ヲ實施セシムルモノトス狀況ニ依リ臨機協カスベキ飛行部隊ヲ命ジ航測ヲ實施セシムルコトアリ

測定機關ニ對シテハ相異ナル周波數ヲ配當シテ各々飛行部隊（機）ニ協力セシメ或ハ共通ノ周波數ヲ配當シテ同時ニ飛行部隊（機）ニ協力セシメ或ハ之ヲ併用ス

監視及測定 測定及指令機關ハ絶エズ配當セラレシ監視周波數ヲ以テ周密の確ニ空界ヲ監視シ速カニ目標ヲ搜出シテ測定ヲ實施シ迅速精確ニ無線位置線ヲ決定シ或ハ指揮官指揮ノ下ニ位置決定ヲ實施スルモノトス

位置決定ハ其ノ目的ヲ以テ配置セラレタル各單位部隊毎ニ飛行部隊ノ狀況、電波通達距離、無線ノ交角、部隊ノ現況等ヲ考慮シテ二或ハ二個ノ測定機關ヲ以テ實施スルヲ通常トシ所要ニ應ジ指揮官ハ測定ニ適當ナル測定機關等ヲ指定シテ自ら指揮シ或ハ部下ノ指令機關ヲシテ位置決定ヲ實施セシム

第二款 飛行部隊(機)

飛行部隊(機)航測部隊ト協力シテ無線航法ヲ實施スル際ニ於テハ其ノ行動ノ適否及之ニ伴フ通信ノ精否ガ航測成果ニ大ナル影響ヲ及スヲ以テ航測ニ方リテハ飛行機ノ行動ヲ之ガ實施ニ適セシムルト共ニ通信實施ヲ迅速ナラシムルヲ要ス

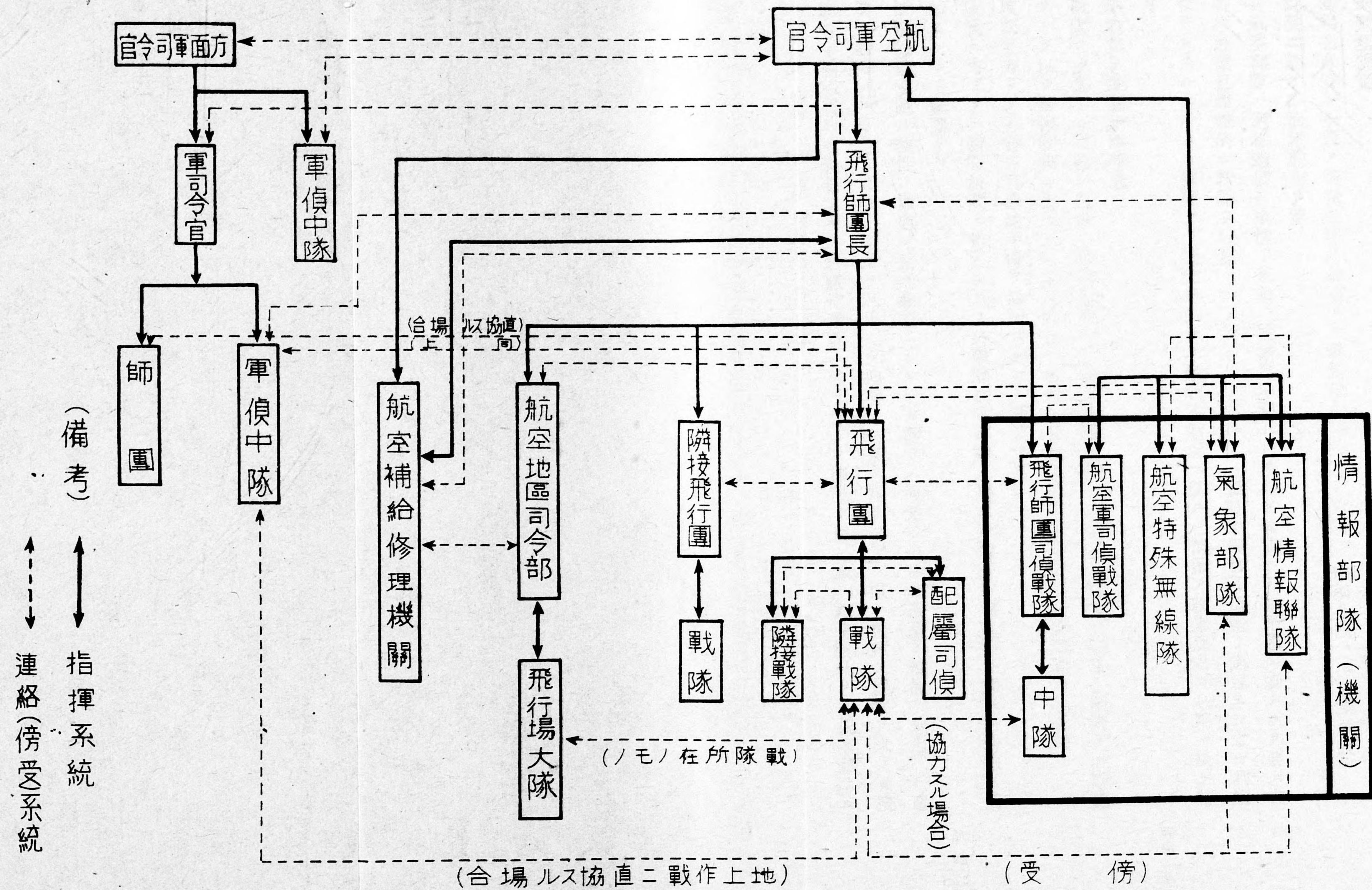
第六篇 情報

第一章 情報勤務一般ノ要領

- 一、情報勤務ノ要
- 二、情報ト通信
- 三、航空部隊情報勤務一般ノ關係及情報ノ送達要領

(作綱三五八、三五九參照)

(作綱三六一參照)



四、情報勤務規定

航空高級指揮官ハ全般ノ情報勤務ヲ統制スル爲情報勤務規定ヲ策定ス(作綱七四、一三四参照)

五、戦闘間ニ於ケル情報勤務ノ要

戦闘間航空部隊ハ適時適切ニ敵情、氣象、技術等ニ關スル情報ヲ收集シ戦闘指導ニ資スルヲ要ス之ガ爲特ニ連續且組織的ニ情報ヲ收集スルト共ニ其ノ成果又ハ資料ノ報告及通報ヲ迅速ニシ之ガ利用ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ變化急激ナル敵航空狀況ニ關スル情報ノ收集及之ガ利用ニ於テ特ニ然リ

航操二五

六、情報収集ノ主要ナル手段

情報収集ノ主要ナル手段ハ搜索、敵情監視、氣象及諜報勤務トス而シテ此等ハ相互ニ緊密ナル關係ヲ有スルヲ以テ情報収集ニ方リテハ其ノ特性ヲ考慮シ長短相補ハシメ之ガ完璧ヲ期スルヲ要ス

情報収集ニ方リテハ特ニ科學的手段ヲ活用スルコト緊要ナリ
情報収集ニ方リテハ情報機關ニ依ルモノノ外戦闘間各部隊ノ得タル敵情、氣象等ニ關スル情報ノ活用ニ勉ムルコト緊要ナリ

航操二六、二七

各種情報収集手段ノ特性ヲ考慮シ長短相補ハシメンガ爲ニハ搜索ニ依リ直接敵ノ位置、兵力、行動施設等ヲ探知スルト共ニ諜報ノ結果ヲ利用シテ搜索ノ結果ヲ補綴確定シ或ハ搜索ノ端緒ヲ求メ又搜索ト同時ニ情報資料ヲ獲得スルノ外敵情監視ニ依リ搜索ノ間隙ヲ補ヒ或ハ敵情變化ノ狀況微細ナル

徵候等ヲ把握シ以テ搜索ト相俟チ敵情ヲ明カナラシムル等ノ著意ヲ必要トス
七、情報ノ報告、通報

情報ノ報告及通報ニ方リ一情報毎ニ速報スベキヤ或ハ數情報ヲ綜合審査シテ行フベキヤハ狀況特ニ
情報ノ種類、戰況、通信連絡ノ便否等ヲ考慮シテ決定シ克ク戰機ニ投ジ之ガ活用ニ遺憾ナカラシム
ルヲ要ス此ノ際判決ト共ニ其ノ理由ヲ簡明ニ報告スルノ著意ヲ必要トス情報ノ報告及通報ヲ迅速の
確ナラシムル爲ニハ通信施設ヲ完整スルト共ニ各種通信連絡手段ヲ活用シ且寫真其ノ他科學的手段
ヲ利用スルコト緊要ナリ

航操二
八、二九

八、情報審査ノ要領

情報ノ利用ニ方リテハ常ニ其ノ出所、收集ノ時機及方法等ヲ明カニシ的確ナル審査ニ依リ其ノ眞否
價值等ヲ判定スルヲ要ス此ノ際特ニ科學的ニ考察スルト共ニ一見些末ナル事項ト雖モ重大ナル情報
ノ端緒トナルコトアルニ注意スルヲ要ス

航操三〇

審査上注意スベキ事項

情報ノ審査ニ方リテハ先入主トナリ或ハ的確ナル憑據ナキ想像ニ陥ルコトナキヲ要ス又一見瑣末ノ
情報ト雖モ全般ヨリ觀察スルカ若クハ他ノ情報ト比較研究スルトキハ重要ナル資料ヲ得ルコトアリ
尙局部的判斷ニ囚レ或ハ敵ノ欺騙、宣傳等ニ依リ往々大ナル誤謬ヲ招來スルコトアルニ注意スルヲ
要ス

作一三七

九、情報記錄

高等司令部ニ於テハ爲シ得ル限り情報記錄ヲ作製シテ審査セル情報ノ整理、利用及傳達ニ便ナラシ
ムルヲ要ス而シテ情報記錄ハ記錄及情報圖ヲ併用スルヲ通常トス其他ノ司令部及本部ニ於テモ亦前
項ニ準ジ情報記錄ヲ作製スルコトアリ

作一七四

第二章 搜索

第一節 要則

航空高級指揮官ノ實施スル搜索ニ關シテハ作綱ニ、軍偵中隊ノ行フ搜索ハ地上關係教程ニ據ル

一、搜索ニ任ズル部隊及搜索手段

1、搜索ハ主トシテ偵察隊ノ任ズル所ナリト雖モ各部隊モ亦自ラ戰鬪ノ爲必要ナル搜索ヲ實施スル
モノトス

航操三一

搜索ハ視察、寫真、電波兵器等ニ依リ或ハ此等ヲ併用スルモノトス

戰鬪間ニ於ケル搜索實施ニ方リテハ其ノ目的、戰況特ニ敵戰鬪機活動ノ狀況ニ鑑ミ所要ノ戰鬪隊
ヲ以テ之ニ協力セシメ或ハ戰鬪機、爆撃機等ヲ以テ搜索ヲ實施セシメラルコトアリ

2、視察ハ空中搜索ノ主要ナル手段ニシテ廣範圍ニ互ル搜索ニ便ナリ

指揮官又ハ幕僚ハ所要ニ應ジ自ラ飛行機ニ依リ戰況、地形其ノ他全般ノ狀況ヲ觀察スルヲ有利トス

作1九一

空中寫真ハ詳細正確ナル情報ヲ得ルノミナラズ之ヲ地圖ニ代用シ或ハ之ニ依リ地圖ヲ作製スル等
重要ナル價值ヲ有ス然レドモ廣汎ナル地域ニ互リ寫真撮影ヲ實施スルハ通常困難ナリ
電波兵器ハ夜暗、氣象等視界ニ依ル影響ヲ受クルコトナク搜索ニ任ジ得ルモ電波上ノ弱點ヲ有ス

二、搜索ノ要領

搜索ニ方リテハ目的、目標ノ種類、戰況等ニ鑑ミ其ノ時機及方法ヲ適切ニシ爲シ得ル限リ敵ノ意表
ニ出デ速カニ其ノ目的ヲ達成スルコト緊要ナリ然レドモ狀況之ヲ要スレバ斷乎敵ノ妨害ヲ排除シテ
搜索ヲ強行スルノ覺悟アルヲ要ス

航操三二

航操三三

三、夜間搜索

夜間ハ細部ニ互ル搜索困難ナリト雖モ晝間ニ於ケル搜索ニ連繫シテ適時搜索ヲ實施シ夜間ニ於ケル
敵情ノ變化ヲ明カニシ敵ノ企圖看破ニ勉ムルコト緊要ナリ

航操三四

夜間ニ於ケル搜索ニ方リテハ特ニ準備ヲ周到ナラシムルト共ニ電波兵器ノ活用ニ勉メ且敵ニ欺騙セ
ラレザルコト緊要ナリ

夜間搜索ヲ行フニ方リテハ空中勤務者ノ選定ヲ適切ニシ且之ニ與フル任務ヲ特ニ單一ナラシムルト

共ニ爲シ得ル限リ速カニ空中勤務者、整備及通信關係者等ニ企圖ヲ示シテ其ノ準備ヲ周密ナラシメ
且航測部隊及氣象部隊トノ連絡ヲ緊密ナラシムルコト緊要ナリ

第二節 司偵隊ノ行フ搜索(司規)

第一款 搜索部署

其ノ一 戰隊

一、任務遂行ニ關スル計畫

戰隊長ハ任務ニ基キ戰鬪各期ニ於ケル情報ノ收集要領其ノ他ヲ計畫シ戰隊ノ任務遂行ヲ勉メテ計畫
組織のナラシムルヲ要ス此ノ際特ニ飛行師團情報收集計畫ニ密ニ吻合セシムルヲ要ス

二、飛行中隊ノ部署

戰隊長ハ任務ニ基キ各飛行中隊ニ達成スベキ目的、搜索又ハ監視區域、期間等ヲ示シテ適宜搜索又
ハ監視ヲ實施セシメ或ハ搜索目的、目標及搜索時機等ヲ示シテ搜索ヲ實施セシムルモノトス狀況ニ
依リ協力スベキ部隊ト搜索區域トヲ配當シ或ハ單ニ協力部隊ノミヲ指定スルコトアリ

三、命令

戰隊長中隊ニ搜索又ハ監視等ヲ命ズルニ方リテハ特ニ其ノ重點、報告、通報ノ時機及要領、通信、連絡ノ要領等ニ關シ的確ニ命令スルヲ要ス狀況ニ依リ搜索ノ手段方法及使用機數等ヲ示スヲ可トスルコトアリ

其ノ二中 隊

一、任務遂行ニ關スル計畫

中隊長ハ任務ニ基キ當時ノ狀況ヲ考慮シテ任務達成ノ順序、出動機數及其ノ裝備、搭乘區分、出動ノ時機、搜索ノ要領、他部隊トノ協同、報告及通報ノ要領等ニ關シ勉メテ長期ニ互リ周到ナル計畫ヲ策定シ出動毎ニ機長ニ任務ヲ附與スルモノトス

中隊長各時期ニ於ケル出動機數及其ノ裝備ヲ定ムルニ方リテハ戰況ノ推移、空中勤務者及保有飛行機ノ狀態ヲ考慮シ中隊ノ任務達成ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス而シテ稍々長期ニ互ル出動機數ヲ概定スルニ方リテハ中隊整備力、機體及發動機ノ使用時間ト出動トノ調和ヲ適切ナラシメ日々ノ出動機數決定ニ方リテハ任務ニ基キ之ガ任務達成ノ難易、人員及器材ノ現況等ヲ考慮シテ定ムルモノトス而シテ如何ナル場合ニ於テモ若干ノ豫備機數ハ常ニ存置シ緊要ナル時機ニ於ケル活動ニ支障ナカラシムルノ著意緊要ナリ

二、搜索ノ部署

中隊長搜索ノ要領ヲ定ムルニ方リテハ搜索ノ目的、範圍及重點ニ基キ搜索スベキ事項ニ就キ要點ヲ把握シテ適時的確ナル情報ヲ入手シ得ル如ク搜索ノ時機及方法、出動機ノ編合等搜索ノ部署ヲ決定スルモノトス

搜索部署ヲ決定セバ爲シ得ル限り速カニ空中勤務者ニ對シ達成スベキ目的及中隊長ノ企圖ヲ明示スルト共ニ一般ノ戰況、敵情、氣象等所要ノ事項ヲ示シ以テ空中勤務者ノ事前ニ於ケル準備ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス遠距離及夜間ニ於ケル搜索ヲ實施セシムル場合ニ於テ特ニ然リ

空中勤務者ニ課スベキ任務ハ搜索ノ目的、任務遂行ノ難易、空中勤務者ノ技能等ニ依リ異ナルモ爲シ得ル限り之ヲ單一ナラシムルヲ可トス遠距離搜索ニ任ジ或ハ夜間又ハ敵戰鬥機ノ跳梁スル空域ニ出動セシムル場合ニ於テ特ニ然リ

中隊長ハ狀況特ニ任務遂行ノ難易、空中勤務者ノ能力等ニ依リ一搜索ヲ以テ真相ヲ把握スルコト困難ナル場合ニ於テハ要スレバ同一目的又ハ目標ニ對シ搜索ヲ反復セシメ或ハ同時ニ數機ヲ以テ各種ノ方法ニ依リ搜索セシメ或ハ爾後ニ於ケル狀況ノ變化ヲ明カナラシムル爲搜索ヲ繼續セシムル等其ノ搜索ヲ常ニ狀況ニ即應セシムルト共ニ所要ニ應ジ自ラ出動シ重要ナル任務ヲ遂行シ又ハ全般ノ狀況ヲ觀察シ中隊ノ指揮ヲ的確ナラシムルコト緊要ナリ

出動ニ方リ中隊長ハ全般ノ狀況ヲ考慮シ重要ナル時機ニ於ケル中隊ノ指揮ヲ澁滞セシメザル如ク考慮スルコト緊要ナリ

三、命令

中隊長空中勤務者ニ任務ヲ附與スルニ方リテハ左記事項中所要ノ件ヲ命令スルモノトス

彼我ノ狀況及戰隊長ノ企圖

中隊長ノ企圖

空中勤務者ノ達成スベキ目的

搭乘區分及使用飛行機

任務遂行ノ手段

離陸又ハ目的地到着時刻、通過地點及時刻

他分科飛行部隊トノ協同連繫

報告、通報、通信實施等

四、寫眞攝影

中隊長ハ特ニ某地域又ハ目標ノ寫眞攝影ヲ命ゼラレタル場合ニ於テハ通常戰隊長ノ企圖ニ基キ彼我戰鬪隊ノ活動狀況、對空火器ノ狀態、天象、氣象等ヲ考慮シテ攝影ノ時機ヲ決定シ且爲シ得ル限り短時間ニ之ヲ完了シ得ル如ク部署スルヲ要ス

中隊長特ニ某地域又ハ目標ノ寫眞攝影ヲ行ハシムルニハ概ネ左記事項中所要ノ件ヲ命令スルモノトス

目的

攝影地域要スレバ其ノ重要部及攝影順序

攝影法

梯尺(斜寫眞ニ在リテハ攝影高度、俯角及攝影方向)

寫眞機ノ種類

縱、横ノ重ナリ

攝影時機

感光材料ノ種類等

第二款 航空狀況ノ搜索

一、要旨

敵航空狀況ヲ搜索スルニ方リテハ其ノ迅速ナル機動性ニ鑑ミ敵ノ存在ヲ豫想スル地域ニ重點ヲ指向スルノミナラズ關係スル全域ニ互リ同時ニ搜索ヲ實施シ又ハ一定地域ノ敵ニ對シ適時時間ヲ間シ繼續的ニ搜索ヲ實施スル等特ニ組織的ニ搜索ヲ部署スルコト肝要ナリ

搜索ニ方リテハ勉メテ敵ノ意表ニ出デ神速ニ目的ヲ達成スルヲ要ス

之ガ爲狀況特ニ氣象、敵戰鬪機ノ活動狀況、敵飛行場ノ配置、電波監視及防空機關ノ狀態、地形等

ヲ考慮シ勉メテ我が企圖ヲ秘匿シテ目標又ハ目的地上空ニ潛入シ得ル如ク出動ノ時機、航路、高度等ノ選定ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

戦闘間搜索ノ時機及地域局限セララルニ從ヒ搜索ヲ強行スルノ要益、増大スルヲ通常トス航空撃滅戰豫期ノ如ク進展セザリシ場合ニ於テ特ニ然リ之ガ爲特ニ堅確ナル意志ト適切ナル部署トニ依リ手段ヲ盡クシテ情報ノ獲得ニ勉ムルヲ要ス

二、飛行部隊ノ攻撃ニ先ダチ飛行場ノ搜索ヲ行フ場合

飛行部隊ノ攻撃ニ先ダチ飛行場ノ搜索ヲ行フニ方リテハ該飛行場ニ於ケル機種、機數及其ノ配置、敵機ノ活動状態、防空機關、氣象狀況等ヲ明カナラシムルヲ要ス此ノ際搜索行動又ハ通信實施ニ依リ我が企圖ヲ事前ニ暴露セザルノ著意緊要ナリ

三、秘密飛行場ノ搜索

秘密飛行場ノ搜索ニ方リテハ敵機ノ活動狀況、進出及歸還方向、一般ノ地形、交通網ノ状態、輸送機關ノ運行狀況等ヨリ豫想スル地域ニ對シ好機ニ乗ジ或ハ連續的ニ搜索ヲ實施シ其ノ端緒ヲ捕捉スルコト肝要ナリ此ノ際敵機ニ追尾セシメテ其ノ著陸地ヲ搜索シ又ハ豫想地域ニ對シ寫真搜索ヲ實施スル等ノ著意ヲ必要トス

四、殘存セル敵航空部隊ノ搜索

殘存セル敵航空部隊ノ狀況ヲ搜索スルニ方リテハ敵ノ使用ヲ豫想スル地區ニ對シ同時ニ或ハ反復シ

テ計畫的ニ搜索シ或ハ所在ヲ確認セシ飛行場ヲ監視セシムルヲ要ス此ノ際特ニ敵ノ潛伏セル飛行場ノ發見ニ勉メ以テ敵機ノ所在ヲ明カナラシムルコト緊要ナリ

五、敵航空勢力ノ恢復狀況ノ搜索

敵航空勢力ノ恢復狀況ヲ搜索スルニ方リテハ廣ク飛行場ヲ搜索シ且搜索ノ時機及方法ヲ不規ナラシムル如ク部署スルヲ要ス此ノ際飛行場ノ修復狀況、機數及機種ノ變化ノ狀況特ニ新型機ノ有無又ハ各種資材ノ集積狀況、施設ノ増強、防空部隊ノ活動狀況等ヲ明カナラシムルコト緊要ナリ

六、夜間飛行場ノ搜索

夜間飛行場ヲ搜索スルニ方リテハ該飛行場ニ於ケル敵飛行部隊ノ存否ヲ明カナラシムルト共ニ其ノ移動ノ徵候ヲ捕捉スルニ勉ムルヲ要ス之ガ爲目的ニ依リ特ニ搜索ノ時機ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

七、邀撃又ハ追尾攻撃ノ爲ノ搜索

戰隊長ハ邀撃又ハ追尾攻撃ノ爲飛行師團長ノ計畫ニ基キ左記事項ニ就キ所要ノ件ヲ定メ關係部隊ノ邀撃戦闘及追尾攻撃ト共ニ豫メ之ヲ部下部隊ニ徹底セシメ置クヲ要ス

各中隊ノ搜索及哨戒ノ區域竝ニ其ノ要領

各飛行團トノ協同要領

情報ノ收集及傳達ノ要領

戰備ノ度竝ニ勤務ノ要領

警報ニ對スル處置

其ノ他必要ナル事項

敵機來襲ニ方リテハ戰隊長ハ直チニ敵主力ニ追尾シテ其ノ歸還ノ狀況ヲ明カニスルト共ニ敵ノ歸還ヲ豫想スル飛行場ヲ監視セシムルヲ要ス
開戰前ノ越境搜索ハ飛行師團長ノ命令ニ依ルモノトス

第三款 地上狀況ノ搜索

- 一、地上狀況ノ搜索ニ方リテハ目標ノ狀態、附近ノ地形、防空施設ノ狀況、氣象狀況等ヲ明カナラシムルト共ニ攻撃部隊ト緊密ナル連繫ヲ圖リ以テ該部隊ノ攻撃ノ時機、他點及方法ヲ機宜ニ適セシムルコト緊要ナリ
- 二、敵機甲部隊ノ搜索ニ方リテハ勉メテ遠距離ニ之ヲ發見シ爾後之ガ移動狀況竝ニ附近ノ地形ヲ搜索シ以テ我ガ攻撃部隊ノ攻撃時機、地點及方法ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ
- 三、各種交通線若クハ移動中ノ敵兵團又ハ輸送機關等ヲ搜索スルニ方リテハ此等ノ遮斷又ハ攻撃ニ適スル地點、時機要スレバ攻撃法等ニ關シ著意スルコト緊要ナリ
- 四、空中挺進部隊ノ戰鬪ニ協スルニ方リテハ左記諸項ノ任務ニ服スルヲ通常トス

戰鬪準備間ニ在リテハ占領目標、跳下及著陸地域、敵情特ニ敵航空部隊、對空火器、地形及氣象狀況ノ搜索等

戰鬪實施ニ方リテハ其ノ直前ニ於ケル氣象狀況及敵情ノ搜索時トシテ挺進部隊ノ誘導等跳下及著陸後ニ在リテハ跳下狀況ノ搜索、戰場監視及目標附近ノ敵機活動狀況ノ搜索等
第一次挺進部隊ノ歸還及第二次以降ノ挺進部隊ノ行動間ニ在リテハ該部隊ノ航進空域ニ於ケル敵機及氣象狀況ノ搜索等

第四款 上陸點及洋上目標ノ搜索

一、上陸點ノ搜索

上陸點ノ搜索ニ方リテハ寫真ニ依ルヲ通常トシ單ニ上陸海岸ノ狀況ノミナラズ上陸後ニ於ケル戰鬪ヲ考慮シ廣ク地形特ニ上陸點掩護ニ適スル地形ノ有無、交通網等ヲ搜索スルヲ要ス此ノ際搜索ノ時機及方法ヲ適切ナラシメ嚴ニ企圖ノ秘匿ヲ圖ラザルベカラズ之ガ爲搜索ハ勉メテ一航過ニ依リ要スレバ數日ヲ間シテ更ニ捕綴シ完成スルノ著意ヲ必要トス

二、洋上目標搜索一般ノ要領

洋上目標又ハ廣漠地ノ搜索ニ方リテハ搜索ノ目的、目標ノ種類、氣象、海岸線ノ形狀、飛行場ノ位置等ヲ考慮シ左記事項中所要ノ件ニ就キ周到ナル計畫ヲ立案シ之ニ基キ空中勤務者ヲ部署スルヲ要

搜索範圍及時機、

搜索方式、搜索高度及機數

搜索基點

航法諸元ノ獲得利用

通報、報告特ニ在空機相互連絡

目標發見後ニ於ケル行動要領

航測ニ關スル事項等

洋上目標又ハ廣漠地ノ搜索ノ爲搜索方式ノ選定ニ方リテハ目標ノ種類、地形、海岸線ノ形狀、島嶼基點ノ位置及數、氣象等ヲ考慮シ搜索ニ罅隙ナカラシムルト共ニ航法容易ニシテ搜索範圍ヲ大ナラシムルノ著意ヲ緊要トス

三、洋上目標搜索上ノ注意

洋上目標又ハ廣漠地ノ搜索ニ方リテハ一般ノ狀況、明暗ノ度等ヲ考慮シ搜索時機ノ選定ヲ適切ニシ活動目標ノ搜索ニ方リテハ搜索面ノ移動ニ留意スルヲ要ス之ガ爲先ヅ敵ノ夜間機動ノ初期又ハ末期ニ於ケル狀況ノ捕捉ニ勉ムルト共ニ其ノ前進方向ヲ判斷シ搜索要領ヲ適切ナラシムルヲ要ス
洋上目標ノ搜索ニ方リテハ晝間ニ於テ敵艦船ノ捕捉ニ勉メ且之ヲ逸セザル如ク觸接ヲ密ナラシムル

コト肝要ナリ之ガ爲常ニ在空機トノ連絡ヲ確保シ所要ノ觸接機ヲ待機シテ機ヲ失セズ空中交代セシメ或ハ日沒時ニ於ケル航路、速度等ニ依リ翌拂曉時ニ於ケル位置ヲ推定シ或ハ關係飛行部隊ニ觸接ヲ委讓スル等ノ著意ヲ必要トス

第五款 背後連絡線又ハ政(戰)略上ノ要地ノ搜索

背後連絡線又ハ政(戰)略上ノ要地ヲ搜索スルニ方リテハ鐵橋、停車場、港灣等ノ交通施設及交通上ノ要點、連絡飛行場其ノ他軍事、政治、生産上ノ重要施設等ニ關シ其ノ弱點又ハ攻撃容易ナル地點等ヲ搜索スルヲ要ス此ノ際敵飛行部隊就中戦闘機ノ有無及配置、防空機關ノ狀態、氣象狀況等ヲ併セ搜索シ攻撃ノ時機及要領ノ決定ニ資スルノ著意ヲ必要トス
遠隔セル要地ノ搜索ニ方リテハ中隊長ハ特ニ任務ヲ單一ナラシメ氣象狀況ヲ考慮シテ搜索ノ時機及行動ヲ適切ナラシムルコト必要ナリ

第六款 情報ノ報告、通報及審査ノ要領

一、中 隊

中隊長ハ獲得セル情報ヲ直チニ審査シ機ヲ失セズ之ヲ關係指揮官ニ報告、通報スルモノトス
情報ノ審査ニ方リテハ中隊長ハ搜索ノ時機、方法等ヲ考慮シテ其ノ正否、價值ヲ判斷シ且新舊情報

ヲ比較研究シテ情報ノ精度ヲ良好ナラシムルヲ要ス此ノ際獲得セル情報ニシテ所期ノ目的ニ合セザルモノアルトキハ適宜搜索ヲ復行シテ真相ノ把握ニ勉ムルコト肝要ナリ

二、戰 隊

攻撃成果又ハ敵航空狀況ノ搜索結果等直後ノ戰鬪指導ニ緊要ナル事項ハ内容ノ充實、審査ノ完全ヲ待ツコトナク逐次速報シ爾後之ヲ補綴スルト共ニ適時某期間ノ綜合セル情報ヲ報告スルモノトス
機上ヨリ報告又ハ通報シタル事項ト雖モ著陸後更ニ整理報告スルモノトス然ルトキハ其ノ旨ヲ附記スルヲ要ス

空中勤務者ノ實感ヲ聽取スルハ重要ナル價值ヲ有ス故ニ戰隊長ハ狀況ニ依リ空中勤務者ヲ關係指揮官ノ許ニ派遣シ直接報告セシムルヲ可トスルコトアリ

情報審査ノ爲戰隊長ハ各中隊ノ得タル情報ニ就キ偵知ノ時機、方法等ヲ考慮シ或ハ直接空中勤務者ノ實感ヲ聽取シ或ハ空中寫眞ニ依リ檢討シ其ノ正確ノ度ヲ判定シ次デ之ト關係諸情報トヲ比較綜合シテ判斷スルコト緊要ナリ

第三章 敵情監視

第一節 要 則

一、敵情監視ノ目的

敵情監視ノ目的ハ主トシテ敵ノ行動ヲ監視又ハ索出シ各部隊特ニ飛行部隊ヲシテ機ヲ失セズ其ノ成果ヲ利用セシムルト共ニ搜索及警備ノ補助タラシムルニ在リ

航操三五

二、敵情監視ノ手段

敵情監視ハ對空監視、電波警戒、哨戒、空中監視等ニ依ルモノトス

航操三六

對空監視ハ航空情報聯隊監視中隊、航空地區部隊等之ニ任ジ電波警戒ハ情報聯隊電波警戒中隊之ニ任ズ哨戒トハ某空域又ハ其海面等ヲ劃シテ飛行機又ハ艦艇等ノ現出ヲ「見張ル」意ナリ中監視トハ主トシテ敵飛行場上空ニ進出シテ敵機ノ動靜ヲ監視スル行動ヲ稱シ何レモ司偵隊爆撃隊等之ニ任ズ

三、敵情監視ニ方リ著意スベキ事項

- 1、敵情監視ニ方リテハ對空監視、電波警戒、哨戒等ノ特質ヲ考慮シ其ノ特性、遺憾ナク發揮シテ彼此長短相備ハシムルコト緊要ナリ
- 2、敵情監視ニ方リテハ彼我ノ識別困難ナルヲ通常トス之ガ爲飛行部隊指揮官以下彼我飛行機ノ識別、飛行實施等ニ關スル規定ヲ嚴守スルト共ニ其ノ行動ヲ適時關係情報機關ニ通報スルコト緊要ナリ
- 3、哨戒及空中監視ハ我ガ戦力ヲ消耗スルコト大ナルヲ以テ之ガ濫用ヲ戒メ且我ガ企圖ノ秘匿ニ注意スルヲ要ス
- 4、哨戒又ハ空中監視ニ任ズル飛行機ハ敵ヲ發見セバ別命ナク之ニ觸接シ其ノ行動ヲ明カナラシムルモノトス

航操三八

航操三九

第二節 對空監視

一、對空監視ノ種類及監視ノ手段

對空監視ハ航空情報聯隊情報中隊、國土防衛ノ爲ノ防空監視機關等ニ依リ組織的監視網ヲ構成スルト共ニ航空地區部隊、防空部隊等ニ依リ局地ニ於ケル敵情監視ヲ實施スルモノトス
監視ノ手段ハ主トシテ目視、聽音等ニ依ル

二、彼我飛行機ノ識別 ハ極メテ困難ナルコト多シ而シテ之ガ實施ハ高級指揮官ノ定ムル情報勤務規定等ニ依ル外友軍飛行部隊ノ行動ハ勉メテ對空監視機關ニ通報スルヲ要ス然レドモ企圖秘匿ノ爲端末ノ監視哨ニハ之ヲ通報セザルコトアリ

三、對空監視網ノ推進

對空監視網ハ作戰ノ推移ニ伴ヒ機ヲ失セズ推進或ハ配備ノ變更ヲ行ヒ戰況ニ即應セシムルヲ要ス之ガ爲豫メ作戰ノ推移ヲ考慮シ所要ノ準備ヲ爲シ置クヲ要ス

四、情報ノ報告通報

對空監視機關ハ收集セル情報ヲ其ノ都度速カニ所屬及關係指揮官ニ報告若クハ通報シ特ニ命ゼラレタル場合ノ外審査ヲ實施セザルヲ通常トス
對空監視機關ノ得タル情報ハ彼我飛行部隊ノ行動ヲ混淆セルコト少カラザルヲ以テ之ガ利用ヲ適正ナラシムル爲ニハ航空高級指揮官又ハ利用部隊ハ的確ナル審査ヲ實施スルヲ要ス
地上監視機關ニ依リ獲得セル情報ヲ某期間ニ互リ綜合スルトキハ敵ノ行動ニ關シ價值アル情報ヲ得ルモノトス
情報ノ速達ヲ圖ル爲情報以外ノ連絡ハ成ルベク情報用通信以外ノ手段ニ依リ又之ヲ使用スル際ニハ夜間若クハ通信ノ閑散時機ヲ利用スルノ着意ヲ必要トス

第三節 電波警戒

一般ノ要領ハ第二節對空監視ニ準ズルモノトス

一、電波警戒ニ任ズル部隊

電波警戒ハ航空情報聯隊警戒中隊ニ依リ行フ

警戒中隊ハ航空情報聯隊ニ於ケル情報網ノ骨幹ヲ成形シ電波警戒機ニ依ル敵情監視ニ任ズルモ狀況ニ依リ所要ノ兵力ヲ以テ飛行部隊ノ戰鬥ニ直接協同シ要スレバ之ガ誘導ニ任ズルコトアリ

二、電波警戒ノ特質

電波警戒ハ遠距離ニ於テ敵ヲ確實ニ捕捉シ之ガ方向竝ニ距離ヲ測定シ得ルノミナラズ天候氣象ノ影響ヲ受クルコト少キ利點ヲ有スルモ死角、固定反射、主衝撃波反射等ノ爲警戒不能又ハ困難ナル區域ヲ生ジ敵ノ攻撃ニ依リ器材ノ破損ヲ受ケ易ク且敵ノ高度、兵力等ヲ的確ニ測定シ得ザルノ不利アリ

情規

三、情報ノ報告通報

電波警戒機ニ依ル對空警戒ハ積極神速ナル情報傳達ニ依リ始メテ其ノ威力ヲ發揮シ得ルモノトス故ニ指揮官ハ手段ヲ盡クシテ通信連絡ヲ完整シ情報通信實施ノ要領ヲ狀況ニ適應セシメ特ニ死節時ヲ皆無ナカラシムルヲ要ス此ノ際電波ノ利用ニ勉ムルト共ニ特殊ノ情報裝置ニ依リ情報ヲ的確迅速ニ

傳達シ得バ有利ナリ
電波情報勤務ニ於ケル情報傳達ト情報審査トハ併行シテ行フモノトシ審査ノ爲傳達ヲ緩慢ナラシムルハ嚴ニ之ヲ戒ムルヲ要ス中隊ノ情報成果ハ直チニ之ヲ放送スルモノトス
特ニ必要アル關係部隊ニ對シテハ所要ノ情報ヲ別箇ニ傳達ス

情規

第四節 哨戒

一、哨戒ニ任ズル部隊

哨戒ハ主トシテハ邀撃又ハ海洋ニ於ケル作戰ニ方リ敵機、艦船等ニ對シ行ヒ司偵隊、重爆隊等之ニ任ズルヲ通常トス所要ニ應ジ其ノ他ノ部隊モ亦哨戒ニ任ズルコトアリ

二、敵機ニ對スル哨戒

中隊長敵機ニ對スル哨戒ニ任ズルニ方リテハ既得情報ニ基クノ外全般ノ狀況ヲ考慮シ豫想スル敵機ノ進路及高度ヲ判斷シ哨戒要領特ニ哨戒空域又ハ航路、基準高度、服務時間、報告及通報ノ時機及要領ヲ定ムルモノトス哨戒ニ方リテハ哨戒機ハ飛行場間竝ニ哨戒機ト關係飛行隊、防空部隊及航測部隊トノ通信連絡ヲ緊密ナラシムルト共ニ關係部隊ヨリ得タル情報ヲ適時ニ通報シ哨戒ノ實施ヲ確實容易ナラシムルコト緊要ナリ

司規

三、敵艦船ニ對スル哨戒

海洋目標ノ搜索ニ準ズルモノトス

四、觸接ノ要領

航進中ノ敵部隊ニ觸接スルニ方リテハ該敵ニ對シ視察容易ニシテ且自機ノ存在ヲ秘匿シ得ルガ如キ適切ナル關係位置ヲ選定スルト共ニ敵ノ位置、兵力及行動特ニ敵部隊ノ價值ヲ判斷シ搜索ノ重點ヲ逸セザルヲ要ス此ノ際敵ノ欺騙行動ニ致サレザルノ著意緊要ナリ而シテ行動間特ニ索敵警戒ヲ嚴ニシ且自機ノ位置ヲ標定シアルヲ要ス

敵艦船發見後之ニ觸接スルニ方リテハ敵ノ航進方向及速度ヲ基準トシ某時間後ノ豫想位置ヲ判定シ之ニ對シ間歇的ニ進出シテ行フヲ通常トス此ノ際敵ノ航進方向及速度ヲ正確ニ把握スルト共ニ極力我が觸接企圖ヲ暴露セザル如ク行動スルヲ要ス之ガ爲當時ノ氣象狀況特ニ視程、太陽ノ方向及高度、行動空域等ヲ考慮シ勉メテ高々度ヲ以テ遠距離ヨリ觸接スルコト緊要ナリ飛行機ヲ有スル敵艦船部隊ニ對シ特ニ然リ

司規

第五節 空中監視

一般ノ要領ハ第四節ヲ準用ス

第四章 氣象

第一節 要 則

一、要 旨

氣象ハ航空部隊就中飛行部隊ノ行動ニ密接ナル關係ヲ有シ之ガ克服利用ハ飛行部隊戰力發揮ノ根基タリ故ニ指揮官就中飛行部隊指揮官ハ氣象ニ關スル十分ナル識能ヲ具備シ常ニ附近ニ位置スル氣象部隊トノ連絡ヲ確保シ又氣象部隊ハ常ニ飛行部隊ニ對シ積極的ニ協力シ氣象ノ克服利用ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操四〇

二、氣象資料ノ收集

空中監視ノ爲ニハ司偵戰隊長ハ其ノ目的ニ應ジ特ニ監視スベキ飛行場、時機若クハ期間ヲ明示シ所 司規

要ノ中隊ヲシテ之ニ任ゼシムルヲ通常トス

飛行場ヲ監視セシムル場合ニ於テハ監視ノ目的、敵情就中飛行場附近ニ於ケル戰鬥機ノ活動状態ヲ考慮シテ目標、監視時間、行動ノ要領、報告及通報ノ時機及方法等ニ關シ所要ノ事項ヲ定ムルヲ要ス 司規

航空部隊ハ關係氣象機關ト連繫シ氣象ノ統計的觀察ニ基キ速カニ作戰地一般ノ氣象ニ關スル特性ヲ明カナラシムルト共ニ適時戦闘(勤務)實施ノ爲必要ナル氣象資料ヲ收集シ以テ戦闘(勤務)ノ實施ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

三、氣象判斷

航操四一

氣象情報ノ利用ニ方リテハ飛行部隊指揮官ハ任務ヲ基礎トシ部隊ノ狀態ヲ考慮シ自ラ適切ナル氣象判斷ヲ實施スルヲ要ス之ガ爲所要ニ應ジ攻撃ノ爲必要ナル航路上及目標附近ノ氣象狀況ヲ搜索スルト共ニ縦ヒ氣象狀況不良ナル場合ニ於テモ克ク其ノ變化ヲ豫察シテ之ヲ克服利用シ或ハ局地ニ於ケル氣象ヲ巧ニ利用スルノ著意ヲ必要トス

飛行部隊指揮官ノ氣象判斷ハ氣象機關ノ行フ技術的判斷ニ自己ノ任務、敵情、部下部隊ノ狀況等ヲ

航操四二

加味シテ實施スルモノニシテ氣象機關ノ行フ判斷トハ自ラ差異アルモノトス

作綱第三

四、飛行部隊(機)ハ別命ナク行動間ニ於ケル氣象狀況ヲ報告スルト共ニ關係航空部隊ニ通報スルモノトス

參照三末項

第二節 氣象勤務

氣象勤務ニ關シテハ本節ノ外氣象學教程ニ據ル

一、氣象勤務ノ要

氣象勤務ノ要ハ正確ナル氣象觀測ト迅速確實ナル通信トニ依リ所望空域ノ氣象實況ヲ至短時間ニ收集整理シ長期ニ亙ル不斷ノ調査研究ノ成果ト相俟ツテ或ハ長期間ノ氣象判斷ヲ實施シテ航空高級指揮官ノ作戰指導ニ資シ或ハ飛行部隊ノ爲隨時的確具體的ナル氣象資料ヲ提供シ其ノ戦力ヲ遺憾ナク發揮セシムルニ在リ

作綱三九

二、氣象勤務ノ主眼

氣象勤務ハ觀測、豫報、調査、通信等ノ諸勤務ヨリ成リ其ノ勤務ノ主眼ハ一途ノ方針ノ下ニ此等ノ綜合成果ヲ遺憾ナク發揮シ適時的確ニ各部隊ヲシテ活用セシムルニ在リ

觀測ノ要ハ地上及高層ノ氣象要素ヲ適時精確ニ觀測シ且迅速ニ之ヲ整理報告スルニ在リ

豫報ノ要ハ各種氣象情報ヲ收集綜合シテ氣象ノ現況及其ノ推移ヲ明カナラシメ各種ノ目的ニ應ジ適時的確ナル氣象判斷ヲ行フニ在リ

調査ノ要ハ各種氣象資料ヲ收集シ目的ニ應ジ之ヲ整理統計シテ氣象ノ特性ヲ把握シ各種氣象判斷ノ資料ヲ得ルニ在リ

通信ノ要ハ各部隊間ニ通信網ヲ構成シ迅速確實ナル通信ヲ實施スルト共ニ適時正確ナル氣象報及時報ノ放送ヲ行フニ在リ

氣規

三、氣象情報收集ノ手段

氣象情報ノ收集ハ氣象觀測、内外氣象機關ノ氣象報、氣象搜索、諜報等ニ依ルノ外調査及統計ノ利

用等ニ依リ實施セラル之ガ爲主トシテ氣象機關（氣象部隊、既設氣象機關等）及航空情報部隊ニ依ルノ外狀況之ヲ要スレバ偵察隊ヲシテ敵地ノ氣象狀況ヲ搜索セシメ又飛行部隊ノ出動間得タル現地ノ氣象情報ヲ收集整理シ之ガ活用ニ遺憾ナカラシムルモノトス

敵地ノ氣象情報ハ勉メテ之ヲ窃聽利用スルコト緊要ナリ然レドモ敵地域ノ氣象搜索、進攻時ノ氣象實況氣象圖等ニ基ク適正ナル判斷ト對照シ敵ニ欺瞞セラレザルノ著意ヲ必要トス

四、氣象情報ノ傳達

氣象情報ハ主トシテ氣象報若シクハ天氣圖及其ノ他ノ氣象圖等ニ依リ傳達セラル

氣象報ハ實況氣象報、氣象豫報ニ區分ス

實況氣象報ハ各地ニ於ケル所定ノ時刻ノ氣象狀態ヲ發表シ氣象判斷ノ資ニ供スルモノニシテ通常一般、航空、高層及氣流ノ各實況氣象報ニ區分ス

1、一般實況氣象報ハ利用目的ニ依リ全報及速報ニ、其ノ内容ニ依リ陸上及海上ニ分テ所要ノ氣象圖ノ作製及氣象判斷ニ資ス

2、航空實況氣象報ハ所要ノ地點ニ於ケル氣象實況ヲ頻繁ニ速報シ主トシテ航空部隊ノ活動ニ資ス

3、高層實況氣象報ハ氣壓、氣溫、濕度等ノ狀態ヲ又氣流實況氣象報ハ風向及風速ヲ各々高度別ニ報ジ航空部隊ノ活動ニ資スルノ外一般氣象判斷等ニ資ス

氣象豫報ハ豫想期間ノ長短ニ依リ之ヲ短期豫報（概ネ一日間ニ就テ判定ス）、長期豫報（概ネ數日間ニ就テ判定ス）及警報ニ區分スルモノトス

1、短期豫報ニ在リテハ作戰上ノ要度ヲ考慮シ通常所要ノ地域ヲ適宜ノ區域ニ分チ午前、午後、夜間（要スレバ前半夜、後半夜ニ分ツ）、拂曉、薄暮等ノ各時期ニ於ケル天氣、氣溫、風速、視程、雲、霧、雷、降水、黃沙、風塵、凍結高度其ノ他ニ關シ所要事項ノ狀態及爾後ノ推移ニ就キ判定シ通報スルモノトス

2、長期豫報ニ在リテハ前項ニ準ジ氣象推移ノ大勢ヲ通常數日毎ニ區分シテ判定シ且爲シ得レバ氣象變化ノ週期ヲモ判定シ通報スルモノトス

3、暴風雨（雪）、河川ノ氾濫、飛行機ノ凍結、濃霧、雷、黃沙等作戰行動ニ重大ナル影響ヲ及ス現象ノ生起ヲ判定セル場合ニ於テハ各地域毎ニ適時警報ヲ發スルモノトス

氣象報ノ傳達ハ放送ニ依ルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ有線通信ヲ利用スルコトアリ
氣象放送ニ方リテハ暗號ヲ用フルヲ本則トシ一定ノ様式ニ依リ通信ノ簡易迅速ヲ圖ルモノトス而シテ敵ノ窃聽ヲ考慮シ屢々使用暗號ヲ變更シ又ハ積極的ニ敵ヲ欺騙スル等ノ處置ヲ講ズルノ著意ヲ必要トス

五、時 報

時報ハ通常毎日定時ニ正確ナル時刻ヲ一定ノ様式ニ依リ放送スルモノトス

六、氣象勤務ノ統轄

氣象勤務ハ航空最高指揮官統轄ノ下ニ氣象部隊、飛行部隊、航空情報隊等ノ外所要ノ既設氣象機關等ヲシテ之ニ任ゼシムルモノトス而シテ氣象部隊全般ノ配置ハ隣接氣象機關ノ配置竝ニ之トノ連絡ヲ考慮シ航空最高指揮官之ヲ定ムルモノトス

同一飛行場ニ各部隊ノ氣象機關位置スル場合ニ於テハ上級指揮官ハ要スレバ各氣象機關ヲ合同シテ勤務セシメ以テ氣象勤務ノ適正ヲ圖ルコト緊要ナリ

第三節 氣象搜索(司規)

一、要旨

飛行部隊指揮官ハ屢々攻撃ノ爲必要ナル氣象狀況ヲ搜索ス氣象狀況ノ搜索ハ協力(配屬)司偵機ヲ用フルコト多シ而シテ此ノ際搜索機ノ航進ヲ容易ナラシムルノ手段ヲ講ズルト共ニ通信連絡ノ確保ニ勉ムルノ著意ヲ必要トス

二、攻撃實施前ニ於ケル搜索

飛行部隊攻撃實施前ニ於ケル氣象狀況ノ搜索ハ氣象ノ現況爲シ得レバ之ガ推移ノ狀況ヲ明カナラシムルヲ要ス

之ガ爲全般ノ氣象判斷ニ基キ搜索スベキ航路、著意スベキ要點要スレバ搜索高度、報告ノ時機及要領等ヲ決定スルモノトス此ノ際狀況ニ依リ各方面ニ數機ヲ出動セシムルコトアリ

三、夜間ニ於ケル氣象狀況ノ搜索

夜間氣象狀況ヲ搜索スルニ方リテハ特ニ搜索スベキ要點ヲ定メ該地點ニ於ケル氣象ノ現況ヲ明カナラシムルヲ要ス此ノ際地形竝ニ氣象ノ特性ニ就キ事前研究ヲ周密ナラシムルコト緊要ナリ

第五章 諜報及防諜

一、諜報ノ目的及諜報ニ任ズル機關

諜報勤務ハ通常特殊ノ組織的機關ニ依ルベシト雖モ各部隊モ亦手段ヲ盡クシ機會ヲ捉ヘテ諜報資料ノ獲得ニ勉ムルヲ要ス航空作戰ノ爲ニハ特ニ敵飛行部隊ノ移動ヲ諜知スルノ外其ノ補充補給及各種航空施設ノ狀況竝ニ敵ノ背後連絡線及政(戰略)上ノ要地ノ状態、航空基地ノ狀況、氣象等ヲ諜知スルヲ要ス而シテ技術的資料ヲ獲得スルハ特ニ必要トス

二、諜報勤務實施上着意スベキ件

諜報勤務ハ敵ノ國民性、作戰地住民ノ性情、作戰經過ノ時期等ニ適應スル如ク企畫シ又敵ノ宣傳ニ關シテハ其ノ真相ヲ明カナラシムルコト緊要ナリ而シテ住民ノ感情ハ諜報勤務ニ影響ヲ及スコト大

ナルヲ以テ之ニ對スル施設、態度等ヲシテ諜報勤務ノ實施ニ便ナラシムル如ク留意スルヲ要ス

三、諜報手段

1、無線通信ノ傍受、有線通信ノ窃聽等ニ依リ重要ナル事項ヲ知得シ得ルコトアリ
特ニ敵航空部隊ノ無線通信實施ノ狀況及通信内容ヲ諜知スルハ敵ノ企圖、兵力、配置、活動狀況等ヲ判斷スル爲有力ナル資料ナリ

軍隊敵ノ暗號、略號、通信ニ關スル規定等ヲ押收又ハ諜知セルトキハ速カニ高級指揮官ニ報告スルモノトス

2、(イ) 俘虜ノ言、敵ノ携帶又ハ遺棄セル文書、地圖、兵器及材料特ニ飛行機、化學戰資材、敵

爆(砲)彈ノ破片等ハ有利ナル情報資料タルベキヲ以テ之ガ收集利用ニ遺憾ナキヲ要ス

作一三五

(ロ) 敵ノ飛行場又ハ航空施設ヲ占領シ或ハ敵機ヲ墜シタル場合ニ於テハ各種ノ諜報資料ヲ獲得シ得ベキヲ以テ航空部隊ハ地上兵團ト緊密ニ連繫シ機ヲ失セズ之ヲ利用スルヲ要ス

(ハ) 住民ノ言ヲ聽キ又新聞紙、信書、電信及郵便局、通信所、官公署、旅舍等ニ在ル文書ヲ押收シ其ノ他各種ノ徵候等ヲ判斷スルトキハ重要事項ヲ探知シ得ルモノトス斯クノ如キ資料ハ搜索部隊、斥候等ノ外各部隊モ亦之ガ收集ニ勉ムルヲ要ス

文書ハ時トシテ視エ難キ方法ニ依リ記載セラレアルヲ以テ之ガ調査ニハ特別ノ注意ヲ必要トス
(ニ) 俘虜ヲ獲タルトキハ直チニ其ノ携帶書類ヲ押收シ要スレバ緊要事項ヲ訊問シ其ノ結果ト共

ニ速カニ上級指揮官ニ送付スルヲ要ス比ノ際俘虜ヲ獲タル地點日時ヲ明カナラシムルコト必要ナリ俘虜ノ訊問ハ各人ニ就キ場所ヲ異ニシテ之ヲ行ヒ其ノ陳述スル所彼此一致スルノ多寡ニ依リ狀況ノ眞否ヲ判定スルモノトス

俘虜ニ對シ訊問スベキ主要ナル事項概ネ左ノ如シ

所屬部隊及其ノ任務、飛行場、編制、裝備、器材ノ性能、戰鬥法、新ニ支給セラレタル資材、最近受ケタル命令、其ノ部隊ニ連繫スル他ノ部隊、高級指揮官ノ氏名及所在、戰鬥ノ狀態、特ニ實施シアル訓練、補給ノ狀態、志氣ノ振否、團結ノ良否行動地域ノ地形等當時ノ狀況ニ適應セシメ縦ヒ時間ノ餘裕少キ場合ニ於テモ所屬部隊、其ノ位置等ハ必ず之ヲ訊問スルヲ要ス
俘虜ノ訊問ニ方リ既ニ得タル諸情報ヲ補助トスルトキハ大ナル效果ヲ收メ得ルコトアリ

3、住民ノ意向、態度、敵飛行場ノ施設及集積ノ狀況、敵兵ノ宿營又ハ休憩ノ跡、交通、通信機關設置ノ方向及其ノ破壊ノ方法等ヲ仔細ニ觀察スルトキハ敵情考察ノ憑據ヲ得ルコトアルヲ以テ之ガ利用ヲ忽セニスベカラズ

4、諜者ハ其ノ使用適切ナルトキハ大ナル效果ヲ擧ゲ得ルコトアリ而シテ其ノ使用ニハ細心ノ注意ヲ必要トス諜者ニハ我が知ラント欲スル點ハ之ヲ明示スベキモ我が目的ハ決シテ之ヲ知ラシメザルヲ要ス

諜者ニ與フル任務ハ成ルベク之ヲ單一ニシ同一目的ノ爲個々ニ任務ヲ與ヘタル二名以上ヲ別々ニ

派遣スルヲ可トス

一三八

敵方ヨリ來レル我が諜者ハ訊問スルコトナク之ヲ派遣シタル司令部等ニ護送スルモノトス敵ノ諜者ノ疑アル者ノ取扱モ亦之ニ準ズ

作I一三〇

四、防 諜

諜報ハ敵モ亦絶エズ之ヲ行フベキヲ以テ各級指揮官以下常ニ周到ナル注意ヲ拂ヒ防諜上遺憾ナキヲ期スベシ

敵ノ諜報ヲ防ギ且軍機ノ漏洩ヲ避クル爲高級指揮官ハ所要ノ規定ヲ設ケ之ヲ嚴守セシムルヲ要ス軍ノ祕密ハ私信ニ依リ漏洩スルコト少カラズ故ニ各人ハ私信中ニ我が軍ノ企圖、狀態、部隊號、地點、日時等ヲ記載セザルヲ要ス之ガ爲各部隊長ハ所要ニ應ジ部下ノ私信ヲ點檢スルコトヲ得作戦地ニ於テハ住民モ亦屢々意想外ノ信號、無線通信、鳩等ヲ利用シ間諜行爲ヲ爲スコトアリ故ニ細心ノ注意ヲ以テ其ノ行動ヲ監察シ之ガ取締ニ遺漏ナキヲ要ス

作I一二九

飛行機搭乗者等ニ與フル命令等ニシテ敵手ニ入ルノ虞アルモノハ單ニ口速ニ止ムルカ或ハ我が目的、行動等ニ關スル事項ノ筆記ヲ避ケシムルカ若クハ受令者了解スルト同時ニ之ヲ燒却セシムルモノトス

空中勤務者ハ特ニ機密保持ニ留意シ克ク諸規定ヲ嚴守スルト共ニ變ニ臨ンデハ先ヅ祕密兵器及書類等ノ處置ニ遺憾ナキヲ期セザルベカラズ

第七篇 機動及展開

第一章 一般ノ要領

要 旨

航空部隊ハ集中、展開、飛行場變換等ノ爲屢々機動ヲ實施スルモノトス

航操四四

機動及展開ニ方リテハ我が企圖ヲ秘匿シテ所命ノ兵力ヲ所命ノ時機及地點ニ移動シ速カニ戦闘準備ヲ完整スルヲ要ス

航操四五

一、高級指揮官ノ部署

航空軍司令官又ハ飛行師團長ハ集中ノ爲上級指揮官ノ命令ニ基キ通常集中計畫ヲ策定シ之ニ基キ各部隊ノ集中行動ヲ律ス

作綱二五

展開ノ爲飛行師團長ハ展開計畫ヲ策定シ地上勤務部隊、飛行部隊ニ所要ノ件ヲ命令ス

(作綱一一八、一二〇、一二二參照)

集中又ハ展開ヲ部署スルニ方リテハ空中機動部隊及地上(水上又ハ海上)機動部隊ニ區分スルヲ通常

二、各部隊ノ機動

トス而シテ兩者ノ機動ハ爾後ニ於ケル作戰(戰闘)準備ヲ考慮シテ密接ニ吻合セシムルコト緊要ナリ 作網二七

機動及展開ハ高級指揮官ノ計畫ニ基キ實施スルヲ通常トス之ガ爲指揮官ハ彼我ノ航空狀況、部下部隊ノ狀態、使用シ得ベキ輸送機關、機動距離、航路又ハ航空路ノ狀態、航空基地(飛行場)ノ配置及其ノ狀態、交通網ノ狀況、氣象、季節等ヲ考慮シ之ガ實行ノ爲其ノ細部ヲ計畫スルモノトス 航操四六

高級指揮官ヨリ機動ノ開始及完了ノ時機、輸送機關ノ配當、企圖秘匿等ニ關スル要項ノミヲ命令セラレタル場合ニ於テハ通常自ラ計畫實施スルモノトス

1、飛行部隊

飛行部隊ノ機動ニ方リテハ輸送飛行部隊、滑空飛行部隊等ヲ配屬又ハ協力セシメラルルヲ通常トスルモ各部隊ハ爲シ得レバ所屬飛行機ヲ活用シ機動ヲ輕捷ナラシムルモノトス而シテ一部地上(水上又ハ海上)機動ノ止ムヲ得ザル場合ニ於テモ指揮機關、空中勤務者、所要ノ地上勤務者等ハ手段ヲ盡クシテ空中機動ニ依ラシムルヲ要ス 航操五一

機動ヲ輕捷ニシ展開ヲ整齊ナラシムル爲ニハ關係部隊トノ連繫ヲ緊密ニシ之ガ準備ヲ周到ナラシムルト共ニ戰闘任務達成ニ直接關係ナキ資材ノ携行ヲ極力制限シ爲シ得ル限リ地上(水上又ハ海上)機動ニ依ル兵力及資材ヲ少カラシムルコト緊要ナリ

2、地上勤務部隊

地上勤務部隊ノ機動ニ方リテハ任務、利用スベキ輸送機關ノ狀態等ニ依リ其ノ要領ヲ異ニスルモ主力ハ地上(水上又ハ海上)機動ニ依ルヲ通常トス 航操五二

三、機動間ニ於ケル補給、整備、其ノ他ノ諸勤務

機動ニ方リ空中部隊ノ補給、整備、通信、氣象、警備、休宿、給養、衛生等ノ諸勤務ニ關シテハ飛行師團長ノ命令ニ基キ大本營直轄航空路上ノ飛行場ニ在リテハ飛行場司令官ノ其ノ他ノ飛行場ニ在リテハ飛行場司令、航空地區部隊等ノ區處又ハ援助ヲ受クルモノトス又地上機動ニ方リテハ所要ニ應ジ通過地點ヲ管轄スル高級指揮官ノ區處ヲ受クルモノトス 規

四、機動ニ方リ注意スベキ事項

機動ノ爲ニハ其ノ準備及實施ニ方リ特ニ企圖ノ秘匿ニ勉ムルト共ニ常ニ對敵即應ノ態勢ヲ以テシクク狀況ニ應ジ得ルヲ要ス 航操四七

1、企圖ノ秘匿

機動ニ方リ我ガ企圖ヲ秘匿スル爲ニハ空中機動ニ在リテハ機動ノ時機、航路ノ選定、通信管制等ヲ適切ニシ地上(水上又ハ海上)機動ニ在リテハ特ニ防諜ヲ嚴ナラシムルコト緊要ナリ

2、裝備兵器ノ整備

指揮官ハ上級指揮官ノ命令ニ基キ部下部隊ノ狀態特ニ裝備兵器ノ狀況ヲ考慮シ機動開始ニ先ダチ勉メテ之ヲ整備シ機動實施ヲ整齊ナラシムルト共ニ直後ニ於ケル戰闘ニ支障ナカラシムルヲ要ス 航操四八

3、關係機關トノ連繫

機動ニ方リテハ上級指揮官ノ企圖ニ基キ關係輸送機關トノ連繫ヲ緊密ナラシムルト共ニ豫メ中間及到著飛行場ニ於ケル準備ヲ完整シ整齊迅速ニ機動ヲ完了スルヲ要ス之ガ爲指揮官ハ機動開始ニ先ダチ豫メ所要ノ人員ヲ中間及到著飛行場ニ派遣シテ所要ノ準備ヲ整ヘシムルト共ニ要スレバ適時自ラ到著飛行場ニ先行シ上級指揮官ノ企圖ニ基キ爾後ノ戦闘準備ヲ指導スルコト緊要ナリ

航操五〇

五、機動及展開ノ爲飛行部隊ト關係諸部隊トノ連絡要領(規)

1、飛行團長ハ機動及展開準備ノ爲所要ノ部員以下ヲ先遣シ戰隊ノ先遣人員ヲ區處シテ機動途中ニ於ケル補給、宿營、給養等ニ關シ所要ノ部署ヲ行フト共ニ展開航空基地ノ偵察ヲ實施セシムルモノトス

2、戰隊長ハ戰隊ノ機動ニ關スル計畫ヲ策定セバ之ニ基キ要スレバ機ヲ失セズ展開飛行場及中間飛行場ニ於ケル關係部隊ト連絡シ戰隊ノ空中及地上機動兵力、到著豫定日時、到著後ニ於ケル戰隊行動ノ概要等ヲ通達スルト共ニ飛行團長ノ命令ニ基キ空中輸送ニ依リ所要ノ人員、兵器及器材ヲ先遣スルモノトス

先遣隊ハ中間飛行場及展開飛行場ニ於ケル關係諸部隊ト連絡シ所要ノ事項ヲ協定シ戰隊展開ノ爲所要ノ準備ヲ整フルト共ニ此等部隊ヲシテ戰隊ノ活動ニ即應スル如ク諸準備ヲ整ヘシムルモノトス

先遣隊ノ關係諸部隊ト協定スベキ事項概ネ左ノ如シ

(1)、中間又ハ集中飛行場ニ於ケル飛行場司令官及關係諸部隊ト協定スベキ事項
 整備、補給、警備要スレバ修理
 飛行場ノ使用特ニ飛行機ノ繫留
 空中機動ノ爲ノ保安施設ノ利用
 休宿、給養及衛生等

(2)、展開飛行場ニ於ケル關係諸部隊ト協定スベキ事項

イ、飛行場大隊ト協定スベキ事項

飛行場勤務ニ關スル事項

飛行機及附屬設備ノ配置(偽飛行機ノ配置及其ノ變更ニ關スル事項ヲモ含ム)

勤務班ノ差出

飛行場ノ警備

燃料、彈藥、酸素等ノ補給

飛行場内有線通信網ノ構成

情報ノ交換

飛行場ノ補修、誘導路及掩體ノ構築

始動機、補給機、自動車ノ使用
休宿、給養及衛生等

ロ、航空補給修理諸廠ト協定スベキ事項

飛行機及兵器ノ修理及整備

資材ノ補給等

ハ、獨立整備隊及移動修理班ト協定スベキ事項

戰鬪整備援助ノ範圍及協力要領等

ニ、航空通信部隊ト協定スベキ事項

通信所ノ配置及設備竝ニ線路ノ構成

使用周波數及通信開始時刻

電報配達要領等

ホ、氣象部隊ト協定スベキ事項

氣象情報入手ノ時機及要領

氣象情報ノ交換等

ヘ、航測部隊ト協定スベキ事項

航測部隊ノ配置及協力要領

通信諸元、通信法

誤差測定等

ト、情報部隊ト協定スベキ事項

情報ノ傳達手段

情報審査ノ範圍等

第二章 空中機動

第一節 要則

一、空中機動ノ要領

1、高級指揮官ノ部署(作綱二八ニ據ル)

2、機動實施部隊

空中機動ニ方リテハ特ニ其ノ目的、部隊ノ大小、戰況、氣象、機動距離等ヲ考慮シ全力同時ニ又ハ小部隊毎ニ逐次ニ機動スルモノトス

二、空中機動ニ方リ著意スベキ件

1、空中機動ニ方リテハ特ニ指揮掌握ヲ確實ナラシムルト共ニ機動間ニ於ケル事故機ノ絶滅ニ勉メ手段ヲ盡クシテ所命ノ時機迄ニ機動ヲ完了スルヲ要ス之ガ爲小部隊毎ニ逐次ニ機動スル場合ニ於テハ指揮官ハ先頭部隊ヲ直率シ有力ナル將校ヲシテ後方部隊ヲ指揮セシメ、同時ニ機動スル場合ニ於テモ亦右ニ準ジテ處置シ事故機ノ推進ニ任ゼシムルコト緊要ナリ

航操五四

2、空中機動ニ方リテハ勉メテ躍進距離ヲ大ナラシムルヲ要ス之ガ爲氣象判斷及航路ノ選定ヲ適切ニシ爲シ得ル限リ一舉ニ所望ノ距離ヲ躍進スルコト緊要ナリ

中間飛行場ノ使用ニ方リテハ飛行場ノ状態ニ應ジ豫メ整備及給油ノ援助ニ關シ關係部隊ト緊密ニ連絡シ死節時ヲ減少スルノ處置ヲ講ズルコト緊要ナリ

航操五五

3、空中機動ニ方リ中間飛行場ヲ使用スル場合ニ於テハ上級指揮官ノ命令ニ基キ中間飛行場ニ於ケル飛行場勤務、休宿、給養、衛生等ニ關シ飛行場司令官又ハ飛行場司令ノ區處ヲ受クルモノトス

航操五六

4、空中機動ハ晝夜ヲ通ジテ之ヲ實施シ特ニ企圖秘匿上夜間ヲ利用スルコト緊要ナリ之ガ爲保安機關ノ活用ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操五七

機動ノ爲夜暗ヲ利用スルニ方リテハ爲シ得レバ出發及航進ノ爲夜暗ヲ利用シ到着ハ勉メテ晝間ナラシムルノ著意ヲ必要トス氣象狀況ノ變化ヲ豫想スル場合ニ於テ特ニ然リ又保安機關ヲ活用スル場合ニ於テハ保安通信ニ依リ我が企圖及行動ヲ暴露セシメザル如ク通信管制ヲ嚴ナラシムルコト

緊要ナリ

航規

5、空中機動ニ方リテハ飛行機及滑空機ノ搭載量ヲ考慮シ過搭載トナラザル如ク注意スルト共ニ機動間ニ於ケル對敵即應ノ戰備ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操五八

6、氣象ノ利用 空中機動ノ爲ノ計畫ハ氣象狀況ヲ考慮シ十分ナル餘裕ヲ存セシムルト共ニ其ノ實施ニ方リテハ特ニ氣象判斷ヲ適切ニシ機動空域ノ氣象狀況ニ應ジ或ハ豫定ヲ變更シテ氣象狀況ノ變化ニ先立チ該空域ヲ通過躍進シ或ハ一時停止シテ兵器整備ヲ實施スル等氣象利用ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

第二節 各部隊ノ空中機動

第一款 飛行部隊(規)

其ノ一 飛行團

一、空中機動ノ爲ノ計畫

空中機動ノ爲ニハ飛行師團長ノ命令ニ基キ狀況特ニ航空路又ハ航路ノ狀況、機動距離ノ長短、飛行場、保安部隊及施設、季節、氣象等ヲ考慮シ之ガ實施ニ關シ左記事項中所要ノ件ヲ定ムルモノトス

機動開始及完了ノ時機

梯團區分、輸送機ノ配當

各梯團ノ躍進要領特ニ航空路又ハ航路若クハ航進空域

保安施設ノ利用

中間飛行場ノ利用、飛行機ノ整備及補給ノ要領

機動間ニ於ケル通信連絡

機動間ニ於ケル警戒及企圖秘匿

戰備ノ度

休宿及給養等

二、戰隊ノ部署

空中機動ニ方リテハ季節、氣象、航路及其ノ長短、企圖秘匿ノ要度、飛行場施設等ヲ考慮シ戰隊毎

ニ概ネ一團トナリ又ハ戰隊ニ對シ某期間ヲ配當シ適宜ノ部隊毎ニ梯次ニ移動セシムルモノトス

其ノ二 戰 隊

一、要 旨

戰隊ハ成シ得ル限り空中機動ニ依リ機動ヲ輕捷ナラシムルヲ要ス

空中機動ニ依ルベキ兵力及器材ハ配當輸送機ノ數ニ依リ異ナルモ止ムヲ得ザルモ指揮機關及所要ノ整備力ハ空中部隊ト共ニ機動セシムルコト緊要ナリ

二、機動ニ關スル計畫

機動及展開ノ爲戰隊長ハ飛行團長ノ命令ニ基キ空中部隊及地上部隊ノ機動ノ細部ヲ計畫シ之ガ實施ニ任ズルモノトス狀況ニ依リ其ノ要項及輸送機關ノ配屬ノミヲ命令セラレ戰隊ニ於テ計畫實施スルコトアリ

空中機動ノ爲戰隊長ノ計畫スベキ事項概ネ左ノ如シ

梯團區分

移動整備力ノ搭乘區分及其ノ編合

輸送機ノ配當

先遣部隊ノ派遣

機動要領

航程、出發及到着時刻

隊形又隊勢

航路又ハ航進空域及豫備航路

利用飛行場

保安施設ノ利用

通信連絡及通信管制

落伍機ノ收容

裝備、給油、兵器及器材ノ更新及交付

企圖秘匿

警備、休宿、給養及衛生

空中機動ノ爲ニハ兵器特ニ飛行機ノ整備狀況、全般ノ氣象配置、操縦者ノ伎倆等ヲ考慮シ空中機動ノ態勢特ニ梯團區分、日々ノ航程、氣象狀況ノ變化ニ應ズル豫備航路等ヲ定メ且中間飛行場、通信、航測及氣象部隊等ノ利用ニ關シ周到ニ計畫スルヲ要ス

三、機動ノ部署

空中機動ノ爲戰隊ハ通常戰隊長指揮ノ下ニ航進態形ヲ以テ航進スルモノトス遠距離機動ノ爲ニハ誘導機ヲ設ケ落伍機收容ノ爲本部及各中隊ヨリ所要ノ人員ヲ選抜シテ最後尾ヲ續行シ之ガ收容ニ任ゼシムルヲ通常トス狀況ニ依リ中隊毎ニ機動セシムルコトアリ協力又ハ配屬セシメラレタル輸送機ハ各中隊ニ配屬シ中隊ト一團トナリテ行動セシムルヲ通常トス狀況ニ依リ之ヲ統一シテ別ニ一梯團ヲ編成シ輸送機ノ指揮官ヲシテ之ヲ指揮セシムルコトアリ

第二款 地上勤務部隊

地上勤務部隊等ノ空中機動ニ方リテハ上級指揮官ハ輸送間之ニ任ズル輸送飛行部隊(機長)ト被輸送部隊トノ指揮關係ヲ明確ナラシムルヲ要ス

航操五九

第三節 空中機動ニ伴フ保安勤務

第一款 航空路

- 一、内地及作戰地、作戰地相互間竝ニ作戰地内ノ主要地點ヲ連絡スル爲一貫セル計畫ノ下ニ航空路ヲ設置セラルルモノトス而シテ航空路ハ大本營又ハ航空軍司令官之ヲ定ム
- 二、航空路施設ノ主要ナルモノハ之ヲ連結スル飛行場竝ニ通信保安施設トシ此等施設ハ飛行部隊ノ機動力ヲ増大セシムルヲ主眼トシテ配置セラル

第二款 作戰地ニ於ケル航空路部隊ノ任務

航空路部長ハ通常航空軍司令官ニ隸シ航空路上ニ於ケル航空保安要スレバ航空通信竝ニ航空路上ヲ機動スル飛行部隊ノ整備、警備、宿營、給養、衛生等ヲ擔任ス

第三款 航空路部隊ト飛行部隊トノ協同

一、要 旨

飛行部隊機動ニ方リ航空路ヲ利用スル時ハ概メ保安部隊ト連絡シ之ガ利用ニ遺憾ナカラシムルト共ニ保安部隊ハ常ニ積極的ニ飛行部隊ニ連絡シ事前ニ其ノ機動ノ計畫ヲ承知シ適切ナル協力ニ依リ其ノ機動實施ヲ確實神速ナラシムルコト緊要ナリ

作網二九〇

二、氣象機關トノ連絡

保安部隊ハ特ニ氣象機關トノ連絡ヲ緊密ニシ常ニ氣象狀況ヲ明カニシ飛行部隊ノ要求ニ應ジ即時所望ノ事項ヲ通報シ得ルノ準備ヲ完整シ置クコト緊要ナリ又航空路ヲ利用スル飛行部隊ハ所要ニ應ジ航空路上ノ氣象實況ヲ保安部隊ニ通報スルト共ニ著陸後通過セル航空路ノ氣象狀況ヲ到着地ノ保安部隊ニ通報スルモノトス

作網三九一

三、保安ニ關スル情報ノ通報、報告

航空高級指揮官ハ連絡規定、氣象勤務規定等ニ於テ保安ニ關スル情報ノ通報及報告ノ要領ヲ定メ飛行部隊、保安部隊、航空通信部隊、氣象部隊等相互ノ協同ヲ適切ナラシムルモノトス

作網三九二

第三章 地上(水上又ハ海上)機動

第一節 地上(水上又ハ海上)輸送機關並ニ其特性

第一款 通 則

一、要 旨

1、輸送ハ軍ノ集中、機動、補給等用兵上極メテ重要ニシテ鐵道、船舶、自動車、動物等ニ依ル鐵道及船舶ハ輸送力大ニシテ航空大部隊ノ運用ハ之ニ待ツ所最モ大ナリ自動車及動物ハ主トシテ戰場ニ於テ於チ各々其ノ特性ヲ發揮ス

作一

2、戰時軍隊ノ輸送ハ複雑ニシテ空中、地上及海上ヨリスル各種ノ妨害ヲ排シ極寒若クハ酷熱ヲ制シ給養ノ粗惡ヲ忍ビテ連續長時日ニ互リ實施セザルベカラズ故ニ軍隊ハ戰時輸送ノ特質ヲ理解シ輸送ノ計畫、處理又ハ實施ニ任ズル機關ノ職域ヲ尊重シ此等機關トノ連絡ヲ密ニシ軍紀ヲ嚴守シ克ク困苦ニ堪ヘ以テ輸送實施ヲ整齊確實ナラシムルコト緊急ナリ

作二

二、軍事鐵道機關

鐵道業務ハ野戰鐵道司令部、鐵道監部、鐵道輸送司令部、停車場司令部及此等ノ支部之ニ任ズ此等ヲ軍事鐵道機關ト稱ス

野戰鐵道司令部ハ外地ニ於ケル鐵道業務ヲ、鐵道監部ハ戰場若クハ其ノ附近ニ於ケル鐵道業務ヲ鐵道輸送司令部ハ通常内地ニ於ケル鐵道業務ヲ實施シ各々鐵道輸送ニ關シ計畫處理ニ任ズ
停車場司令部ハ某停車場若クハ某地域ニ在ル隣接數停車場ニ於ケル人馬、材料（荷物ヲ含ム以下同ジ）ノ搭載、卸下ニ關シ所要ノ事項ヲ規定シ且之ガ指導監督ニ任ジ又通常輸送中ノ給養ヲ擔任ス
野戰鐵道司令官、鐵道監、鐵道輸送司令官及此等ノ設ケタル支部長ハ輸送ノ計畫 處理ノ爲必要ノ件ニ關シ又停車場司令官及支部長ハ當該停車場ニ於ケル乘（下）車若クハ給養ニ關シ乘車部隊ヲ區處ス狀況ニ依リ鐵道隊ヲシテ戰線ニ近キ鐵道業務ヲ擔任セシムルコトアリ

作四四

三、海 運 地

船舶輸送ノ爲海運基地、海運主地及海運補助地ヲ設ク
海運基地ハ軍事輸送上樞要ナル内地港灣ニ之ヲ設ケ通常船舶輸送ノ策源地トナス
海運主地ハ外地主要ノ港灣ニ之ヲ設ケ通常船舶輸送ノ端末ニ於ケル中樞地トナス
海運補助地ハ海運基地又ハ同主地以外ニ於テ必要ナル港灣ニ之ヲ設ク

四、軍事船舶機關

船舶業務ハ船舶司令部、船舶兵團船舶團、船舶輸送隊及船舶輸送地區隊之ニ任ズ此等ヲ軍事船舶機關ト稱ス
船舶司令部ハ通常海運基地ニ設置セラレ上陸作戰及海上輸送、海運資材ノ整備補給等ニ任ズ

船舶兵團及船舶團ハ船舶司令官ニ隸シ上陸作戰ニ任ズ上陸作戰任務ニ服スル場合ニ於テハ多クハ現地軍司令官ノ指揮ヲ受クルモノトス
船舶輸送隊及船舶輸送地區隊ハ船舶司令官ニ隸シ海上輸送ニ任ズ作戰輸送及局地輸送ニ關シテハ現地軍司令官ノ區處ヲ受クルモノトス
船舶輸送隊、船舶輸送地區隊、船舶團等ハ各地ニ支部、出張所、碇泊場等ヲ配置シ海上輸送ヲ行フ
軍事船舶機關ノ長ハ輸送ノ實施上必要ナル事項ニ關シ乘船部隊ヲ區處ス
大ナル河川ヲ利用スル船舶業務ハ前諸項ニ準ズ

五、輸 送 計 畫

輸送計畫ハ作戰上ノ要求ヲ充足スルコトヲ主眼トシ又技術的状況ヲ顧慮シテ策定スルヲ要ス
鐵道又ハ船舶輸送ヲ要スル軍隊ハ通常輸送請求表ヲ軍事鐵道機關又ハ軍事船舶機關ニ提出スルモノトス該機關ハ之ニ依リ輸送計畫ヲ策定シ所要ニ應ジ關係輸送機關ニ之ガ實施ヲ命令若クハ要求スルト共ニ乘車又ハ乘船部隊ニハ通常輸送計畫表ヲ以テ指示スルモノトス時トシテハ軍隊自ラ輸送計畫ヲ作爲スルコトアリ

作七七

輸送請求表、輸送計畫表 作III附錄參照

六、軍 用 輸 送 券

鐵道及船舶輸送ニ在リテハ通常軍用輸送券ヲ以テ輸送ノ證票トス

七、輸送指揮官

各列車又ハ各輸送船ニ於ケル乗車若クハ乗船部隊ノ高級先任ノ將校（各部將校ヲ長トスル部隊ノミヲ輸送スル場合ニ於テハ高級先任ノ各部將校）ハ之ヲ輸送指揮官トス但シ將官ハ要スレバ他ノ將校ヲシテ此ノ任ニ當ラシムルコトヲ得

輸送指揮官ハ乘（下）車又ハ乗船及上陸ノ指揮、輸送中ノ警備等ニ任ジ給養ニ關スル事項ヲ區處ス而シテ軍紀ノ維持、諸法則ノ實施ハ各部隊長ノ責任トス、

輸送指揮官ハ特ニ規定セラレタル場合ノ外列車又ハ輸送船ノ發着及運行ニ干渉シ得ザルモノトス

八、乘（下）車船スル軍隊ト軍需鐵道（船舶）機關トノ協定

大部隊ノ鐵道又ハ船舶輸送ニアリテハ高級指揮官ハ成ルベク乗車又ハ乗船二日前迄ニ所要ノ人員ヲ乗車地又ハ乗船地ニ先遣シテ乗車又ハ乗船等ニ關シ軍事鐵道機關又ハ軍事船舶機關ト必要ノ協定ヲ爲シ之ニ基キ逐次到着スル部隊ニ乗車又ハ乗船ノ爲ノ區分、日時及集合、船内ノ視察、給養、警戒勤務等ニ關シ所要ノ指示ヲ爲サシム

小部隊ノ輸送ニアリテモ所要ニ應ジ前項ニ準ジ處置ス

下車又ハ上陸ニ方リテモ前諸項ニ準ズ

九、輸送業務上注意スベキ事項

鐵道及船舶業務ハ極メテ複雑ニシテ一局部ノ故障ト雖モ累ヲ全局ニ及スコト多キニ鑑ミ軍隊ノ計畫

作一〇一

及規定ヲ守リ發車又ハ出港ヲ遲延セシメ或ハ之ヲ遲延セシムルガ如キ請求ヲ爲サザルヲ要ス

輸送請求及輸送計畫中ニハ軍隊ノ企圖、兵種、兵力等軍機ニ互ル事項多キヲ以テ此等ニ關聯セル書類等ニシテ苟モ機密探知ノ資料タルベキモノノ取扱ニ關シテハ特ニ注意スルヲ要ス

作一〇二

十、輸送ニ於ケル警戒

重要ナル停車場、海運地等ノ警戒特ニ防空ノ爲ニハ特定ノ部隊ヲ配置セラルルヲ通常トス乗車又ハ乗船部隊ハ此等ノ處置ヲ講ゼラレアル場合ニ於テモ要スレバ更ニ所要ノ處置ヲ講ズ

停車場及海運地ノ直接警戒軍機保護等ノ爲ニハ通常衛兵ヲ所要ニ應ジ防空部隊ヲ配置ス衛兵ハ最寄軍隊若クハ乗車又ハ乗船部隊ヨリ之ヲ派遣シ停車場司令官又ハ碇泊場司令官ノ指揮ヲ受ケシムルモノトス

作一〇三

輸送機關ハ敵飛行機ノ攻撃目標トナリ又船舶ニアリテハ敵艦艇特ニ潜水艦飛行機ノ襲撃ヲ受クルノ虞アルヲ以テ此等ニ關スル自衛ノ手段ヲ整フルノ外海上交通保護機關等トノ連絡ヲ緊密ニシ經路、時期、行動、隊形等ノ選擇ヲ適切ニシ且爲シ得レバ偽裝或ハ陽動ヲ行フ等秘匿ノ手段ヲ講ズルコト緊要ナリ

作一〇四

第二款 鐵道

一、要旨

鐵道ハ軍作戰ノ基線トシテ戰略上重大ナル意義ヲ有ス特ニ航空作戰ニ在リテハ資材ノ集積、補給、機動等鐵道ニ負フ所大ニシテ航空大部隊ノ作戰ハ鐵道ヲ離レテハ其ノ遂行至難ナリ

二、鐵道輸送

鐵道輸送ハ通常軍用列車ニ依ルモ時トシテ交通列車ノ一部ヲ利用スルコトアリ
軍用列車ノ組成ハ輸送ノ目的、乘車部隊ノ種類、鐵道ノ能力等ニ依リ異ナルモ成ルベク輸送力ヲ最大限ニ利用シ且勉メテ乘車部隊ノ建制ヲ保持スル如ク定ムルヲ通常トス然レドモ輸送能率ヲ大ナラシムル爲概ネ兵種ニ應ジ列車ノ組成ヲ一定シ之ニ部隊ヲ配當スルコトアリ

作一七

作一八

第三款 船 舶

一、要 旨

船舶ハ物資輸送及海洋ニ於ケル作戰ニ於テ重大ナル地位ヲ有ス特ニ海洋ニ於ケル航空基地ノ設定及推進資材ノ集積等ハ終始船舶輸送ニ依ルヲ要シ其ノ成否ハ航空作戰ヲ左右ス
船舶輸送ハ通常船團ヲ編成シ之ニ直接護衛ノ艦艇及航空機ヲ附シ行フ特ニ危險海面ニ於テハ現地陸海軍協定シテ敵機ニ對スル警戒ヲ嚴ニシ目的港ニ近ヅクニ從ヒ益々航空機ニ依ル直衛ヲ強化シ泊地ニ達スルヤ強大ナル航空機ノ連續直衛ノ下ニ短切揚搭ヲ敢行スルモノトス
船舶輸送ハ氣象及季節ノ交感、敵ノ妨害等豫期セザル幾多ノ障礙ヲ受ケ輸送計畫ニ大ナル齟齬ヲ來

スコト屢ミナルベキヲ以テ之ガ計畫ニハ所要ノ彈力性ヲ保有セシムルト共ニ軍事船舶機關及軍隊ハ準備ヲ周到ニシ萬難ヲ排シ所期ノ目的ヲ達スル如ク勉メザルベカラズ(作III五一)

作III五一

二、乘 船 區 分

乗船區分ハ輸送ノ目的、輸送船ノ性能特ニ搭載力、通信裝備、部隊ノ建制、海上ノ狀況、上陸地ノ景況等ヲ考慮シ通常輸送計畫ニ任ズル軍事船舶機關ノ長之ヲ定ム而シテ軍隊ハ作戰方針又ハ戰鬪計畫、自隊ノ實情、揚陸區分及要望ヲ述ベ特ニ航空作戰ノ遂行ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ
船内ニ於ケル軍紀ノ維持及内務ノ實行ヲ容易ナラシムル爲一輸送船ニ建制部隊ヲ乗船セシムルヲ得バ有利ナリ然レドモ特ニ迅速ニ上陸(揚陸)スルヲ要スル部隊(資材)、一船舶ノ損害ニ依リ全局ニ影響ヲ及スガ如キ部隊(資材)等ハ適宜數船ニ分乗セシムルヲ要ス
船腹ヲ遺憾ナク利用スル爲部隊ヲ分割シ數船ニ分乗セシムルコトアリ(作III五二)

作III五二

四、河川、湖沼等ヲ利用スル輸送

河川湖沼等ノ存在スル地域ニ作戰スル軍隊ハ機動、補給等ノ爲船舶及舟艇ヲ有利ニ使用シ得ルモノトス

河川、湖沼等ノ利用ニ方リテハ豫メ水路ヲ調査シ船舶、舟艇ヲ收集シ水先案内人ヲ求メ其ノ他ノ諸準備ヲ周到ナラシムルコト緊要ナリ

各船舶、舟艇ハ當時ノ狀況ニ鑑ミ地上、水上及上空ノ敵ニ對シ警戒ヲ嚴ニシ此等ニ對スル戰鬥ヲ準備シ苟クモ敵ニ乗セラレザルヲ要ス

第四款 自動車輸送

一、要旨

航空部隊ハ飛行場變換資材ノ集積及輸送等ノ爲自動車輸送ニ依ルコト大ナリ
自動車部隊ヲ以テスル輸送ハ直通輸送ニ依ルヲ通常トス時トシテ輸送距離ノ長短、道路ノ景況、自動車ノ狀態等ヲ考慮シ區間輸送ヲ行ヒ或ハ之ヲ併用スルコトアリ
直通輸送ハ積載、卸下等ニ要スル時間ヲ減ジ輸送力ヲ發揮シ積載品ノ破損ヲ防ギ得ル等ノ利ヲ有シ
區間輸送ハ其ノ地方ノ狀況、特ニ道路ニ親炙シ且對敵動作ヲ適切ナラシメ損傷車輛ノ處置容易ナル等ノ利ヲ有ス

二、自動車輸送ノ特性發揮ノ爲著者スベキ件

1、道路ノ數及良否ハ自動車輸送ニ至大ノ影響ヲ及スモノトス故ニ各級指揮官ハ常ニ道路ヲ偵察シテ其ノ景況ヲ明カニシ之ガ保護及補修ニ勉メ輸送ノ實施ニ方リテハ多少迂路トナルモ素質良好ナル道路ヲ選定ニ著意スルコト緊要ナリ然レドモ狀況之ヲ要スレバ不良ナル道路ニ在リテモ萬難ヲ

排シテ輸送ヲ敢行セザルベカラズ

- 2、道路ノ保護及補修ノ爲ニハ上級指揮官ニ於テ航空地區部隊、工兵其ノ他所要ノ部隊ヲ以テ實施セシムル他輸送部隊自ラ之ヲ實施ス而シテ之ガ爲各部落ノ住民ニ擔任地區ヲ配當スルコトアリ
- 3、輸送部隊道路補修ノ爲ニハ狀況、道路使用ノ目的、通過部隊ノ大小等ヲ考慮シ作業部隊ヲ補修材料ト共ニ先遣シ或ハ適宜ノ地點ニ配置シテ作業ヲ迅速且容易ナラシム(主二八五、五九七)
- 4、自動車部隊ノ進路上就中發著點附近、隘路、主要ナル道路ノ交叉點等ニ於ケル交通整理ノ適否ハ自動車部隊ノ輸送力發揮上至大ノ影響ヲ及スモノナルヲ以テ特ニ注意スルヲ要ス(作Ⅲ八九)

作Ⅲ 九

第二節 機動ノ要領

第一款 要則

一、要旨

- 1、高級指揮官(作綱二九ニ依ル)
- 2、地上(水上又ハ海上)輸送部隊ハ軍事鐵道機關及船舶機關等ニ依存シ又ハ自隊若クハ配屬(協力)セシメラレタル自動車部隊等ニ依リ機動ヲ行フモノトス

地上(水上又ハ海上)機動ニ方リテハ輸送機關ノ種類及狀態、戰況、輸送中ニ於ケル敵ノ各種妨害等ヲ考慮シ輸送順序、搭載區分特ニ搭載人員及器材ノ編合等ヲ適切ニシ其ノ損害ヲ局限スルト共ニ爾後ニ於ケル任務遂行ニ支障ナカラシムルヲ要ス

航操六四

二、鐵道又ハ船舶若クハ舟艇ニ依ル機動

鐵道又ハ船舶若クハ舟艇ニ依ル地上(水上又ハ海上)機動ニ方リテハ各部隊ハ關係機關トノ連絡ヲ緊密ナラシムルト共ニ輸送間特ニ輸送軍紀ヲ嚴正ニシ之ガ實施ヲ整齊確實ナラシムルヲ要ス

航操六〇

三、自動車ニ依ル機動

自動車ニ依ル地上機動ニ方リテハ特ニ道路ノ景況、輸送兵力、季節、氣象等ヲ考慮シ豫メ道路偵察ヲ實施スルト共ニ要スレバ警戒、道路補修等ノ處置ヲ講ズルコト緊要ナリ

航操六二

自動車ニ依ル地上機動ニ方リテハ直通輸送ニ依ルヲ通常トシ自動車部隊ト被輸送部隊トノ指揮關係ヲ明確ナラシムルヲ要ス(航操六三)

航操六三

第二款 飛行部隊(規)

一、飛行團長

飛行團長ハ地上(水上又ハ海上)機動ノ爲飛行師團長ノ命令ニ基キ機動ノ目的、空中部隊ノ機動開始及完了ノ時機並ニ其ノ要領、配當セラレタル輸送機關ノ種類及數量、輸送兵力、關係地上部隊ノ機動要領等ヲ考慮シ機動計畫ヲ策定シ部下各部隊ノ行動ヲ律ス

二、戰隊長

戰隊長ハ地上機動ノ爲展開飛行場及其ノ附近ニ位置スル航空地區部隊、地上勤務部隊、航空補給修理諸廠等ノ配置及能力、展開飛行場到着ヨリ第一擊迄ノ餘裕時間等ヲ考慮シ通常先發及後發ニ區分シ各其ノ兵力、編組、兵器及器材ノ種類及數量等ヲ定ムルモノトス而シテ先發隊ハ其ノ任務ニ鑑ミ特ニ指揮官、携行兵器、器材等ノ選定ヲ適切ナラシメ後發隊ハ空中部隊ノ機動ヲ考慮シ一部ノ整備人員ヲ最後迄殘置スル如ク計畫スルノ著意緊要ナリ

第二款 地上勤務部隊

一、要 旨

地上勤務部隊ノ機動ハ地上(水上又ハ海上)機動ニ依ルヲ通常トスルモ迅速ナル機動又ハ偵察者ノ派遣等ニ方リテハ成シ得ル限り空中機動ニ依ラシムルコト緊要ナリ

二、自隊裝備自動車ノ利用

機動ニ方リ自動車部隊ヲ配屬セラレザル場合ニ於テハ自隊裝備自動貨車ヲ集結使用スルニ勉ムルヲ要ス之ガ爲常ニ部下部隊ノ自動貨車ノ現況ヲ明カナラシメ隨時使用シ得ル如ク準備スルコト緊要ナリ

第四章 展 開

第一節 要 則

一、展開一般ノ要領

展開ノ爲飛行師團長ハ航空軍司令官ノ企圖ニ基キ展開計畫ヲ策定シ之ニ基キ先ヅ地上勤務部隊ヲ展開セシメ資材ノ集積其ノ他地上ニ於ケル機關準備ヲ完了セシメタル後飛行部隊ヲ展開セシムルヲ通

常トス(作綱一一八)

作綱一一

師團長ハ航空地區ヲ劃定シ戰隊ニ對シ根據及機動飛行場ヲ配當ス

八

二、空地兩部隊ノ協同

展開ニ方リ飛行師團長ハ空地兩部隊ノ協同ヲ律ス飛行團長以下ノ指揮官ハ速カニ關係地上勤務部隊指揮官ト會同シ自己ノ企圖及行動豫定ヲ通報スルト共ニ空地協同上必要ナル件ニ關シ勉メテ具體的ニ要求シ爾後ニ於ケル協同ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス此ノ際地上勤務部隊指揮官ハ特ニ積極的ニ飛行部隊ニ協力シ其ノ戰鬪遂行ヲ容易ナラシムルヲ要ス

航操六〇

三、航空基地(飛行場)機能ノ完整

地上勤務部隊展開ヲ命ゼラルルヤ任務ニ基キ速カニ展開地ニ於ケル準備就中航空基地(飛行場)機能ヲ完整シ隨時飛行部隊ノ要求ニ即應シ得ルノ態勢ヲ整フルヲ要ス

航操六五

航空基地(飛行場)機能ヲ完整センガ爲ニハ特ニ通信施設ヲ完整シ航空用資材ヲ集積シ對空警備ヲ嚴ナラシムルト共ニ飛行場勤務ヲ確立スルコト緊要ナリ

航操六六

第二節 地上勤務部隊ノ展開

第一款 航空地區部隊(地規)

其ノ一 航空地區司令部

一、展開計畫

航空地區部隊ノ展開ハ上級指揮官之ヲ計畫シ詳細ナル展開計畫ヲ以テ命令セラルルヲ通常トス之ガ爲地區司令官ハ要スレバ部下部隊ノ配置、輸送等ニ關シ意見ヲ具申スルコト肝要ナリ而シテ展開ヲ命ゼラルルヤ之ニ所要ノ事項ヲ補備シ機ヲ失セズ部下部隊ノ展開ヲ命令スルモノトス
 狀況ニ依リ展開地域、協カスベキ飛行團、展開開始及完了ノ時間、輸送機關ノ配當等展開ニ關スル要項ノミヲ命令セラレ自ラ展開ヲ計畫實施スルコトアリ

二、航空地區部隊ノ配置

航空地區部隊ノ配置ハ上級指揮官ノ企圖ニ基キ關係飛行團ノ戦力ヲ遺憾ナク發揮セシムルヲ主眼トシテ之ヲ決定スルヲ要ス而シテ地區司令官ハ通常關係飛行團長ト同一飛行場ニ位置スルモノトス飛行場大隊ハ其ノ全部ヲ當初ヨリ展開セシムルヲ通常トスルモ作戦上ノ要求、航空地區ノ狀況等ニ依

リ一部ヲ控置スルヲ可トスルコトアリ

三、展開時ニ於ケル警備

展開ニ方リ地區司令官ハ擔任航空地區特ニ航空基地(飛行場)ノ警備就中防空ノ部署ヲ適切ナラシムルヲ要ス

作網一二七

四、資材ノ集積

展開ニ方リ地區司令官ハ上級指揮官又ハ關係飛行團長ノ命令ニ基キ適時部下部隊ニ對シ飛行場ニ集積スベキ資材就中燃料、彈藥、酸素等ノ種類數量及基準保有量、補給ヲ受クベキ部隊及時期要スレバ保管、出納ニ任ズベキ部隊、補給スベキ部隊等ニ關シ所要ノ事項ヲ示シテ集積セシメ隨時飛行部隊ノ要求ニ即應シ得ルヲ要ス

其ノ二 飛行場大隊

一、展開ノ爲ノ命令

大隊長ハ展開ニ方リ勉メテ中隊長等ヲ集メ現地ニ就キ通常左記事項中所要ノ件ヲ命令スルモノトス而シテ狀況ニ應ジ各部隊ニ合同命令ヲ與ヘ或ハ所要ノ部隊ニ各別命令ヲ與ヘ又下達ニ方リテハ先ヅ要旨ノミヲ下達シ後完全ナル命令ヲ附與ン或ハ先ヅ準備ニ關シ所要ノ事項ヲ命令シ爾後更ニ必要ナル命令ヲ附與スル等其ノ方法ヲ狀況ニ即應セシムルコト緊要ナリ

警備中隊及高射中隊ニ對シテハ警備スベキ地域又ハ掩護スベキ物件、警備ノ重點、配備ノ概要、警備中隊及高射中隊相互竝ニ此等ト高射砲部隊等トノ協同要領要スレバ晝夜ニ於ケル配備變更ノ概要等

資材中隊ニ對シテハ集積又ハ保管スベキ資材ノ種類及數量竝ニ集積場所、補給ヲ受クベキ部隊、補給スベキ部隊、補充及補給ノ要領要スレバ點燈設備等

通信班ニ對シテハ構成スベキ飛行場内ノ通信網及其ノ完成時期、電話交換所ノ位置、要スレバ航空通信部隊トノ連繫、通信網構成ノ順序等

化學班ニ對シテハ瓦斯防護ノ重點、防護施設ノ種類、程度及配置ノ概要、瓦斯勤務ノ大綱、各隊ノ防護施設實施ニ對スル協力要領等

其ノ他戰備ノ度、實施スベキ作業、休宿、給養、衛生等

二、資材ノ集積竝ニ點燈設備
資材特ニ燃料、彈藥等ノ集積所ハ補給ニ便ニシテ浸水ノ顧慮ナク且勉メテ空地ノ敵ニ遮蔽セル位置ニ之ヲ選定シ且敵ノ攻撃ニ對シ損害ヲ局限シ得ル如ク既設設備或ハ地形ヲ利用シテ極力分散配置ス

ルト共ニ所要ノ掩護設備ヲ施スコト緊要ナリ
點燈設備ハ點燈器材ノ能力及數量、設備スベキ部隊ノ數、位置及要度、地方電力使用ノ能否等ヲ考慮シ其ノ順序及程度ヲ適切ナラシムルヲ要ス

三、飛行場ノ整備
大隊長ハ飛行機ノ分散ニ伴フ誘導路竝ニ人員用掩體、飛行機用掩體、各種火器ノ掩體等ヲ整備シ且主要ナル附屬設備ヲ勉メテ地下ニ施設シ敵ノ各種攻撃ニ對シ人員、資材、施設等ヲ掩護スルト共ニ一部ノ損害ヲ他ニ波及セシメザルコト緊要ナリ之ガ爲各隊ニ於テ實施スベキ諸作業ニ關シ其ノ種類、程度、順序及完成時期、使用シ得ベキ諸資材ノ種類、數量及其ノ交付位置、配當スベキ作業力要スレバ各隊ノ協同連繫等ニ關シ所要ノ事項ヲ示スモノトス

四、二箇以上ノ飛行場ニ展開スル場合
飛行場大隊二箇以上ノ飛行場ニ展開スル場合ニ於テハ大隊長ハ任務敵情、飛行場使用ノ目的及期間飛行場間ノ距離、交通及通信施設等ヲ考慮シ特ニ各飛行場ニ配置スベキ部隊ノ兵力及編組ヲ適切ナラシメ勤務ノ遂行ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス(航操六八)

第二款 航空情報聯隊(情規)

一、展開ノ要領
展開ノ順序及其ノ方法竝ニ展開完了及情報勤務開始ノ時機ハ高級指揮官ノ企圖、飛行部隊ノ行動等ニ基キ緊急重要ナルモノヨリ逐次情報勤務ヲ開始シ得ル如ク定ムルモノトス之ガ爲聯隊ノ展開ハ各部隊同時ニ實施スルヲ通常トスルモ戰況、敵情、輸送機關ノ狀態、地勢、氣象等ニ應ジ先ヅ主要ナ

第七節 機動及展開 第四章 展開 一六九

航操六八

ルモノヨリ逐次ニ配置スルヲ可トスルコトアリ

二、對空敵情監視網ノ構成

對空敵情監視網ノ組織ハ敵航空部隊ノ兵力及其ノ配置、我ガ航空部隊ノ配置及行動、電波警戒及對空監視部隊ノ兵力及編組、地勢、防空部隊ノ狀態等ヲ考慮シ電波警戒機ヲ骨幹トシ比隣相互ニ支援シ且其ノ弱點、間隙等ヲ對空監視哨ヲ以テ補備シ得ル如ク配置シ以テ監視網ニ罅隙ナカラシムルト共ニ敵ヲ遠距離ニ捕捉シテ之ガ諸元ヲ求メ且爾後絶エズ其ノ行動ヲ明カナラシムル如ク一貫セル組織アラシムルコト緊要ナリ

三、各部隊ノ配置

各部隊ノ配置ニ方リテハ電波警戒中隊及對空監視中隊ヲシテ有機的ニ活動セシムル如ク考慮スルヲ要ス之ガ爲建制ノ中隊ヲ併列シ所要ノ地域ニ數線ノ電波警戒網竝ニ對空監視線ヲ構成シ飛行部隊等ニ對スル協力關係及情報傳達擔任區分及他ノ諸報機關トノ協力關係等ヲ定ムルヲ通常トス
狀況特ニ我ガ航空基地ノ配置、其ノ要度等ニ依リ所要ノ電波警戒及對空監視兵力ヲ以テ直接航空基地對空敵情監視ニ任ゼシムルコトアリ

1、電波警戒機ノ配置

電波警戒機ノ配置ニ方リテハ器材ノ特性ニ基キ配置スベキ位置ノ選定ヲ適切ナラシムルト共ニ電力利用ノ便ヲ考慮スルヲ要ス而シテ指揮官ハ勉メテ各警戒所ノ展開位置ヲ警戒方向ニ對シ推進ス

ルト共ニ萬難ヲ排シテ制高地點ヲ占メ以テ警戒可能限界ヲ延伸シ任務達成ノ基礎ヲ確立スルヲ要ス此ノ際電波警戒機ノ弱點ヲ考慮シ自ラ所要ノ對空監視哨ヲ配置スルノ外所在ノ對空監視中隊其ノ他ノ部隊ト密ニ連絡シ其ノ不利ヲ補フノ處置ヲ講ズルコト緊要ナリ

2、對空監視部隊ノ配置

對空監視部隊ノ配置ヲ定ムルニ方リテハ電波警戒部隊等トノ連繫ヲ考慮シ有ユル方向ヨリスル敵機ノ行動ヲ速カニ發見シ對應ノ餘裕ヲ存スルト共ニ監視ヲ免レテ進入スルヲ絶無ナラシムルト共ニ狀況特ニ彼我航空部隊ノ配置及行動地勢等ニ鑑ミ敵機來襲ノ虞最モ多キ方面ノ監視ヲ特ニ嚴ナラシムルコト緊要ナリ之ガ爲成ルベク敵ニ近ク或ハ要點ヨリ適宜離隔シテ其ノ四周ニ配置スルト共ニ兵力ノ許ス限リ縱深ニ互リ監視網ヲ構成スルヲ要ス而シテ監視哨ノ間隔ハ監視ノ手段兵力等ニ依リ異ルモ成ルベク間隙ヲ生ゼシメズ重要ナル方面ニ於テ之ヲ密ナラシムルヲ要ス

四、通信連絡施設

情報ヲ速カニ報告通報スル爲情報通信網ヲ完整スルコト極メテ緊要ナリ

第三款 航 測 聯 隊(航規)

一、聯 隊

1、聯隊長ハ展開ニ方リ飛行師團其ノ他ニ配屬スベキ部下中隊ヲ部署シ之ガ補給ニ關シ所要ノ事項ヲ定ムルト共ニ本部機關及直轄部隊ヲ展開セシメ以テ各飛行師團、軍直轄部隊等ニ對スル協力ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

2、聯隊長ハ展開ニ先ダテ狀況特ニ通信ノ要度、繁閑、通信距離、部隊ノ配置、器材ノ狀況、地形氣象ノ交感等ヲ考慮シ航測勤務用通信網構成ニ關スル計畫ヲ定メ之ニ基キ展開セシムルモノトス

3、展開ニ方リ聯隊長ハ勉メテ各部隊ヲシテ準備ノ餘裕ヲ有セシムル如ク處置スルト共ニ各部隊ヲシテ展開後寸暇ヲ利用シテ逐次航測準備ヲ完整セシメ飛行部隊ニ對スル積極的協力ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

二、中 隊

1、展開ニ方リ中隊長ハ位置線測定ニ任ズル小隊ハ通常其ノ協力スベキ各飛行部隊ノ飛行場ニ分置シ直轄小隊ハ飛行師團内各飛行部隊ノ爲位置決定ニ適スル如ク其ノ展開地域内適宜ノ位置ニ展開セシムルモノトス狀況ニ依リ隣接飛行師團ノ展開地域内ニ一部ヲ配置セシメラルコトアリ

2、展開セバ飛行師團長ノ企圖竝ニ關係飛行部隊トノ協定ニ基キ速カニ誤差測定ヲ行フモノトス位置線測定ニ任ズベキ小隊ノ誤差測定ハ通常協力スベキ飛行團協力ノ下ニ小隊長直轄シテ各班毎ニ實施シ位置決定ニ任ズベキ小隊又ハ本部航測班ノ誤差測定ハ通常飛行師團司偵戰隊協力ノ下ニ中隊長統轄シテ行フモノトス

三、小 隊

1、位置線測定ニ任ズル小隊長ハ中隊長ノ企圖ニ基キ部下部隊ノ能力及現況、協力スベキ飛行部隊ノ配置及之トノ協力要領等ヲ考慮シ部下各班ニ對シ協力スベキ部隊ヲ指定シ其ノ要求ニ基キ所要ノ飛行場ニ展開セシムルモノトス

本部航測班ハ小隊長之ヲ直轄シ飛行團直轄部隊アル場合ハ通常之ニ協力セシメ狀況ニ依リ其ノ他ノ部隊ニ協力セシムルモノトス

2、小隊長ハ中隊長ノ命令及協力スベキ飛行部隊ノ要求ニ基キ各班ヲシテ概ネ同時ニ展開ヲ完了セシムルモノトス狀況ニ依リ先ヅ重要ナル班ヨリ逐次展開セシムルコトアリ而シテ展開ハ爲シ得ル限り速カニ之ヲ完了シ航測勤務ノ爲ノ諸準備ヲ完整セシムルコト緊要ナリ

第四款 航空通信聯隊(通規)

其ノ一 聯 隊

一、計 畫

聯隊長ハ高級指揮官ノ命令ニ基キ聯隊ノ展開及通信網ノ構成ニ關シ綿密周到ニ計畫シ所命ノ時機迄ニ所命ノ如ク通信網ヲ構成シ通信勤務ノ態勢ヲ確立スルヲ要ス

通信網及通信勤務態勢ノ變更ニ方リテハ動モスレバ通信實施ニ罅隙ヲ生ズルヲ以テ聯隊長ハ特ニ計畫ヲ周到ナラシムルト共ニ其ノ實施ヲ輕捷且的確ナラシムルコト緊要ナリ

二、展開ノ要領

展開ニ方リ聯隊長ハ速カニ關係部隊特ニ飛行師團ト連絡スルト共ニ所要ノ偵察ヲ行ヒ計畫ヲ確定シ之ニ基キ通常中隊長材料廠長等ニ必要ノ事項ヲ命令シ聯隊ヲ展開セシム
聯隊ノ構成スベキ通信網ハ通常通信網圖ヲ以テ示スモノトス此ノ際各通信系ハ其ノ用途ヲ明瞭ナラシムルト共ニ番號ヲ附スルヲ有利トス

三、通信擔任區分

聯隊長中隊ノ通信擔任區分ヲ定ムルニ方リテハ飛行部隊ノ配置及爾後ノ企圖ニ適應セシムルヲ要ス此ノ際一飛行團ノ展開地區ニ於ケル通信網ヲ一中隊ニテ擔任セシムルヲ得バ有利ナリ又隣接航空通信部隊ノ擔任地域ニ跨ル通信系ニ在リテハ特ニ其ノ擔任區分若クハ協同ノ關係ヲ明示スルヲ要ス
有線中隊(建築隊)ノ建築擔任區分ハ建築スベキ線路ノ狀況特ニ地形、交通網、爾後ノ企圖等ヲ考慮シテ之ヲ定ムルヲ要ス

四、通信網ノ構成要領

第五篇第三章參照

其ノ二 有線中隊

一、準備

中隊長ハ展開ニ先ダチ勉メテ關係航空基地(飛行場)及豫想展開地方面ニ於ケル在來通信施設、通信資材及交通網ノ狀態、地形等ヲ調査スルト共ニ爲シ得ル限り關係部隊特ニ飛行團司令部、通信部隊等ト連絡シ其ノ展開配置竝ニ將來ノ企圖等ヲ詳知シ且勉メテ現地ニ就キ自ラ所要ノ偵察ヲ行ヒ或ハ中隊附將校若クハ建築小隊長ヲシテ偵察セシムル等中隊ノ展開及通信網ノ構成ヲ迅速整齊ナラシムル如ク準備スルヲ要ス

二、展開ノ要領

中隊長ハ任務ニ基キ狀況特ニ部下部隊ノ狀態、地形、交通網、利用シ得ベキ在來通信施設、通信資材、輸送力等ヲ考慮シ中隊通信網構成ノ爲ノ部署ヲ定メ之ニ基キ中隊ヲ展開シ通信網ヲ構成スルモノトス
通信網構成ノ爲ニハ通常通信分隊長、建築小隊長、器材班長等ニ對シ通信所及之ガ開設完了竝ニ通信開始ノ時期、建築又ハ補修スベキ線路、連絡規定ノ適用ニ關スル事項等必要ナル件ヲ命令スルモノトス

三、通信施設ノ程度

通信等ノ施設ノ程度ハ狀況特ニ飛行場ノ施設、通信所勤務ノ便否、開設期間ノ長短、器材ノ數量等ヲ考慮シ特ニ空地ヨリスル熾烈ナル敵ノ攻撃ヲ受クルモ任務ヲ完遂シ得ル如ク分散掩蔽セシムルト共ニ狀況之ヲ許セバ地下施設トシ或ハ豫備施設ヲ設クル等展開ノ當初ヨリ之ヲ完備スルモノトス重要ナル通信所ニ於テ特ニ然リ而シテ當初ヨリ完全ニ施設シ得ザル場合ニ於テハ勤務間逐次増強シテ之ガ完整ニ勉ムルコト緊要ナリ

其ノ三 無線中隊

一、準備

中隊長ハ展開ニ先ダテ勉メテ豫想展開地方面ニ於ケル電波傳播特性及空界ノ狀況ヲ調査スルト共ニ爲シ得ル限り關係部隊特ニ飛行團司令部ト連絡シ其ノ展開配置及將來ノ企圖等ヲ詳知シ且現地ニ就キ自ラ所要ノ偵察ヲ行ヒ或ハ中隊附將校ヲシテ偵察セシムル等中隊ノ展開及通信網ノ構成ヲ迅速整齊ナラシムル如ク準備スルモノトス

二、展開ノ要領

中隊長ハ任務ニ基キ狀況特ニ關係飛行部隊ノ展開配置、電波傳播特性及空界ノ狀況、部下部隊ノ狀態等ヲ考慮シ部署ヲ定メ通常通信分隊長、器材班長等ニ對シ必要ノ件ヲ命令シテ中隊ヲ展開シ通信

網ヲ構成スルモノトス

展開時機ニ於ケル電波管制ノ確實ナル實施ハ全般ノ企圖秘匿上極メテ重要ナルヲ以テ中隊長ハ聯隊長ノ命令ニ基キ細部ニ互リ的確ニ命令シ且其ノ實行ヲ嚴重ニ監督スルヲ要ス而シテ連絡通信ヲ實施スル場合ニ於テモ其ノ方法ヲ適當ナラシメ勉メテ敵ニ秘シ至短時間ニ終了セシムルコト緊要ナリ

三、通信所ニ携行セシムベキ發振具

中隊長ハ聯隊長ノ通信諸元運用ノ方針ニ基キ中隊内ニ於ケル之ガ運用ヲ計畫シ各通信所ニ携行セシムベキ發振具ノ周波數及箇數ヲ適切ナラシムルヲ要ス

四、通信所ノ施設

通信所等ノ施設ニ開シテハ有線中隊ニ準ズルノ外通信ノ疏通及防衛ヲ考慮シ空中線設備ニ就キ明示スルコト必要ナリ

第三節 飛行部隊(規)

第一款 飛行團

一、要旨

飛行團ノ展開實施ノ要領ハ我が企圖、狀況特ニ現配置ト集中地及之ト展開配置トノ關係、輸送機關

等ニ依リ異ルモ通常飛行團長統一指揮ノ下ニ集中地ニ機動シタル後所命ノ航空基地(飛行場)ニ展開シ又ハ現在地ヨリ直チニ所命ノ飛行場ニ展開セシムルモノトス

展開ニ方リテハ通常空中部隊ノ機動ニ先ダチ豫メ飛行戰隊整備力ノ大部ヲ所望ノ如ク配置シテ地上ニ於ケル戰鬪ノ諸準備ヲ完了シタル後空中部隊ヲ移動セシムルモノトス狀況ニ依リ空中部隊ト同時ニ其ノ活動ニ必要ナル最小限ノ整備力ヲ推進シ空中部隊ノ展開後大部ノ機動ヲ實施スルコトアリ

二、展開ノ爲ノ命令

飛行團長ハ飛行師團長ノ命令ニ基キ狀況特ニ展開航空基地内飛行場ノ配置及狀態、敵航空狀況、部下部隊ノ狀態、季節、氣象等ヲ考慮シ機ヲ失セズ部下部隊ノ配置及戰鬪準備ニ關シ左記事項中所要ノ件ヲ命令シ速カニ戰鬪準備ヲ整ヘシムルモノトス

根據及機動飛行場ノ配當

展開完了ノ時機

展開要領

整備及對空無線隊等ノ展開

飛行部隊ノ機動順序及時機

欺騙行動

輸送機ノ配當

通信及保安施設ノ利用

飛行場規定ニ關スル事項

航空基地ノ警備

飛行場大隊トノ協同

直接警備ノ擔任

戰備ノ度

邀撃及追尾攻撃

休宿、内務、給養及衛生

自己ノ位置及行動

機動ニ先ダチ展開ヲ命ジタル場合ニ於テモ飛行團長ハ展開地ニ到着後要スレバ展開及戰鬪準備ニ關シ現地ノ狀況ニ合スル如ク所要ノ事項ヲ補備スルモノトス

三、飛行團配置ノ要領

飛行團ノ配置ハ指揮掌握ニ便ナルト共ニ配當セラレタル航空基地内ノ飛行場ヲ廣ク利用シ其ノ戦力ヲ遺憾ナク發揮セシムルト共ニ敵機ノ來襲ニ對應スルニ便ナラシムルヲ要ス之ガ爲各戰隊ニ對シ根據飛行場トシテ一箇ヲ配當スルノ外其ノ戰鬪行動ヲ考慮シ展開航空基地ノ全般ニ互リ機動飛行場トシテ一乃至數箇ヲ配當スルモノトス而シテ數箇ノ部隊ヲシテ同一飛行場ヲ使用セシムルハ勉メテ避

クベシト雖モ機動飛行場ノ爲ニハ狀況ニ依リ數箇ノ部隊ヲシテ同一飛行場ヲ使用セシメ又ハ他部隊ノ根據飛行場ヲ之ニ充當スルコトアリ

四、飛行團長ノ位置

飛行團長ハ展開地域内主要飛行場ニ位置シ飛行師團長トノ連絡並ニ部下部隊ノ確實ナル掌握ト的確輕捷ナル指揮トニ遺憾ナカラシムル如ク通信連絡施設ヲ完整シ所要ニ應ジ他ノ主要飛行場ニ適時移動シテ指揮シ得ル如ク準備スルヲ要ス

五、敵機ノ來襲ニ對スル對應處置

展開ニ方リ飛行團長ハ飛行師團長ノ命令ニ基キ敵機ノ來襲ニ對スル周到ナル對應處置ヲ定メ置クコト緊要ナリ

之ガ爲飛行部隊ノ狀況、部下部隊及情報機關ノ配置、相互ノ連絡手段、季節、氣象等ヲ考慮シ來襲スル敵機ヲ邀撃シ之ヲ捕捉撃滅スルト共ニ爲シ得レバ機ヲ失セズ追尾攻撃ヲ實施シ得ル如ク各部隊ノ戰備ノ度要スレバ緊急姿勢ニ在ラシムベキ兵力、情報收集特ニ航空情報部隊トノ連絡法、邀撃實施ノ要領等ヲ決定シ又追尾攻撃ニ關シ必要ノ事項ヲ定メ適宜部下部隊ニ之ガ根據ヲ與フルヲ要ス

六、地上勤務部隊トノ連繫

展開ニ方リ飛行團長ハ戰況、豫想スル戰鬪各期ニ於ケル部下部隊ノ活動、地上勤務部隊ノ配置及其ノ狀態等ヲ考慮シ地上勤務部隊ノ根據及機動飛行場ニ於ケル協力要領、通信施設、情報速達ノ方法

地上及對空警備ニ對スル協力要領、休宿、給養、衛生等ニ關シ所要ノ件ヲ概定シ機ヲ失セズ航空地區部隊特ニ飛行場大隊、航空通信聯隊、對空無線隊、航空情報隊、野戰航空修理廠、同分廠、獨立整備隊等ニ通報若クハ要求シ此等部隊ヲシテ準備ノ根據ヲ得シムルト共ニ其ノ活動ヲシテ克ク飛行團ノ戰鬪準備ニ即應セシムルコト緊要ナリ展開後直チニ戰鬪ニ任ズル場合ニ於テ特ニ然リ

七、資材ノ準備

展開ニ方リ飛行團長ハ飛行師團長ノ企圖ニ基キ飛行團ノ使用スル各飛行場又ハ航空基地ニ集積又ハ集積替スベキ資材ノ種類及數量ヲ算定シ機ヲ失セズ關係航空地區司令官、野戰航空修理廠、同分廠等ニ之ヲ示シ部下部隊ノ活動ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

第二款 戰 隊

一、展開ノ爲ノ命令

展開ニ方リ戰隊長ハ飛行團長ノ命令及展開飛行場ニ於ケル關係諸部隊トノ協定ニ基キ部下部隊ニ對シ左記事項中所要ノ件ヲ命令スルモノトス而シテ之ガ下達ニ方リテハ特ニ其ノ方法ヲ狀況ニ適應セシメ本部諸機關、各中隊及整備隊ヲシテ準備ノ餘裕ヲ得シムルト共ニ戰隊ノ展開ヲ飽ク迄輕捷ナラシムルノ著意緊要ナリ

本部及各部隊ノ配置並ニ諸施設ノ配當

本部、各中隊及整備隊ノ配置

諸施設特ニ各種掩體、誘導路等ノ使用區分

展開完了ノ時機

對空無線班ノ通信所及施設

偽配置、爲行動及企圖秘匿

地上勤務部隊トノ協同

敵ノ來襲ニ際シ取ルベキ處置

整備、補給、休宿、給養及衛生等

二、戰隊内ノ配置

戰隊長飛行場ニ於ケル部下部隊ノ配置ヲ定ムルニ方リテハ指揮連絡ノ容易竝ニ警戒ニ便ナラシムルノ外特ニ敵ノ攻撃ニ對スル損害ノ輕減等ヲ考慮シ爲シ得ル限り部下部隊ヲ分散配置スルト共ニ掩護偽裝、欺騙、遮蔽、防護等ニ關シ所要ノ處置ヲ講ズルヲ要ス之ガ爲勉メテ飛行場諸施設ヲ活用スルト共ニ關係諸部隊ト緊密ニ連繫シ此等施設ヲ補備增強スルコト緊要ナリ此ノ際邀撃ノ爲ノ急遽出動ヲ容易ニシ夜間ニ於ケル損害ヲ減少スル爲晝夜ニ於ケル配置ノ變更ヲ考慮スルヲ要ス

三、戰隊長ノ位置

戰隊長ハ指揮ノ的確輕捷ヲ期スル爲戰隊全般ノ指揮ニ便ニシテ且部下部隊ノ行動ヲ直接觀察シ得ル

場所ニ位置スルモノトス之ガ爲連絡施設ヲ完備スルコト緊要ナリ

四、機動飛行場ノ使用

展開ニ方リ戰隊長ハ配當セラレタル機動飛行場使用ノ目的、期間、頻度等ヲ考慮シ所要ノ人員、器材特ニ整備力ヲ之ニ配當スルモノトス此ノ際根據飛行場ニ於ケル戰鬥行動ニ支障ヲ來サザル如ク配置ノ時機、移動要領等ヲ定ムルコト緊要ナリ

機動飛行場使用ノ爲ニハ事前ニ當該飛行場關係諸部隊指揮官ニ使用ノ目的、兵力、時機、期間等ヲ通報スルト共ニ豫メ戰隊本部及各中隊ニ派遣スベキ人員、器材等ノ基準竝ニ之ガ移動ニ關シ所要ノ事項ヲ指示シ之ガ準備ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

第八篇 進攻

第一章 要 則

第一節 要 旨

一、進攻ノ意義

進攻ハ航空戦力發揮ノ要道ニシテ敵ヲ壓倒撃滅スル最良ノ手段ナリ故ニ航空部隊ハ進攻ニ依リ其ノ戦力ヲ遺憾ナク發揮スルヲ要ス

航操七一

進攻トハ敵地ニ進出シ敵ヲ壓倒撃滅スルノ謂ニシテ航進、出發、戰鬥、歸還等ヲ含ミ攻撃目標ハ航空地上洋上等何レノ敵タルヲ問ハザルモノトス

二、進攻ノ要

進攻ノ要ハ飛行部隊ノ輕捷偉大ナル機動力ヲ發揮シテ敵地ニ進出シ所望ノ時機所望ノ目標ニ對シ獨特ノ戰鬥威力ヲ發揮シテ敵ヲ壓倒撃滅スルニ在リ

航操七二

三、進攻ノ時機

進攻ハ戦機ニ投ジ勉メテ敵ノ意表ニ出ヅルヲ要ス之ガ爲攻撃時機ノ選定ヲ適切ニシ常ニ其ノ準備ノ

完整ニ勉メ且手段ヲ盡クシテ我が企圖ヲ秘匿スルコト緊要ナリ然レドモ準備ニ藉口シテ行動鈍重ニ陥リ或ハ企圖秘匿ニ專念シテ戦機ヲ逸スルガ如キハ嚴ニ之ヲ戒メザルベカラズ

航操七三

進攻ニ方リテハ或ハ拂曉攻撃ノ爲夜暗ヲ利用シ企圖ヲ秘匿シテ航進シ或ハ攻撃後夜暗ヲ利用シテ敵ノ追尾ヲ避ケ或ハ夜暗又ハ不良ナル氣象狀況ニ乘ジテ敵ヲ奇襲スル等特ニ夜暗及氣象ノ利用ニ著意スルヲ要ス

航操七四

夜暗、氣象利用ニ方リ著意スベキ件

1、拂曉又ハ薄暮或ハ夜間ヲ利用スル場合ニ於テハ各々分科部隊ノ特性ニ應ジ特ニ日(月)出及日(月)沒時刻、薄明時間、月齡等ヲ綿密ニ調査シ又氣象情報ノ收集ニ勉ムルト共ニ出發、航進等ニ關シ周到ナル準備ヲ整フルコト緊要ナリ

規

2、氣象特ニ不良ナル氣象狀況ヲ利用セントスル場合ニ於テハ指揮官ハ作戰地ニ於ケル天文、氣象ニ關スル統計資料ニ就キ季節、高度、時刻ニ應ズル周期的變化ノ狀況ヲ精細ニ把握スルノミナラズ局地的氣象特ニ豫想目標附近ノ氣象狀態ノ變化ニ對スル判斷ヲ正鵠ナラシメ且部下部隊ノ練度ニ應ジ之ガ利用克服ノ手段方法ヲ確立スルヲ要ス

規

3、夜間ハ動モスレバ錯誤ヲ生ジ易キヲ以テ豫メ準備ヲ周到ニシ各部隊ノ關係ヲ明確ニスルト共ニ攻撃ノ時機及方法ヲ適切ナラシメ且機上ニ於ケル作業ヲ勉メテ簡單ナラシムルヲ要ス此ノ際各部隊ノ航進ニ關シ所要ノ事項ヲ統制スルヲ通常トシ狀況ニ依リ誘導機ヲシテ誘導ニ任ゼシムルコト

アリ

4、夜間ハ雲霧、雨雪等ノ障碍ノ度大ナルヲ以テ氣象判斷ヲ適切ニシ要スレバ氣象搜索機ヲ派遣スルヲ要ス

四、企圖ノ秘匿

企圖秘匿ノ爲ニハ夜暗及氣象ヲ利用スルノ外通信管制ヲ適切ニシ且敵ノ各種情報機關ニ對シ我ガ航路及高度ノ選定ヲ適切ナラシムルト共ニ進ンデ之ヲ妨害又ハ欺騙スルノ著意ヲ必要トス

航操七五

敵ノ各種情報機關ニ對シ我ガ企圖ヲ秘匿スル爲ニハ敵監視機關ノ種類及器材ノ性能、我ガ兵力、地形、彼我ノ戰線等ヲ考慮シ或ハ行動ノ秘匿ニ徹シ或ハ敵ヲ妨害シ又ハ欺騙スル等變通自在有ユル手段方法ヲ講ズルヲ要ス

五、各種術策ノ活用

進攻ニ方リテハ目的、我軍ノ狀況、敵情、氣象、戰訓等ニ鑑ミ牽制及誘致等各種戰術的術策ヲ活用

シ巧ニ戰機ヲ構成捕捉スルト共ニ戰法ノ硬直ヲ戒メ融通自在有ユル手段方法ヲ臨機ニ綜合採用シ以テ敵ヲシテ對應ノ策ナカラシムルコト特ニ緊要ナリ

第二節 各分科部隊ノ協同

一、要旨

進攻ハ狀況ニ應ジ分科飛行部隊獨力又ハ他分科飛行部隊ト協同ノ下ニ實施スルモノトス而シテ協同進攻ニ方リテハ高級指揮官ノ部署ニ基キ或ハ協同シテ攻撃ヲ實施シ或ハ相互ニ他分科飛行部隊ノ攻撃ニ協力スルモノトス此ノ際特ニ事前ニ於ケル協定ヲ周到且具體的ナラシムルト共ニ克ク相互ノ意志ヲ疎通シ統合戦力ノ發揮ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操七六

二、戰爆(襲)協同

各分科飛行部隊就中戰團隊ト爆(襲)撃隊トノ協同進攻ハ其ノ實施適切ナルトキハ特ニ戰果ヲ大ナラシムルコトヲ得飛行場攻撃ニ於テ特ニ然リ

協同進攻ニ方リテハ各部隊ハ各々任務ニ基キ進ンデ他部隊ノ戰團ヲ容易ナラシムル如ク特ニ精神的協同ノ實ヲ擧グルヲ要ス

航操七七

戰爆(襲)協同進攻ノ關係左ノ如シ

1、兩部隊ヲ目標ニ指向シ其ノ統合戰團威力ノ發揮ヲ主眼トシ兩者協同シテ攻撃ス(協同)

此ノ際ニ於テハ戰鬪隊ハ通常攻撃目標タル敵飛行場上空若クハ協同スル飛行部隊ノ航路上空ニ敵機ヲ求メテ攻撃スルモノトシ其ノ行動ハ最モ拘束セラルルコトナク戦力發揮ニ有利ナルモ爆撃隊等ノ掩護ハ確實ナラザルモノトス

2、某分科飛行部隊ヲシテ他分科飛行部隊ノ戰鬪ニ協力セシム(協力)

イ、戰鬪隊他分科飛行部隊ニ協力スル場合ニ於テハ戰鬪隊ハ他分科飛行部隊ノ爲進路ノ開拓、掩護、收容等ニ任ズルモノトシ其ノ行動ハ稍々拘束セラルルモ爆撃隊等ノ掩護ハ前者ニ比シ確實ナリ而シテ進路ヲ開拓シ或ハ收容ニ任ズル爲ニハ敵戰鬪隊ノ配置及狀態、友軍飛行部隊ノ行動等ヲ考慮シテ特ニ其ノ航路上敵戰鬪隊ノ跳梁ヲ豫期スル空域等ニ戰鬪隊ノ威力ヲ指向シテ敵ヲ擊滅シ他分科飛行部隊ノ行動ヲ容易ナラシムルモノトス

他分科飛行部隊ヲ掩護スル場合其ノ要領ハ狀況ニ依リ異ルモ戰鬪隊ハ爆(襲)撃部隊ノ行動ヲ基準トシテ行動ヲ律シ其ノ最モ危険ナル時機若クハ空域ニ於ケル被掩護部隊ノ行動ヲ安全ナラシムルト共ニ爲シ得ル限リ一部ヲ以テ常時直接掩護ニ任ゼシムルコト緊要ナリ

直接掩護ノ爲ニハ戰鬪隊ハ被掩護部隊ニ對スル敵ノ後側方攻撃ヲ阻止スル如ク主力ヲ直接其ノ近傍ニ配置スルモノトス戰鬪隊ヲシテ掩護セシムル場合ニハ指揮官ハ敵戰鬪隊ノ活動狀況、氣象等ヲ考慮シ掩護ニ任ズベキ時期及空域、掩護ノ要領等ヲ明示スルヲ要ス

直接掩護ハ専ラ被掩護部隊ノ行動ヲ安全容易ナラシムル爲戰鬪隊ハ被掩護部隊ノ行動ヲ基準ト

シテ行動シ戰鬪隊戰鬪上ノ要求ト矛盾セル行動ヲ採リ又決戦ヲ回避スルヲ要スルコト少カラザルモ近時一般ノ趨勢ハ直接掩護トス

ロ、爆撃隊戰鬪隊ニ協力スル場合ニ於テハ戰鬪隊ノ進攻ニ密ニ連繫シ或ハ敵飛行部隊ヲ誘致又ハ牽制シ或ハ敵地上防空火力ヲ分散シ或ハ戰鬪隊ノ收メタル戦果擴張ニ任ズル等戰鬪隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムル如ク行動スルモノトス

三、偵察隊ト他分科飛行部隊トノ協同

戰鬪ノ爲偵察隊ト他分科飛行部隊トノ協同ヲ緊密ナラシムルハ攻撃及戰鬪指導ノ爲極メテ重要ナリ之ガ爲偵察隊ノ一部ヲ適時配屬又ハ協力セシムルト共ニ其ノ出動時機及行動ヲ適切ナラシメ他分科飛行部隊ヲシテ機ヲ失セズ其ノ成果ヲ利用セシムルヲ要ス

偵察隊他分科飛行部隊ノ戰鬪ニ協力スル場合ニ於テハ特ニ事前ノ協定ヲ綿密周到ナラシメ他分科飛行部隊ヲシテ戰鬪成果ヲ最大限ニ發揮セシムル如ク行動スルモノトス

四、協定

戰鬪隊ト他分科飛行部隊ト協同進攻(掩護スル場合ヲ含ム)スルニ方リテハ指揮官ハ豫メ相互ニ又ハ連絡將校ト會同シ各々知得セル情報ヲ相互ニ通報シ且協同又ハ掩護ノ主義ヲ明確ニシ左記事項中主要ノ件ニ就キ具體的ニ協定スルコト緊要ナリ

集合及航進要領特ニ高度、速度、隊形

攻撃目標、攻撃時刻、攻撃方式

戦闘間ニ於ケル協同若クハ掩護ノ要領

通信連絡

戦闘後ノ集合要領

歸還経路、追尾攻撃對應處置

此ノ際爆撃飛行團等遠距離戦闘隊ヲ有スル部隊ニ在リテハ之ト協同又ハ掩護戦闘隊トノ行動ノ關係ヲ明カナラシムルヲ要ス

規

第三節 同時攻撃、波狀攻撃

一、要 旨

進攻ニ方リテハ任務ニ基キ狀況特ニ攻撃ノ目的、目標ノ種類、敵情、我が兵力、氣象、明暗ノ度等ヲ考慮シ同時又ハ波狀攻撃ヲ實施スルモノトス
同時攻撃ハ戦力ヲ統合シ一舉ニ所望ノ戦果ヲ收メ得、波狀攻撃ハ敵ヲシテ對應ノ處置ヲ困難ナラシムルト共ニ所望ノ時間我が戦力ヲ繼續シテ發揮シ得ルノ利アリ
同時攻撃ヲ實施スル場合ニ於テハ特ニ各部隊ノ攻撃時刻、攻撃要領等ヲ統制シ又波狀攻撃ヲ實施スル場合ニ於テハ特ニ各波ノ兵力及編組、攻撃間隔、攻撃要領等ヲ適切ナラシムルコト要緊ナリ

攻撃要領ハ分科ニ應ジ攻撃ノ目的、攻撃時機、目標ノ種類及狀態等ヲ考慮シ攻撃法、攻撃方式、攻撃高度、攻撃方向等ヲ定ムルモノトス

航操七八

二、同時攻撃

數箇ノ戰爆(襲)部隊ヲ以テ同時攻撃ヲ實施スル場合ニ於テハ指揮官ハ爆(襲)撃隊ノ爆撃部位、時刻及高度、攻撃及離脱ノ方向竝ニ戦闘隊ノ攻撃時刻、戦闘ノ要領等攻撃目標附近上空ニ於ケル各部隊ノ行動ノ準據ヲ明示シ其ノ攻撃實施ヲ整齊ナラシムルコト緊要ナリ

三、波狀攻撃

波狀攻撃ヲ實施スルニ方リテハ狀況特ニ攻撃ノ目的、敵ノ兵力編組、敵行動ノ特性、我が兵力編組等ヲ考慮シ其ノ綜合戦果ヲ大ナラシムルト共ニ敵ヲシテ對應ノ違ナカラシムル如ク各波ノ兵力及編組、攻撃間隔、攻撃要領等ヲ決定スルヲ要ス而シテ各波ノ攻撃要領ハ勉メテ之ヲ異ナラシムルト共ニ所要ニ充タザル兵力ヲ逐次ニ使用スルノ弊ニ陥ルヲ避ケ且先攻部隊ノ攻撃成果ヲ次回攻撃部隊ガ機ヲ失セズ利用シ之ヲ増大スル如ク著意スルコト特ニ緊要ナリ

第二章 進攻準備

第一節 要 旨

一、準備ノ完整ハ出動ヲ輕捷ナラシムルノ基礎ナリ故ニ指揮官ハ絶エズ狀況ヲ判斷シ機ヲ失セズ我が企圖、出發時刻、裝備等ヲ示シ部下部隊ヲシテ準備ヲ周到ニシ命令一下直チニ所命ノ行動ヲ開始シ得シムルヲ要ス夜間進攻ヲ企圖スル場合ニ於テ特ニ然リ

航操七九

二、進攻準備ニ方リテハ飛行部隊ハ分科ニ應ジ特ニ其ノ順序及方法ヲ狀況ニ適應セシムルコト緊要ナリ而シテ進攻準備間ニ於テハ敵機ノ來襲ヲ顧慮シ之ガ對應處置ト進攻準備トノ節調ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操八〇

- 1、準備ノ順序、方法ヲ狀況ニ適應セシムル爲ニハ任務ニ基キ敵情、友軍ノ狀況、部下部隊ノ狀態等ヲ考慮シ先ヅ速カニ邀撃態勢ヲ整へ或ハ所要ノ部隊ニ緊急姿勢ヲ命ジ應急出動ニ備へ或ハ又損害局限ト對空戰鬥ノ見地ヨリ所要ノ態勢ヲ採ル等ノ處置ヲ必要トス
- 2、敵機來襲ニ對スル處置ト進攻準備トノ節調ヲ適切ナラシムル爲ニハ全般ノ狀況特ニ進攻ノ時機進攻準備進捗ノ度、分科ノ特性等ヲ考慮シ或ハ主力若クハ全力ヲ以テ邀撃シ或ハ一部ヲ以テ邀撃セシメ狀況ニ依リテハ對空戰鬥ノミニ止ムル等戰鬥指導ヲ當時ノ狀況ニ適應セシムルヲ要ス

第二節 各分科部隊ノ準備

一、攻撃ニ關スル準備研究

飛行部隊指揮官ハ常に上級指揮官ノ企圖、一般ノ狀況、豫想スル攻撃目標ノ狀態等ヲ明カニスルト

共ニ豫想目標附近及航路上ノ氣象情報ヲ收集整理シ分科ニ應ジ攻撃方式、爆(雷)撃法、火網構成法等攻撃實施ニ關スル研究、準備ヲ周到ニシ適時之ヲ部下部隊長ニ示シ出動ニ關シ所要ノ準備ヲ整へシメ特ニ其ノ出動ヲ輕快ナラシムルヲ要ス狀況ニ應ジ急遽出動セントスル場合ニ於テハ緊急姿勢ヲ命ズルコトアリ

二、出動ニ關スル準備

各分科飛行部隊隊長ハ敵機ノ活動狀況、飛行場ノ施設、各中隊ノ配置、季節、出動準備ニ使用シ得ル人員及器材ノ狀況、氣象特ニ飛行場附近ニ於ケル局地の氣象ノ特性、明暗ノ度等ヲ考慮シテ豫メ出動準備、始動、發進、地上滑走、整置、離陸、空中集合等ニ關シ所要ノ事項ヲ規定シ之ヲ各中隊及關係諸部隊ニ徹底セシメ所要ノ準備ヲ整へシムルコト緊要ナリ夜間出動ノ爲特ニ然リ

重規

三、彈種信管ノ決定

爆、襲分科戰隊長ハ裝備機種ニ應ジ爲シ得ル限り豫メ裝備スベキ彈種、彈數、信管ノ種類及其ノ搭載要領、燃料、酸素ノ搭載、武裝特ニ順位ニ應ズル各機ノ豫備銃(砲)ノ裝備及携行彈數、各機ノ搭載品(救命具、糧秣、醫療品等)等ヲ規定シ出動ニ方リ裝備ヲ完全ニシ之ガ指揮ヲ的確輕捷ナラシムルヲ要ス

爆彈及信管ノ種類ハ爆撃ノ目的、爆撃高度、目標ノ種類及狀態特ニ其ノ構造及強度、目標附近ノ地形、飛行機ノ搭載效率等ヲ考慮シテ選定スルヲ要ス狀況特ニ爆撃ノ目的、目標ノ種類ニ依リテハ一

目標ニ對シ二種以上ノ爆彈及信管ヲ使用シ又ハ化學彈ヲ混用スルヲ利トスルコトアリ

四、地上勤務部隊

進攻準備ノ整否及遲速ハ地上勤務部隊ノ活動ニ待ツ所極メテ大ナリ兵器ノ整備ニ關シ特ニ然リ之ガ爲地上勤務部隊ハ關係飛行部隊指揮官ト連絡シ機ヲ失セズ兵器ノ整備竝ニ燃料、彈藥、酸素等ノ補給ヲ實施スルト共ニ氣象、通信及保安勤務ニ關スル準備ヲ整フルヲ要ス

第三節 各種進攻ニ應ズル準備

一、夜間進攻ヲ企圖スル場合

夜暗ヲ利用スル進攻ヲ企圖スル場合ニ於テハ飛行部隊ハ豫メ出發、夜間航進、攻撃實施等ニ關スル準備ニ遺憾ナカラシムルト共ニ地上勤務部隊ハ航法施設、飛行場ノ照明設備等ヲ完備シテ飛行部隊ノ行動ヲ容易ナラシムルコト緊要ナリ

二、特種ノ攻撃ヲ企圖スル場合

特種ノ攻撃ヲ企圖スル場合ニ於テハ豫メ攻撃法、資材ノ取扱等ヲ訓練シ且所要資材ノ準備ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス此ノ際特ニ企圖ノ秘匿ニ注意スルト共ニ要スレバ部隊ヲ指定シテ所要ノ訓練ヲ實施セシムルコト緊要ナリ

特殊ノ攻撃トハ空中爆撃、體當リ、化兵攻撃、雷撃、小數機ヲ以テスル執拗ナル波狀攻撃等ヲ謂ヒ

各々其ノ種類ニ應ジ準備ノ内容及要領ヲ適切ナラシムルヲ要ス

特殊ノ攻撃ヲ企圖スルニ方リ之ニ協同スル部隊アル時ニ於テハ之ト緊密ニ連繫シ周到ナル協同戰鬥ノ要領ヲ確定シ置クコト緊要ナリ

三、地上作戰ニ協力スル場合

地上部隊ノ作戰ニ協力スル場合ニ於テハ手段ヲ盡クシテ地上ノ戰況地形等ヲ明カニシ要スレバ直接地上部隊ト連絡シ得ル如ク準備スルコト緊要ナリ

直協任務ニ服スル飛行部隊指揮官ハ勉メテ關係地上部隊指揮官ト豫メ會同シ各々知得セル敵情、地形、部下部隊ノ狀態等ヲ具體的ニ通報シ地上部隊ノ企圖ニ基キ空地協同ニ關シ左記事項中所要ノ件ニ就キ上級指揮官ノ協定ヲ補足スルモノトス

戰鬥各期ニ於ケル直協要領

指揮官ノ位置及相互ノ連絡法

彼我飛行機ノ識別及戰線標示ニ關スル事項

使用地圖、空中寫真ノ利用、目標(地點)ノ番(符)號等ニ關スル事項

目標及地點ノ指示法

地上部隊ニ屬スル偵察隊トノ協同ニ關スル事項

情報交換ニ關スル事項等

直協要領ハ我が兵力、戦況、協力スベキ地上部隊等ニ依リ異ナルモ協定ニ方リ特ニ直協ノ爲戦力指向ノ目的及重點、協力關係等其ノ要綱ヲ明カニシ勉メテ飛行部隊ノ戦闘威力ヲ主動的ニ運用スルヲ要ス

航操八五

地上作戦ニ協力スル場合航空高級指揮官ト地上兵團指揮官トノ協定ハ作綱第二百十、第二百二十四ニ基キ實施セラルルヲ以テ直協任務ニ服スル部隊トシテハ右協定事項ヲ基準トシ直協要領ヲ主體トシテ協定ヲ行ヒ其ノ要綱ヲ定ムルモノトス

而シテ協定スベキ事項ハ戦況、地上作戦指導ノ要領等ニ依リ異ナルモ特ニ飛行部隊就中分科ニ依ル特性(戦力、攻撃威力、搜索能力、輕快性、爆撃襲撃實施要領等)ヲ協同スベキ地上部隊ニ良ク理解セシメ勉メテ空地協同上ノ不利ヲ避クル如ク協定ヲ周到ナラシムルコト緊要ナリ

四、高々度又ハ超低空航進を企圖スル場合

高々度航進又ハ攻撃ヲ企圖スル場合ニ於テハ搭乗者ノ高々度適正ヲ考慮スルト共ニ航進計畫ニ於テ搭乗者ノ任務區分ニ應ズル携行酸素量ニ基キ高々度航進時間ヲ的確ニ算定スルノミナラズ酸素吸入器ノ裝備、照準具、爆弾投下裝備、機關砲(銃)等ノ凍結ニ對スル保温ニ關シ確實ナル整備ヲ實施シ置クコト緊要ナリ

又超低空航進ヲ企圖スル場合ニ於テハ地形地物ノ狀況、敵情就中電波警戒機ノ配置、對空火器ノ狀況等ニ關スル研究ヲ周到ナラシムルヲ要ス

第四節 出動命令

一、要 旨

飛行部隊ノ出動命令ハ分科、部隊ノ任務、指揮ノ要領等ニ依リ異ルモ自己ノ企圖、出發、航進要スレバ攻撃部署、歸還、關係アル他部隊ノ行動等ニ關シ所要ノ事項ヲ命令スルモノトス

攻撃部署ハ分科及指揮ノ要領ニ應ジ我が企圖、敵ノ機種及兵力又ハ目標ノ狀態、彼我ノ態勢、氣象就中視程ノ良否等ヲ考慮シ攻撃目標ノ配當、攻撃法、攻撃方式、攻撃方向等ヲ定ムルモノトス而シテ空中指揮ニ任ズル場合ニ於テハ要スレバ攻撃部署中攻撃目標、攻撃法、攻撃方式等ヲ豫定トシテ示シ置クモノトス

航操八六

二、出動命令ノ様式

出動命令様式ハ作戰綱要附録ニ據ルモノトシ戦隊ニ在リテハ之ニ準ジ勉メテ簡單ナル様式ヲ定ムルヲ要ス

三、命令下達上ノ注意

飛行部隊ノ出動命令ハ特ニ之ヲ簡潔ニシ且下達ヲ迅速ニシ以テ整齊輕捷ニ出動シ得シムルヲ要ス狀況ニ依リ各部隊ニ出發ノミヲ命ジ爾後空中ニ於テ逐次所要ノ事項ヲ命ズルコトアリ

航操八七

第三章 進攻實施

第一節 要旨

- 一、進攻ハ飛行團長以下指揮官空中指揮ノ下ニ實施スルヲ本則トシ航進ノ爲適宜ノ地點ニ集合シタル後航進シ此ノ間得タル情報ニ基キ攻撃ヲ實施スルモノトス
- 二、進攻ニ方リテハ指揮官以下人員ノ損傷、兵器ノ損耗等幾多苛烈困難ナル狀況ヲ現出スルヲ通常トス此ノ間ニ處シ克ク所期ノ目的ヲ貫徹シ得ルモノ一ニ懸リテ指揮官以下ノ旺盛ナル闘志ト斃レテ尙止マザルノ攻撃精神トニ存ス故ニ戦闘間縱ヒ指揮官ヲ失ヒ又ハ多數ノ缺機ヲ生ズルニ至ルモ各部隊ハ益々團結ヲ鞏固ニシ愈々攻撃精神ヲ發揮シテ手段ヲ盡クシテ一意任務ニ邁進セザルベカラズ
- 三、地上指揮ニ任ズル場合ニ於テハ指揮官ハ攻撃部署ニ基キ特ニ基準トナルベキ部隊ヲ定メテ協同ノ關係ヲ律スルト共ニ部隊ノ出動間絶エズ其ノ行動ヲ明カナラシメ要スレバ部隊出動後判明セル狀況ヲ通報シ勉メテ意圖ノ如ク戦闘ヲ指導スルモノトス此ノ際特ニ企圖ノ秘匿ニ注意スルト共ニ部下部隊ニ對シ大イニ獨斷活用ノ餘地ヲ與フルコト緊要ナリ

航操九一

航操九三

第二節 出發及航進

一、出發

出發ノ整齊圓滑ニシテ輕捷ナルハ任務達成ノ第一歩ナリ故ニ出發ニ方リ指揮官ハ狀況特ニ飛行場ノ状態、出動兵力、氣象、明暗ノ度等ヲ考慮シ發進、地上滑走、離陸、空中集合、出發時ニ於ケル飛行場上空ノ掩護等ニ關シ所要ノ事項ヲ補備シ航空空地部隊ノ有機的活動ノ下ニ整齊トシテ各部隊ヲ出發セシムルヲ要ス

地上滑走及離陸ヲ擊齊圓滑ナラシムル爲狀況ニ依リ飛行場司令ハ出發掛、誘導掛等ヲ設ケテ之ガ規整ニ任ゼシムルコトアリ夜間及視程短小ナル場合ニ於ケル出動ニ於テ特ニ然リ

二、航進ノ爲ノ集合

飛行團長空中指揮ニ任ズル場合ニ於テハ通常敵ニ近ク位置スル戰隊(爆襲部隊ハ通常戰鬥隊)飛行場上空又ハ飛行團司令部所在飛行場上空ニ所命ノ高度及時刻ニ飛行團長ノ直率スル戰隊ヲ基準トシテ集合スルモノトス

狀況ニ依リ航路上所命ノ地點ヲ所命ノ高度及時刻ヲ以テ通過スル飛行團長ノ直率スル戰隊ヲ基準トシテ集合スルコトアリ

時トシテ各部隊ニ航進目標、到着時刻等ヲ示シテ地域及高度上ニ分進セシメ爾後要スレバ集結シテ航進シ又ハ所命ノ時刻ニ攻撃セシムルコトアリ

三、航進ノ部署

航進の方リ指揮官ハ氣象及敵機活動ノ狀況ニ應ジ隊形及警戒部署ヲ適切ナラシムルト共ニ航路及高度ノ選定竝ニ速度ノ規正ヲ適切ニシ適時所命ノ地點ニ到達スルヲ要ス

四、氣象ノ利用

指揮官ハ航進間絶エズ航路上ノ氣象狀況ヲ觀察シ最近ノ氣象圖ト出發前及航進間入手セル氣象情報トヲ照合シテ氣象ヲ判斷シ機ニ先ダテ適切ナル決心ヲ爲シ之ヲ部下部隊ニ明示シ要スレバ機ヲ失セズ航路、高度及隊形ノ變換ヲ命令スルモノトス

此ノ際狀況之ヲ要スレバ所要ノ地點ノ氣象實況ノ通報ヲ基地ニ於ケル對空無線隊ニ要求スルノ著意肝要ナリ

五、夜間航進

夜間航進ニ方リテハ攻撃ノ目的、敵情、氣象、明暗ノ度、季節、地形ノ熟否、保安施設、分科ノ特性等ヲ考慮シ戰隊毎ニ航進空域ヲ定メ要スレバ時刻ヲ規正シ以テ部隊ノ撞著混雜ヲ防止シ且爾後ノ攻撃ノ爲戦力ノ集結ヲ的確ナラシムル如ク部署スルコト緊要ナリ

月明時ニ於テハ概ネ晝間ニ準ジテ行動スルモノトス

六、超低空航進

超低空航進ヲ實施スルニ方リテハ狀況特ニ超低空航進ノ目的、目標ノ遠近、地形、敵防空火器及對空監視網就中電波警戒網ノ配置等ヲ考慮シ超低空航進轉移ノ時機ヲ適切ナラシメ且其ノ目的ニ應ジ

隊形ノ選擇ヲ適切ニシテ行動ノ輕捷ヲ圖ルト共ニ豫メ地形地物ノ準備研究ヲ周到ニシ方向維持ヲ的確ナラシムルノ著意緊要ナリ

超低空航進ニ於テハ行動ヲ輕捷ナラシムル爲團結ヲ亂サザル限リ各中隊長ヲシテ適宜隊形ヲ選擇セシムルヲ通常トス

七、航進間敵飛行部隊ニ遭遇シタル場合

航進間敵飛行部隊ニ遭遇シタル場合ニ於テハ任務、我が兵力編組、敵ノ機種及兵力等ヲ考慮シテ其ノ行動ヲ律スルモノトス而シテ戰爆連合部隊ニ在リテハ敵戰團隊ニ對シテハ我が戰團隊ヲシテ機ヲ失セズ之ヲ攻撃セシメ主力ハ之ニ介意スルコトナク一意航進ヲ繼續スルヲ通常トス

第三節 航進間ニ於ケル警戒

一、警戒一般ノ要領

航進間飛行部隊ハ各級指揮官以下常ニ索敵警戒ヲ周密至嚴ニシ炯眼克ク敵ニ先ンジテ敵ヲ發見シ以テ爾後ノ戰鬪行動ヲ有利ナラシムルト共ニ敵ノ奇襲ヲ豫防スルヲ要ス

情報ノ收集、搜索警戒ノ爲ニハ出發前及行動間ヲ通ジ關係部隊トノ連絡、偵察機或ハ斥候ノ派遣等ニ依リ爲シ得ル限リ諸情報ヲ收集シテ敵飛行部隊特ニ戰團隊ノ狀況ヲ明カナラシムルヲ要ス

二、索敵警戒ノ要領及著意スベキ事項

1、索敵警戒ノ手段

索敵警戒ハ主トシテ視察ニ依リ行ハルルモ電波兵器等特種ノ器材ヲ使用スルコトアリ

2、索敵警戒ノ方向

索敵警戒ハ全周ニ對シ實施スルヲ要ス

雲、太陽ノ方向、上方或ハ我ガ射界及視界上ノ弱點等敵機ノ攻撃ニ有利ナル方面ニハ特ニ注意ヲ倍蓰スルヲ要ス

3、索敵警戒ノ爲飛行機ノ行動

索敵警戒ヲ行フニハ我ガ索敵力大ナル正面ヲ活用スルト共ニ索敵力小ナル正面ノ警戒ヲ十分ナラシムルニト緊要ナリ之ガ爲機種ニ依リ航進間時々自機ノ姿勢ヲ變ジ又ハ小角度ノ方向變換ヲ行ヒ或ハ單座機等ニ於テハ爲シ得レバ索敵力大ナル正面ヲ轉移シテ全周ニ對シ索敵シ敵機ノ不在ヲ確認シタル方向ニ後方ヲ委スルヲ利トス而シテ急激ナル行動ハ敵ニ發見ノ端緒ヲ與フルヲ以テ注意スルヲ要ス

4、索敵警戒上注意スベキ時期

國境又ハ戰線ヲ通過シ或ハ敵機ノ活動スル空域ニ進入セントスル場合又ハ雲ノ上、下際ヲ航進シ若クハ高射砲ノ爆煙ヲ發見セル場合等敵機ニ遭遇スル虞大ナル場合ニハ特ニ直チニ戰鬪行動ニ移リ得ル如ク準備スルヲ要ス

5、機影ヲ發見セル場合ノ行動

機影ヲ認ムルヤ速カニ彼我ヲ識別セザルベカラズ故ニ空中勤務者ハ常ニ彼我飛行機ノ形式、特徴性能、戰法等ヲ詳知シ且全般ノ戰況特ニ彼我ノ空中狀況ヲ明カニシ以テ正確ニ彼我ヲ識別シ得ルヲ要ス

高射砲ノ爆煙ハ彼我識別ノ憑據トナルコトアリ

彼我不明ノ場合ハ之ヲ敵ト看做シテ行動ス

敵機ヲ發見セバ之ニ連繫スル敵ノ所在ノ有無ヲ探究スルト共ニ他ノ方面ノ敵ニ對スル警戒ニ注意スルコト緊要ナリ

6、警戒ノ弛緩ニ對スル注意

遠距離或ハ高空若クハ氣象狀況ノ不良ナル場合ノ行動或ハ戰鬪後ノ歸還等疲勞シ或ハ行動困難トナリ或ハ精神ノ弛緩ヲ來シ易キ場合ニ於テハ空中勤務者ハ益々志氣ヲ緊張シ警戒ノ粗漏ナキ如ク注意セザルベカラズ

7、戰鬪隊ト他分科飛行部隊

爆撃隊、偵察隊等ニ在リテハ遠距離戰鬪隊又ハ協同若クハ協力戰鬪隊ト密ニ連繫シ其ノ行動ヲ考慮シテ行動スルヲ有利トス

三、警戒ノ部署

部隊行動間ニ於ケル警戒ノ要領ハ機種、兵力等ニ依リ異ルモ指揮官ノ適切ナル部署ト各機ノ周密ナル索敵警戒ニ依リ完璧ヲ期シ得ルモノトス

警戒ノ爲ニハ隊形及態勢ノ選擇竝ニ索敵警戒ノ要領ヲ適切ナラシムルト共ニ偵察機或ハ斥候ヲ先遣シ或ハ前方外周ニ斥候ヲ配置スルヲ有利トス大ナル部隊或ハ戦闘隊ニ於テ特ニ然リトス

1、隊形及態勢ノ選擇

各部隊ハ狀況ニ應ジ警戒容易ナル如ク隊形ヲ選定シ又戰爆部隊ノ關係特ニ戰鬥隊ノ位置及行動ヲ適切ナラシムルヲ要ス

2、索敵警戒ノ要領

索敵警戒ノ爲ニハ機種、兵力及隊形等ニ應ジ各隊ヲシテ獨立シテ索敵警戒ニ任ゼシメ或ハ全部隊ヲ統一シ各隊ニ部隊ノ全周ニ對シ重複シテ實施セシメ或ハ各隊ニ主トシテ擔任スベキ索敵方向ヲ配當シテ實施セシムルモノトス戰鬥隊ニアリテハ指揮官自ラ常ニ索敵警戒ヲ實施スルト共ニ後方ニアルモノハ特ニ上方及後方ニ對シ警戒スルヲ要ス

各隊ニ主トシテ擔任スベキ警戒方向ヲ配當スルニハ通常前方ニアルモノニハ前方ヲ、側方ニアルモノニハ側方要スレバ後方ヲ後方ニアルモノニハ後方ヲ警戒セシムルモノトス主トシテ警戒スベキ方向ヲ配當セラレタル各機ニ於テハ操縦者ハ隊形保持ノ爲ノ注視方向ヲ其ノ他ノモノニアリテハ視界ニ依リ異ルモ主トシテ擔任セル方向ヲ警戒スルモノトス

敵機ヲ發見セバ速カニ之ヲ報告ス之ガ爲狀況ニ應ジ數發ノ連射ヲ實施ス

第四節 進攻間ニ於ケル通信

一、要 旨

進攻間ニ於ケル空中通信ハ戰鬥指揮ノ完璧ヲ期スル爲極メテ重要ナリ之ガ爲準備ニ方リ器材ノ整備ヲ完整スルト共ニ豫想スル通信狀況ヲ考慮シテ通信型式及通信諸元ノ運用、敵ノ通信戰能力ニ對スル電波管制及其ノ時機竝ニ空中狀況ニ依ル發振勢力制限ノ要領、通信輻轉ノ時機及之ガ對策、事故惹起ノ場合ニ於ケル處置等ニ關シ所要ノ事項ヲ決定シ通信實施ニ關シ的確ナル準據ヲ與フルヲ要ス

二、通信管制

指揮官ハ航進間特ニ通信管制ノ實行ヲ嚴ニ監督シ無用電波ノ輻射ヲ戒ムルト共ニ通信實施ニ方リテハ時機ノ選擇ヲ適切ニシ且敵地トノ距離ヲ考慮シ出力ヲ減ジ極力通信文ヲ簡單ニシ且急襲的ニ實施セシムル等我が企圖ヲ暴露セザル如ク著意スルコト緊要ナリ

第五節 敵電波警戒網ノ突破

第一款 要 則

一、突破ノ爲ノ手段

敵電波警戒網突破ノ爲ニハ敵ヲ制壓シ若クハ牽制シ或ハ電波死角ヲ利用スル等各種手段ヲ活用スルヲ要ス此ノ際成シ得ル限り敵警戒機又ハ標定機ヲ撲滅スルヲ可トス而シテ攻撃ニ方リ小部隊（概ネ一中隊以下）ヲ以テスル場合ニハ電波死角ヲ利用シ穩密接敵シ大部隊ヲ以テスル場合ハ制壓、牽制等ノ手段ヲ併用スルヲ通常トス

二、突破ニ方リ考慮スベキ事項

敵電波警戒網ヲ突破シテ攻撃スルニ方リテハ敵防空組織特ニ地上電波警戒網ノ構成、他監視機關ノ配置、飛行機等ヲ以テスル哨戒並ニ我が軍ノ兵力、編組、攻撃目標、地形、天候氣象等ヲ考慮スルヲ要ス

此ノ際突破ノミニ專念シ攻撃ニ支障ヲ來シ共ノ成果發揚ニ缺クルガ如キコトアルベカラズ

第二款 敵ヲ牽制シテ行フ突破

一、要 旨

敵電波兵器ノ制壓又ハ電波死角ノ利用ニ依ル突破ハ狀況ニ依リ常ニ必ズシモ之ヲ望ミ得ザルモ敵ヲ牽制シテ行フ突破ハ容易ニ之ヲ實施シ得ルノ利點ヲ有ス

動

陽動ノ主眼ハ電波警戒機ノ鋭敏性ヲ逆用シ方向並ニ時間的ニ多數次ニ互リ行動シ我が行動ノ眞疑ヲ不明ニシ以テ敵ノ邀撃戦力ヲ分散遲鈍ナラシムニ在リ

之ガ爲一部ノ分派、時間差、隊形、高度等ヲ適切ニシ常ニ一定ノ型式ニ陥ルヲ避ケ敵ヲシテ豫測判斷シ得シメザルヲ要ス

三、分 進

分進ノ主眼ハ敵ヲシテ我が主力ノ指向方向ノ判定ヲ困難ナラシムルニ在リ之ガ爲數方向ヨリ異高度ヲ以テ合撃シ主力ハ電波死角ヲ利用シ成ルベク低高度ヲ以テ航進スルヲ可トス此ノ際分進スル一部隊ヲシテ敵電波警戒機ニ直進セシムル時ハ主力欺騙ノ爲有效ナリ

四、變 針

變針ノ主眼ハ敵電波警戒機ノ追隨ヲ困難ナラシメ或ハ敵電波誘導機ノ作業ヲ惑亂セシメ以テ敵ノ邀撃ヲ困難ナラシムルニ在リ之ガ爲敵電波誘導機ノ誘導可能範圍内（概ネ一〇〇軒）ニ於テ適宜角度大ナル變針ヲ行フヲ可トス

五、變 高

變高ノ主眼ハ敵電波警戒機ノ警戒ヲ擾亂シテ其ノ指揮ヲ混亂シ又ハ敵ノ警戒ヲ疲勞セシムルニ在リ之ガ爲敵電波警戒網内ニ於テ電波死角内ニ高度ヲ低下シ或ハ敵電波警戒機ニ對シ出沒スル如ク適宜變高スル等ノ手段ヲ講ズルヲ要ス

第三款 電波死角又ハ地形ヲ利用スル接敵

一、要 旨

電波死角又ハ地形ヲ利用スル接敵ハ我ガ企圖ヲ秘匿シ敵ヲ奇襲シ得ルモノトス故ニ任務ニ基キ特ニ地形、敵警戒機ノ配置、攻撃目標、攻撃兵力、天候氣象等ヲ考慮シ狀況之ヲ許セバ本法ニ依ルヲ有利トス就中超低空接敵ハ敵電波警戒網ニ對シ有利ナルノミナラズ敵戦闘機ノ攻撃及高射砲等ノ射撃ヲモ困難ナラシメ得ルヲ以テ小部隊ノ攻撃ニ方リテハ成ルベク本法ヲ採用スルヲ可トス電波死角及地形ヲ利用スル接敵ニ方リテハ豫メ敵警戒機ノ標高、性能、配置等ヲ知得シ航進要領ヲ決定スルト共ニ電波探索機ヲ利用スルモノトス

二、電波死角ノ利用

電波死角ヲ利用シテ接敵スルニ方リテハ電波探索機ニ依リ敵電波警戒網ニ進入セントスルヲ探知セバ緩降下ニ依リ高度ヲ低下シ再ビ水平ニ移行シ階段的ニ降下シツ、航進スルモノトス

三、地形ノ利用

地形ニ依リ生起スル電波死角ヲ利用スル接敵ノ要領ハ概ネ前項ニ準ズ本法ハ天候氣象ノ影響ヲ受クルコト極メテ大ニシテ又其ノ行動上大部隊ヲ以テスル行動困難ナルノ不利アリ

第四款 敵ヲ妨害又ハ制壓シテ行フ突破

一、要 旨

敵ヲ妨害又ハ制壓シテ行フ突破ハ直接敵電波兵器ヲ撲滅スルカ或ハ妨害機、妨害片等ニ依リ其ノ機能ヲ喪失セシメ又ハ此ノ兩者ヲ併用スルモノトス而シテ妨害機、妨害片等ニ依ル妨害制壓ハ敵ノ對應處置ニ依リ十分ナル效果ヲ收メ難キヲ通常トスルヲ以テ狀況之ヲ許ス限り直接撲滅スルヲ可トス

二、警戒機、標定機ノ撲滅

警戒機、標定機ノ撲滅ハ主力部隊ノ主目標攻撃時機ニ先行シ奇襲的ニ行フヲ通常トス

三、妨害機、妨害片ノ利用

妨害機ハ主トシテ電波警戒機、妨害片ハ主トシテ電波標定機ニ對シテ之ヲ使用スルモノトス

第六節 攻 撃

第一款 要 則

一、攻撃下令

空中指揮ニ任ズル場合ニ於テハ指揮官ハ航進間判明セル狀況ニ基キ機ヲ失セズ攻撃部署ヲ決定シ攻

撃ヲ下令ス

豫メ攻撃部署ノ豫定ヲ示シアル場合ニ於テモ攻撃下令ニ方リ其ノ要項及攻撃後ノ行動等ニ關シ的確ニ命令スルコト緊要ナリ

二、攻撃命令

攻撃下令ニ方リテハ左記事項中必要ノ件ヲ簡潔ニ命ズルモノトス

攻撃目標

攻撃方式

爆(襲)撃隊ニ在リテハ爆撃法要スレバ火網構成法

攻撃方向

爆(襲)撃部隊ニ在リテハ攻撃高度、投下諸元等

攻撃後ノ行動

三、攻撃ノ要領

攻撃ノ要領ハ目標ノ種類、部隊ノ編組、兵力ノ大小、敵戦闘隊ノ活動狀況、防空火器ノ狀況、氣象等ヲ考慮シ最大ノ效果ヲ收ムル如ク攻撃ノ方式、攻撃ノ方法ヲ選定スルモノトス

四、空中戦闘

空中戦闘ニ方リテハ特ニ鞏固ナル團結ヲ保持シ指揮官以下變化急激ナル狀況ニ處シ慧眼克ク戦機ヲ

看破シ戦闘威力ヲ所望ノ目標ニ集中發揮スルヲ要ス此ノ際分科ニ應ジ戦闘ノ要領ヲ異ニスルモ戦闘隊ハ先制ヲ確保シテ態勢ノ優越ヲ必占シ爆(襲)撃隊ハ愈々鞏固ナル團結ヲ堅持シテ熾烈ナル火力ト適切ナル機動トニ依リ克ク戦闘ノ目的ヲ達成セザルベカラズ
空中戦闘ニ方リテハ分科ノ如何ヲ論ゼズ炯眼克ク敵ニ先ンジテ敵ヲ發見スルハ攻撃奏功ノ第一歩タルヲ銘肝スルヲ要ス

第二款 飛行場攻撃

其ノ一要旨

一、飛行場攻撃ノ目的

飛行場攻撃ノ目的ハ主トシテ飛行機及空中勤務者ヲ撃滅スルニ在リ狀況ニ依リ指揮組織、修理資材飛行地區等ヲ破壊スルヲ利トスルコトアリ而シテ飛行地區ノ攻撃ハ其ノ時機、破壊ノ程度等適切ナラザレバ效果之ニ伴ハザルコトアルヲ考慮シ爾後ノ攻撃ニ連繫セシムルノ著意緊要ナリ

二、攻撃ノ要領

飛行場攻撃ニ方リテハ我が企圖ニ基キ敵ノ兵力、編組、配置、戦法、掩護施設ノ状態、防空機關ノ狀況、氣象、明暗ノ度等ヲ考慮シ攻撃目的ノ達成ニ必要ナル戦爆部隊ヲ指向スルコト緊要ナリ狀況

ニヨリ爆撃隊ヲシテ敵飛行場ヲ攻撃シ敵ヲ空中ニ誘出シテ我が戦闘隊ノ戦闘ヲ容易ナラシメ或ハ我が戦闘隊ヲシテ敵戦闘機ヲ牽制又ハ誘致シテ爆撃隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムル如ク部署スルヲ利トスルコトアリ又戦闘隊ノミヲ以テ攻撃セシムル場合ニ於テモ爲シ得ル限リ一部ノ爆撃隊ヲシテ敵ノ飛行場ニ潜伏又ハ著陸セル時機ヲ利用シテ之ヲ捕拏撃滅スルノ著音ヲ必要トス

作網
一四八
一四九

其ノ二 直前搜索及攻撃成果ノ搜索

一、攻撃直前ノ搜索

攻撃直前ノ搜索ヲ行フ場合ニ於テハ攻撃部隊ニ先行シ攻撃スベキ飛行場ノ状況、航路及該飛行場附近ニ於ケル氣象状況等ヲ明カナラシムルヲ要ス之ガ爲攻撃ノ時機及方法、攻撃部隊ノ種類、兵力及編組、豫想スル戦況等ヲ考慮シ達成スベキ目的、搜索スベキ事項、報告ノ時機及要領ヲ定メ所要ノ機數ヲ部署スルモノトス此ノ際報告ノ時機、搜索スベキ範圍及事項等當時ノ状況ヲ考慮シ搜索ニ要スル時間ノ餘裕ヲ存セシムル如ク各種ノ出發時刻ヲ定ムルコト必要ナリ敵戦闘機ノ妨害竝ニ氣象状況ノ變化ヲ豫想スル場合ニ於テ特ニ然リ

司規

二、攻撃成果ノ搜索

攻撃ノ成果ノ搜索ヲ行フ場合ニ於テハ通常攻撃後ノ敵機ノ動靜就中殘存機數、移動又ハ追尾ノ有無等ヲ明カナラシムルモノトス狀況ニヨリ爆撃ノ效果ヲ併セ觀察スルコトアリ之ガ爲攻撃後若干時

間ヲ間シ爆煙消滅シ或ハ敵機ノ著陸スル時機等ニ乗ズル如ク搜索時機ヲ定ムルヲ可トス之ノ際直接攻撃セル飛行場ヲ搜索スルノ外關係飛行場ヲ適時搜索又ハ監視セシメ攻撃成果ヲ明カナラシムルノ著意ヲ必要トス(司規)

司規

其ノ三 戦爆協同ニ於ケル戦闘隊ノ行動

戦闘隊他分科飛行部隊ト協同シ敵飛行場上空ニ敵機ヲ求メテ攻撃ヲ企圖スル場合ニ於テハ指揮官ハ敵機捕拏ノ確實ヲ圖ル爲狀況特ニ協同スル飛行部隊ノ行動、敵飛行場ノ配置、季節、氣象等ニ應ジ進攻ノ態勢就中進攻方向及高度ノ選定ヲ適切ナラシムルヲ要ス
狀況ニ依リ當初一部ヲ分進シ主力ニ呼應シ敵ヲ包圍攻撃スル如ク部署スルヲ可トスルコトアリ
此ノ際狀況之ヲ許セバ對地攻撃ヲ敢行シ在地敵機ノ撃摧ニ勉ムルヲ要ス

其ノ四 爆(襲)撃隊ノ攻撃

一、要 旨

飛行場攻撃ニ方リテハ在地敵機ノ機種、配置及遮蔽ノ度、附近ノ地形、飛行場施設、彼我飛行機ノ活動狀況、防空機關ノ状態、天文、氣象等ヲ考慮シ接敵要領、攻撃方式及攻撃方法ノ選定ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

攻撃ニ方リテハ一部ヲ以テ敵防空火器ヲ制壓スルヲ要スルコト多シ

二、爆撃隊ノ爆撃要領

飛行場ニ對スル爆撃ハ其ノ目的、在地敵機ノ機種、兵力配置及遮蔽ノ度、飛行場施設、防空機關ノ状態、氣象、明暗ノ度等ニ依リ爆撃法、火網構成法、爆撃部位、使用スベキ彈種、信管等ヲ決定スルモノトス

暴露セル飛行機ニ對シテハ瞬發信管附小型地雷彈又ハ特殊攻撃用爆彈ヲ用ヒ濃密ナル破片若クハ爆壓ノ效力ニ依リ破壊スルヲ通常トシ無蓋掩體內ノ飛行機ニ對シテハ瞬發信管小型地雷彈ノ掩體內彈著ニ依ルカ特殊攻撃用爆彈若クハ曳火信管附爆彈ニ依リ破壊スルヲ有利トス何レノ場合ニ於テモ化學彈ヲ混用セバ更ニ有利ナリ

格納庫、修理工場等ニ對シテハ通常延規信管附小型又ハ中型地雷彈ヲ用ヒ之ヲ破壊スルヲ通常トス滑走地區ニ對シテハ土質、凍結ノ度、舗裝路ノ有無等ヲ考慮シ延規信管附小型又ハ中型地雷彈ニ依リ密度適當ナル火網ヲ以テ漏斗孔地帶ヲ構成シ離著陸ノ爲ノ滑走ヲ不能ナラシム

三、銃（砲）撃

暴露飛行機ニ對シテハ飛行機群ノ縱長ニ沿ヒ編隊毎ニ銃撃部位ヲ配當シテ行フヲ通常トシ無蓋掩體內飛行機ニ對シテハ各編隊若クハ各機ニ一箇ノ掩體ヲ配當スルヲ可トス

四、攻撃ノ方向及要領

攻撃ノ方向ハ攻撃或ハ爆撃火網ノ構成容易ナルト共ニ敵ノ意表ニ出デ或ハ敵ノ對空射撃困難ナル如ク定ムルヲ要ス之ガ爲氣象、地形、太陽ノ方向ヲ利用シ得バ有利ナリ而シテ攻撃ハ一方向ヨリ或ハ數方向ヨリ實施シ敵ヲシテ對應ノ處置ヲ講ズルヲ困難ナラシムルヲ要ス而シテ數方向ヨリ攻撃スル場合ニハ相互撞著危険ナキ如ク考慮スルヲ要ス

攻撃ニ方リテハ攻撃法、攻撃ノ目的等ニ應ジ一舉ニ所望ノ效果ヲ收ムル如ク同時攻撃ヲ實施シ又ハ波狀攻撃ヲ行フモノトス

五、高度

爆撃航路ヘノ航進及目標ニ對スル接敵ニ方リテハ氣象ヲ利用シ或ハ高々度或ハ超低空ヲ以テ航進シ目標附近ニ於テ所望ノ高度及航路ヲ採ルヲ有利トスルコトアリ

攻撃ノ爲ノ高度ハ攻撃ノ目的、攻撃法ニ應ジ所望ノ精度ヲ得ルト共ニ防空機關等ニ依ル損害ノ減少ヲ顧慮シテ決定スルモノトス

低空ニ於ケル攻撃直後ノ離脱ハ上昇スルコトナク速度ヲ増加シ速カニ敵ノ對空火器ノ威力圏外ニ脱出スルヲ可トス高度大ナルニ從ヒ目標ノ發見困難ニシテ爆撃及射撃ノ精度ハ低下スルモ敵ノ目視及聽音ニ依ル發見ヲ困難ナラシメ對空火器ニ依ル損害ヲ減少シ有效火器ヲ制限シ得高度低キトキハ利害概ネ之ニ反ス超低空ニアリテハ敵ノ發見及對空火器ノ射撃竝ニ敵戰鬥機ノ攻撃ヲ困難ナラシメ得ルモ行動ノ困難性ヲ増大ス

六、分開シテ攻撃スル場合

分開シテ攻撃スル場合ニ於テハ各部隊ノ攻撃目標、航路、高度等ニ關シ所要ノ事項ヲ命令シ各部隊毎ニ攻撃目標ヲ配當シ或ハ同一目標ヲ重疊シテ攻撃セシム各部隊ニ攻撃目標ヲ配當スル場合ニ於テハ攻撃時機ヲ勉メテ同一ナラシムルヲ可トス
分開シテ攻撃スル爲指揮官ハ攻撃部署、目標確認ノ度、氣象等ヲ考慮シ分進點ニ部隊ヲ誘導シタル後分進セシム

分進點ハ分進後攻撃實施ノ爲各部隊ニ所要ノ餘裕ヲ存セシムルト共ニ各部隊ノ攻撃時機ヲ勉メテ同時ナラシムルコトヲ考慮シテ決定スルモノトス

攻撃實施後各部隊ハ速カニ分進前ノ隊形ニ復歸シ或ハ離脱後所命ノ集合點ニ集合スルモノトス
分開シテ行動シアル間ハ敵戦闘機ニ對シ弱點ヲ生ジ易キニ注意スルヲ要ス

七、超低空攻撃

超低空攻撃ノ實施ニ方リテハ巧ニ地形地物ニ遮蔽シツツ接敵シ敵ノ不意ニ乘ジテ急襲スルヲ要ス此ノ際地形ヲ大觀シ目標ヲ標定シテ接敵ノ目標ヲ確認スルヤ速カニ飛行方向ヲ目標ニ指向スルモノトス

八、拘束攻撃ノ要領

夜間等ヲ利用シ敵飛行部隊ヲ飛行場ニ拘束シタル後之ヲ攻撃スルヲ有利トスルコトアリ機動活發ナル敵ヲ地上ニ捕捉セントスルガ如キ場合ニ於テ特ニ然リトス此ノ際ニ於テハ敵ノ出發ニ先ダチ滑走

地區等ヲ破壊シ爾後要スレバ之ガ補修及出動準備ヲ妨害シテ敵ヲ拘束シ其ノ成果ヲ機ヲ失セズ利用シテ之ヲ擊滅スルモノトス而シテ之ガ實施ニ方リテハ各攻撃ノ時機及兵力ヲ適切ナラシムルト共ニ敵擊滅ノ爲ノ攻撃ハ強襲ヲ準備シアルヲ必要トス

第三款 戦闘隊ヲ以テ某空域ニ敵ヲ攻撃セントスル場合

(附) 爆(襲)撃隊ノ空中戦闘

其ノ一 要 旨

一、決戦ノ時機、空域ノ決定

戦闘隊獨力ヲ以テ出動シ敵機ノ擊滅ニ任ズル場合ニ於テハ指揮官ハ任務ニ基キ狀況特ニ敵飛行部隊就中戦闘隊ノ兵力、配置及活動狀況竝ニ友軍飛行部隊ノ行動ヲ考慮シ自主積極的ニ決戦ヲ指導シ得ル如ク其ノ時機及空域ヲ決定スルモノトス

決戦ノ時機及空域ハ某時機及空域ニ局限スルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ行動空域ノミヲ豫定シ隨所ニ敵ヲ求メテ擊滅シ若クハ當初一部ヲ數箇所ニ行動セシメテ生起スル戰況ニ應ジ速カニ所要ノ空域

ニ決戦ヲ求ムルヲ利トスルコトアリ此ノ際指揮官ハ特ニ戰機ノ捕捉ニ勉ムルト共ニ牽制、陽動、欺

騙、誘致等ノ手段ヲ活用シ敵機ノ捕捉擊滅ヲ確實ナラシムル如ク部署スルコト緊要ナリ

戰規

二、地上部隊ノ戰場附近上空ニ決戦ヲ求メントスル場合

指揮官地上部隊ノ戰場附近上空ニ決戦ヲ求メントスルニ方リテハ友軍飛行部隊ノ行動、地上作戰ノ推移、氣象等ヲ考慮シ敵ノ出動狀況ヲ判斷スルト共ニ敵情監視、搜索等ノ處置ヲ講ジ敵ノ蟄集スル時機ヲ巧ニ捕捉シ又主動的ニ敵ヲ誘致スルノ手段ヲ講ズル等敵航空戦力ノ捕捉ヲ的確ナラシメ其ノ集結戰鬪威力ヲ發揮シテ之ガ撃滅ヲ容易ナラシムルコト緊要ナリ

戰規

其ノ二 空中戰鬪(戰規)

一、戰鬪隊形

戰鬪隊敵ト遭遇ノ顧慮アルニ至ルヤ指揮官ハ機ヲ失セズ戰鬪隊形ニ變換セシムルト共ニ有利ナル態勢ヲ獲得スル如ク要スレバ速度ヲ増加シ接敵ヲ開始スルモノトス

二、接敵

接敵ノ要ハ機先ヲ制シテ敵ヲ奇襲シ得ル如ク態勢ノ優越ヲ占ムルニ在リ之ガ爲指揮官ハ常ニ主動ノ地位ヲ占メ斥候ヲ活用シテ的確ナル敵狀ノ把握ニ勉メ要スレバ適時戰隊ニ分進ヲ命ジ敵ヲ包圍スルニ勉ムルヲ要ス

三、攻撃下令

敵ヲ捕捉セバ指揮官ハ部下部隊ヲ部署シテ攻撃ヲ下令スルモノトス攻撃部署ハ敵ノ機種及兵力、彼

我ノ態勢、氣象狀況特ニ我ガ企圖ニ依リ異ナルモ空中戰鬪ノ特性ニ鑑ミ當初ヨリ所要ノ兵力ヲ戰鬪ニ加入セシメ一舉ニ敵ヲ撃滅スルコト緊要ナリ然レドモ當初一部ヲ豫備トシテ控置スルヲ要スルコト少カラズ

四、戰鬪指導

指揮官ハ變化急激ナル狀況ニ處シ慧眼以テ戰機ヲ看破シ機先ヲ制シテ敵ヲ急襲シ部隊ノ戰鬪威力ヲ集中發揮シテ敵ヲ撃滅スル如ク戰鬪ヲ指導スルヲ要ス之ガ爲自ラ一部ヲ直率シテ率先攻撃ニ任ジ若クハ之ヲ豫備トシテ直率シ攻撃部隊ニ呼應シテ敵ヲ壓スル如ク機動シ要スレバ各部隊ノ機動ヲ律シテ敵ヲ捕捉シ戰鬪開始セラルルヤ全般ノ狀況ヲ洞察シ機ヲ失セズ戰鬪ニ加入シテ攻撃部隊ノ戰鬪ヲ支援シ又ハ戰果ヲ擴張シテ戰勢ヲ支配シ或ハ敵ノ脱逸ヲ阻止シ又ハ爾他ノ敵ニ備フル等適時適切ニ戰鬪ヲ指導スルコト緊要ナリ

五、高位ヨリ敵ノ攻撃ヲ受ケントスル場合

高位ヨリ敵ノ攻撃ヲ受ケントスルヤ指揮官ハ巧ニ機動ヲ律シテ克ク敵ノ包圍機動ヲ脱シ且一部ヲ以テ敵ヲ誘致シ主力ヲ以テ有利ニ之ヲ攻撃シ狀況止ムヲ得ザルモ敵ノ攻撃ヲ逐次各個戰鬪ニ導キ部隊ノ集結戰鬪威力ヲ發揮シ以テ之ヲ各個ニ撃破スル如ク戰鬪ヲ指導スルヲ要ス

六、敵戰鬪隊ニ對スル攻撃

敵戰鬪隊ヲ攻撃スルニ方リテハ捕捉セル敵群ノ上層ニ對シ指揮官自ラ率先シ或ハ最モ迅速且容易ニ

攻撃シ得ル態勢ニ在ル部隊ヨリ攻撃ヲ開始シ相次デ包圍圈上ヨリ爾余ノ部隊ノ攻撃ヲ集中シ以テ先
ヅ敵ノ組織的低位抗戰ヲ破摧シテ混亂ニ陥ラシメ爾後攻撃ヲ反復シ若クハ部隊各個ノ攻撃ヲ實施セ
シメテ敵ヲ擊滅スルモノトス

敵戦闘隊ヲ攻撃スルニ方リ各個ノ攻撃ヲ實施スル場合ニ於テハ特ニ他ノ敵ニ乗ゼラレザルノ顧慮ヲ
必要トス之ガ爲各隊ハ目視連絡ヲ保持スルニ勉メ且其ノ攻撃經過ヲ迅速ナラシメ速カニ部隊ノ集結
ヲ圖ルモノトス此ノ際指揮官ハ一部ヲシテ上空掩護ニ任ゼシムルヲ可トスルコトアリ
上空掩護ニ任ズル部隊ハ戰況及敵情ヲ判斷シ攻撃部隊ノ戦闘ヲ適時掩護シ得ル如ク適切ナル關係位
置ニ占位機動シ新敵ノ戦闘加入ヲ阻止シ離脱上昇スル敵機ヲ攻撃スルヲ要ス

七、爆撃隊ニ對スル攻撃

敵爆撃隊ヲ攻撃スルニ方リテハ一團ノ敵ニ對シ各部隊ノ攻撃ヲ重疊指向スルヲ通常トス此ノ際特ニ
特殊攻撃中隊ニ對スル任務ヲ明確ニ示シ指揮ヲ適切ニシテ其ノ效果ヲ最大ナラシムルト共ニ之ガ利
用ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

敵戰爆連合部隊ヲ攻撃スルニ方リテハ當時ノ狀況ニ應ジ最モ速カニ擊滅ヲ要スル部隊ニ對シ戦闘威
カヲ集中發揮セシムルモノトス

任務上先ヅ敵爆撃隊ヲ攻撃スルヲ要スル場合ニ於テハ敵戦闘隊ニ對シ拘束ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

八、戦闘後ノ集結及歸還

當面ノ敵ヲ擊滅スルカ或ハ然ラザルモ戦闘豫定時間ヲ經過セバ速カニ集結シテ爾後ノ行動ヲ準備シ
或ハ歸還ノ途ニ就クヲ要ス而シテ戦闘後ノ集結ヲ迅速確實ニ實施スルハ必ズシモ容易ナラズ特ニ完
全ニ敵ヲ擊滅セズシテ離脱スルヲ要スル時ハ其ノ實行頗ル困難ニシテ指揮官以下ノ適切ナル部署ト
行動ヲ必要トス

戦闘時間ノ制限ヲ受クルハ空中戦闘ノ一特性ナリ

1、集結ノ要領

集結ノ爲ニハ各單位部隊毎ニ集結シツツ速カニ上級指揮官ノ掌握下ニ入ルモノトス之ガ爲指揮官
ハ其ノ位置ヲ明示スルヲ必要トス集結スル地域ハ其ノ戰場附近ニシテ成ルベク明瞭ナル地點ヲ可
トス大部隊ニ在リテハ各部隊毎ニ集結シ或ハ集合地域ヲ命ジ集結セシムルモノトス

2、歸還ノ要領

歸還ニ方リテハ敵ノ追躡攻撃ニ對シ警戒スルト共ニ執拗ナル敵ノ追躡ニ對シテハ速カニ之ヲ排除
スルヲ要ス之ガ爲航進ノ部署ヲ適切ニシ各部隊ノ相互支援ヲ適切ナラシムルヲ必要トス又飛行場
ノ上空迄高度ヲ低下セザルヲ要ス

(附) 爆(襲)撃隊ノ空中戦闘

其ノ一 爆 撃 隊

一、空中戦闘ノ主眼

空中戦闘ノ主眼ハ鞏固ナル團結ノ下戦闘隊形ヲ堅持シ卓越セル射撃裝備ト射撃技能トニ依リ熾烈ナル火力ヲ發揚シ蝟集スル敵機ヲ速カニ擊墜スルニ在リ

二、敵機ノ妨害ヲ回避スル要領

敵機ノ妨害ヲ回避スル爲ニハ勉メテ遠距離ニ之ヲ發見シ速カニ其ノ企圖及行動ヲ判斷シ且彼我ノ態勢及性能ヲ考慮シテ敵ニ捕捉セラレザル如ク行動スルモノトス此ノ際任務ニ基ク爾後ノ行動ヲ顧慮シ又氣象ヲ利用スルノ著意ヲ必要トス時トシテ欺騙行動ヲ實施スルヲ可トスルコトアリ

三、敵機ノ攻撃ヲ受ケントスル場合ノ行動

敵機ノ攻撃ヲ受ケントスル場合ニ於テハ堅確ナル戦闘隊形ニ依リ其ノ威容ヲ整フルト共ニ火網構成ニ罅隙ナカラシムルコト緊要ナリ狀況ニ依リ速度機動ニ依リ敵ノ攻撃ヲ困難ナラシムルヲ利トスルコトアリ

速度機動ハ敵戦闘機トノ速度差小ナル場合ニ於テ其ノ價值特大ナリ

四、射撃實施要領

空中戦闘ニ於ケル射撃ノ主眼ハ敵機ノ行動ヲ豫察シ速カニ準備ヲ完整シ好機ニ乗ジテ敵ヲ擊墜スルニ在リ之ガ爲射撃ノ實施法ヲ狀況ニ適應セシムルト共ニ敵機ノ攻撃動作ノ機先ヲ制スルヲ要ス敵機我ガ旋回銃(砲)ノ射界内ニ攻撃シ來ルトキハ我が有效射距離ニ入ルヲ待チ熾烈ナル火力ヲ發揚

シ一舉ニ之ヲ擊墜ス此ノ際過早ニ粗漏ナル射撃ヲ實施シ彈藥ヲ濫費スルコトナキヲ要ス狀況ニ依リ遠距離ヨリ阻止射撃ヲ實施スルコトアリ

敵機離脱ノ時機ハ擊墜ノ好機ナリ故ニ敵ノ離脱セントスルヤ機ヲ失セズ之ヲ捕捉擊墜スルヲ要ス彈倉交換ハ敵機ノ状態ニ注意シテ其ノ時機方法ヲ適切ナラシムルト共ニ實施ヲ敏活ニシ敵ニ乗セラレザルヲ要ス

五、敵ノ牽制、陽動等ニ對スル著意

敵機ハ屢々牽制、陽動等ノ術策ニ依リ我が罅隙ニ乗ジ或ハ我が彈藥ヲ消耗セシメントスルコトアルヲ以テ全周ニ對スル警戒ヲ嚴ナラシムルト共ニ一部ノ敵ニ牽制セラレ或ハ其ノ術中ニ陥ラザルノ著意緊要ナリ

六、隊形及火網構成要領

空中戦闘ノ爲ノ隊形及火網ハ射死角ヲ消滅シ弱點ヲ除去シ適時所望ノ方面ニ濃密ナル火力ヲ集中シ得ルト共ニ敵ノ攻撃ヲ困難ナラシムルヲ要ス之ガ爲通常密集セル隊形ヲ用ヒ狀況ニ依リ距離間隔ヲ更ニ閉縮ス然レドモ空中爆撃ヲ受クルノ虞アル場合ニ於テハ敵ノ機關銃(砲)攻撃ニ乗セラレザル限リ距離間隔ヲ延伸スルヲ可トスルコトアリ隊形ノ困亂ハ敵機ニ攻撃ノ機會ヲ與フルヲ以テ常ニ之ヲ堅持スルヲ必要トス而シテ缺機ヲ生ジタル場合ニ於テハ豫メ定メタル所ニ從ヒ成ルベク速カニ新ナル隊形ニ轉移シ敵ヲシテ乗ズルノ罅隙ナカラシムルヲ要ス

主力ヨリ離隔セル單機ハ敵ノ集中攻撃ヲ受ケ易キモノトス

七、夜間 戰 闘

敵機ハ照空燈ノ協力ナクシテ攻撃シ來ルコト多シ而シテ夜間敵ノ攻撃ハ後下方特ニ機軸方向ニ近ク指向セラルルヲ通常トスルヲ以テ特ニ該方向ニ對スル警戒ヲ嚴ナラシメ敵ノ奇襲ヲ受ケザルコト緊要ナリ

又敵ノ發見ヲ避クル爲排氣ノ消焰ニ注意スルヲ要ス

其ノ二 襲 撃 隊

一、空中戰闘ノ主眼

空中戰闘ノ主眼ハ優勢ナル固定砲銃ノ火力ト鞏固ナル團結威力トヲ發揮シ機先ヲ制シテ敵ヲ攻撃シ之ヲ各個ニ撃滅スルニ在リ

狀況ニ依リ隊形ヲ緊縮シ鞏固ナル團結ト濃密ナル旋回銃防禦火網トヲ構成シ敵機ノ攻撃ヲ破摧スルコトアリ

二、戰 闘 ノ 要 領

積極的ニ敵ヲ攻撃スル際ニ於ケル戰闘ノ要領ハ戰闘隊ニ、敵ノ攻撃ヲ回避セントスル場合ハ爆撃隊ニ準ズルモノトス

第四款 海洋目標ノ攻撃

(附) 船 團 掩 護

一、要 旨

海洋ニ於ケル作戰ニ在リテハ航空部隊ハ敵上陸輸送船團、舟艇、潜水艦時トシテ航空母艦又ハ驅逐艦等ニ對スル攻撃ニ任ズ

敵艦船ニ對スル攻撃ハ雷撃、爆撃、跳飛爆撃等ニ依ル

二、敵上陸輸送船團ニ對スル攻撃

敵ノ上陸輸送船團ニ對スル攻撃ニ方リテハ勉メテ其ノ行動發起ニ先ダチ根據地ヲ急襲シテ之ヲ捕捉撃滅スルト共ニ其ノ機動ニ方リテハ好機ニ投ジ猛烈果敢ナル攻撃ヲ斷行シ之ヲ洋上ニ覆滅スルコト緊要ナリ

攻撃ニ方リテハ其ノ護衛艦艇トノ眞面目ノ戰闘ヲ避ケ専ラ主要船舶ニ攻撃ヲ集中シ各種攻撃法ヲ採用シテ一舉ニ之ガ覆滅ヲ期スルヲ要ス

三、爆(雷)撃ノ要領

洋上ニ於ケル艦船ノ爆(雷)撃ニ方リテハ戰隊長ハ觸接機ノ報告ニ基キ各中隊ニ投下諸元ト共ニ目標

作 綱
二二七
一〇

ヲ配當シ觸接機ノ誘導ニ依リ目標ノ航行隊形ニ應ジ其ノ縱長ヲ廣ク捕捉シ或ハ其ノ航進方向ヲ包圍シ得ル如キ點ニ戰隊ヲ誘導シ目標ヲ發見スルヤ戰隊ヲ分解シ中隊毎ノ同時異方向ノ攻撃ヲ實施スルヲ通常トス

敵艦船攻撃ニ方リテハ高々度又ハ高空ヨリ接敵シ或ハ氣象特ニ雲ヲ利用スル等極力我が企圖ノ秘匿ニ勉ムルト共ニ各中隊ノ攻撃行動ニ混亂ヲ惹起セシメザル限リ目標ニ近接シテ分解スルノ著意緊要ナリ然レドモ雷撃ニ方リテハ高度ノ處理ヲ考慮スルヲ要ス

重規

四、夜間ニ於ケル艦船ノ爆(雷)撃

夜間特ニ暗夜ニ於ケル艦船ノ爆(雷)撃ニ方リテハ戰隊長ハ觸接機トノ連絡ヲ特ニ緊密ニシ共ノ誘導リ依ニ目標航路ノ側方又ハ前側方ニ戰隊ヲ誘導シタル後照明ニ任ズル部隊ヲ分離シ敵ノ背後ヲ照明セシメ主力ハ中隊毎ニ目標背影ヲ利用シテ概ネ同一方向ヨリ連續シテ攻撃ニ任ズルヲ通常トス

重規

五、舟艇ニ對スル攻撃

舟艇、油槽船等ニ對スル攻撃ニ方リテハ爆撃、銃(砲)撃ヲ併用スルモノトス而シテ銃(砲)撃ハ敵ノ弱點特ニ機關部、油槽等ヲ攻撃スルヲ有到トス

此ノ際ト空掩護及對空火器制壓ノ部署ヲ缺クベカラズ

(附) 船團掩護

一、戰 團 隊

戰團隊輸送船團ノ掩護ニ任ズル場合ニ於テハ主力若クハ一部ヲ以テ被掩護船團上空ニ配置シ該船團ノ掩護ヲ確實ナラシムルト共ニ爾余ノ一部若クハ主力ヲ其ノ上空ニ重層配置シ以テ配備ノ支撐力ヲ保持セシムルモノトス

敵戰爆部隊ノ攻撃ヲ受クルニ方リテハ手段ヲ盡クシテ敵爆撃隊ノ擊滅ニ勉メ以テ掩護ヲ確實ナラシムルヲ要ス

二、爆 撃 隊

爆撃隊輸送船團ノ掩護ニ任ズル場合ニ於テハ主トシテ敵潜水艦ニ對スル警戒ノ爲一部ヲ以テ常時被掩護船團上空附近ニ配置シ航路四周ヲ警戒シ之ガ掃蕩ニ任ゼシメ主力ハ隨時出動シ得ルノ態勢ヲ以テ待機シ逐次交代スルト共ニ敵ノ海上艦艇ノ出撃ニ方リテハ機ヲ失セズ出動之ガ擊滅ニ任ズルモノトス

三、其ノ他ノ部隊

軍偵其ノ他ノ部隊ハ狀況ニ依リ船團掩護ノ爲對潛警戒ニ任ズルコトアリ

第五款 敵地上軍隊ニ對スル攻撃

地上關係教程ニ據ル

第六款 其ノ他ノ目標ニ對スル攻撃

一、敵防空火器ニ對スル攻撃

敵防空火器ヲ攻撃スルニ方リテハ其ノ種類、兵力、戦法特ニ其ノ配置及陣地設備ヲ考慮シ豫メ入手セル情報ニ基キ地形、天文、氣象等ヲ利用シテ勉メテ奇襲シ之ガ制壓若クハ撲滅ヲ圖ルヲ要ス豫メ敵防空火器ノ位置ヲ確認シアル場合ニ於テハ死角ヲ利用シ極力超低空攻撃ニ依リ之ヲ攻撃シ其ノ位置不確實ナル場合ニ於テハ目視ニ依リ搜索シ或ハ一部ヲ以テ牽制行動ヲ行フ等ノ處置ヲ講ジテ其ノ位置ヲ確認シタル後攻撃スルモノトス攻撃ノ手段ハ爆撃若クハ砲撃ニ依ルモ徹底的撲滅ハ困難ナルヲ以テ全般的ニ制壓ヲ圖ルヲ通常トシ狀況ニ依リ特ニ重要ナルモノノ撲滅ヲ圖ルモノトス

二、敵電波警戒機又ハ標定機ノ撲滅

警戒機又ハ標定機ノ撲滅ハ通常先ジ警戒機ノ撲滅ヲ圖ルヲ可トス然レドモ特ニ高射部隊ノ制壓ヲ要スル場合ニ於テハ先ヅ標定機ヲ撲滅スルモノトス警戒機、標定機ノ撲滅ニ方リ爆撃目標ハ通常空中線ニ指向スルモノトス然レドモ敵ノ送受信所掩蔽

シアラザル場合ニ於テハ勉メテ器材本體ヲ攻撃スルヲ要ス

三、敵空中挺進部隊ニ對スル攻撃

敵ノ空中挺進部隊ニ對スル攻撃ニ方リテハ爲シ得ル限り空輸間及降下前後ニ於ケル敵ノ弱點ニ乗ジ其ノ輸送又ハ滑空飛行部隊ヲ求メテ攻撃シ一舉ニ之ヲ撃滅スルヲ要ス而シテ輸送又ハ滑空飛行部隊ニ對スル攻撃ニ方リテハ掩護戰鬪隊等ニ牽制セラレザルコト緊要ナリ

作綱二七
四

四、軍事施設又ハ集積資材ニ對スル攻撃

飛行場攻撃ニ準ズ

第七節 歸 還

一、歸還ニ關スル部署並ニ航路ノ選定

各部隊ノ歸還ヲ部署スル場合ニ於テハ敵就中戰鬪隊ノ配置、氣象、我が航空情報部隊及防空部隊ノ配置等ヲ考慮シ豫メ各部隊ノ攻撃實施後ニ於ケル離脱方向、集合點、歸還航路及歸還飛行場等所要ノ件ヲ示スモノトス

歸還航路ハ敵ノ妨害ヲ避ケ且ツ其ノ追尾攻撃ヲ困難ナラシムル如ク選定スルヲ要ス之ガ爲成ルベク速カニ友軍戰線内又ハ國境内ニ入り或ハ我が歸還航路ヲ欺騙シ得ル如ク選定スルヲ有到トス

航操九五

二、敵ノ追尾攻撃ニ對スル對策

敵ハ我ガ歸還ニ方リ往々追尾攻撃ヲ企圖スルコトアリ故ニ飛行部隊指揮官以下攻撃終了後ト雖モ警戒ニ罅隙ナカラシムルト共ニ若シ敵ノ追尾ヲ知得セシ場合ニ於テハ機ヲ失セズ其ノ狀況ヲ各部隊ニ通報シ或ハ歸還飛行場ヲ變更セシメ或ハ主力ヲ某空域ニ待機セシムルト共ニ所要ノ部隊ヲシテ之ヲ攻撃セシムル等收容若クハ著陸掩護ノ處置ヲ講ジ敵ヲシテ乘ゼシメザルコト緊要ナリ

敵ノ追尾攻撃ニ對シテハ先ヅ機動飛行場ニ著陸シテ敵ヲ欺騙シタル後根據飛行場ニ歸還セシメ或ハ多數ノ飛行場ニ分散著陸シテ敵ノ攻撃ヲ困難ナラシメ或ハ晝夜ノ別ニ依リ歸還飛行場ヲ變更セシムル等ノ處置ヲ講ズルト共ニ特ニ戰鬥隊及防空部隊トノ連繫ヲ緊密ナラシメ速カニ歸還ノ要領就中其ノ飛行場、航路及高度ニ關シ通報シ之ガ協力ニ遺憾ナカラシムルノ著意ヲ必要トス

三、次期出動ノ準備

歸還ノ整齊ナルハ次期戦力發揮ノ根基ナリ故ニ飛行部隊ハ豫メ定メラレタル所ニ基キ齟齬撞著ナク著陸ヲ實施シ機ヲ失セズ飛行機ヲ分散配置スルト共ニ地上勤務部隊ハ速カニ整備及補給ヲ完了シ次期出動ノ準備ヲ完整スルヲ要ス

航操九六

第四章 出動ニ伴フ飛行場ニ於ケル勤務

第一節 飛行部隊

一、要 旨

飛行部隊指揮官ハ出動ニ方リ飛行場ニ殘留スル上級先任者ニ對シ殘留スル部隊ノ指揮ヲ命ズルモノトス

殘留スル部隊ノ指揮官ハ出動部隊ニ對スル情報ノ傳達、防空、次期出動準備、内務ノ指導等ニ遺憾ナカラシムルト共ニ出動セル飛行部隊指揮官飛行場司令ナルトキハ別命ナク之ガ勤務ヲ代行スルモノトス

航操九二

二、戰隊整備隊ノ行動(戰規)

(重爆隊等ニ於ケル整備班ノ行動ハ整備隊ニ準ズルモノトス)

整備隊長ハ戰隊長ノ企圖ニ基キ各飛行中隊ニ配當セラレタル飛行機ヲ各整備小隊ニ固定的ニ配當シ之ガ整備ヲ擔任シ飛行中隊ニ協力セシメ修補小隊、器材班及庶務班ニハ戰隊兵器ノ狀態ニ應ジ適時兵器ノ整備、保管、出納、補充、補給竝ニ其ノ他整備隊ノ庶務事項ヲ處理セシムルヲ通常トス

狀況ニ依リ整備隊長ハ整備小隊、修補小隊等ノ編組及作業部署ヲ變更シ飛行部隊ノ狀況ニ適應セシムルノ著意特ニ肝要ナリ

整備隊長ハ常ニ戰隊長ノ企圖ヲ詳知シ且絶エズ狀況ヲ判斷シテ適時各小隊長及班長ニ出動準備ニ關スル憑據ヲ與ヘ整齊確實且迅速ニ出動準備ヲ完了シ得ル如ク指導スルヲ要ス此ノ際特ニ出動部署ヲ考慮シテ部下部隊ヲ部署スルト共ニ其ノ作業ヲ指導スルノ著意緊要ナリ

整備隊長ハ通常戦隊戦闘司令所ニ位置スルモノトス

1、出動準備ノ爲ノ部署

飛行部隊ノ出動ニ先ダチ整備隊長ハ戦隊長ノ命令ニ基キ各小隊長ニ出動部隊ノ編組、出動機數、出動準備完了時刻等所要ノ事項ヲ、始動機、給油等ニ協力部隊、協力順序等ヲ命ジ所要ノ準備ヲ爲サシムルモノトス此ノ際所要ノ豫備機ヲモ準備セシムルト共ニ作業間適時準備ノ狀況ヲ戦隊長ニ報告スルコト緊要ナリ

緊急姿勢ヲ命ゼラレタル場合モ亦前項ニ準ズルモノトス

2、始 動

飛行部隊出動ヲ命ゼラルルヤ整備小隊長ハ飛行中隊長ノ企圖ニ基キ整備分隊長ニ命ジ直チニ始動セシムルモノトス此ノ際始動順序ヲ顧慮シ始動機ノ使用ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

出動ニ方リ故障機ヲ生ジタル場合ニ於テハ直チニ豫備機ノ使用ニ關シ迅速ニ部署スルヲ要ス

始動機ハ隊長ノ企圖ニ基キ且整備小隊長トノ連絡ヲ緊密ニシ通常飛行部隊ノ出動順序ニ從ヒ之ニ協力シ始動終レバ速カニ滑走路ヲ開放シ所定ノ位置ニ待機スルモノトス

3、出動間ノ行動

飛行部隊ノ出動間整備隊長ハ留守指揮官トノ連絡ヲ緊密ニシ出動中ノ飛行部隊ノ狀況ヲ明カナラシムルト共ニ適時歸還時ノ燃料、彈藥等ノ補給、武裝等ニ關シ必要ナル準備ヲ命令スルヲ要ス

4、歸 還 時

飛行部隊ノ夜間歸還ヲ豫想スル場合ニ於テハ隊長ハ留守指揮官ノ命令ニ基キ機ヲ失セズ夜間著陸ノ準備ヲ整フルヲ要ス

飛行部隊ノ歸還ニ際シテハ隊長以下其ノ状態ニ注意シ飛行機視界ニ入りタル當初ヨリ異状ノ有無ヲ觀察シ要スレバ著陸ニ先ダチ之ト連絡スルノ著意肝要ナリ

5、次期出動準備

隊長ハ速カニ戦隊飛行機全般ノ現況就中次期出動可能機數、出動準備完了豫定時刻等ヲ調査シ機ヲ失セズ戦隊長ニ報告スルト共ニ戦隊長ノ企圖ヲ承知シ次期出動準備ニ關シ所要ノ事項ヲ命令スルヲ要ス此ノ際損傷機ニ對シテハ其ノ程度ニ應ジ修補小隊及器材班ヲシテ速カニ之ガ修理若クハ補給ノ處置ヲ爲サシムルヲ要ス

次期出動準備ノ爲ニハ隊長ハ戦隊長ノ企圖ニ基キ歸還後ノ整備及補給ニ關スル指揮就中給油機ノ使用並ニ整備力ノ運用ヲ適切ニシ戦隊長ノ意圖ノ如ク速カニ出動準備ヲ完了スルヲ要ス

給油機ハ隊長ノ企圖ニ基キ整備小隊長トノ連絡ヲ緊密ニシ迅速ニ燃料ヲ補給スルヲ要ス

補給實施ニ方リテハ機附長トノ連絡ヲ緊密ナラシムルコト肝要ナリ

補給實施後ハ機ヲ失セズ次期補給ノ準備ヲ整フルト共ニ速カニ補給量ヲ給材班ニ通報スルヲ要ス

第二節 地上勤務部隊

一、要 旨

飛行部隊ノ出動間地上勤務部隊ハ夫々任務ニ基キ或ハ通信、情報及航測勤務ニ任ジテ飛行部隊ニ協力シ或ハ飛行部隊歸還後ニ於ケル整備及補給準備ヲ完整シ或ハ航空基地(飛行場)ニ於ケル警備ヲ愈々嚴ナラシムル等克ク空地一體ノ實ヲ發揮スルヲ要ス

航操九四

二、對空無線部隊

對空無線部隊ハ飛行部隊ノ出動間之トノ連絡ヲ確保シ常ニ飛行部隊ノ狀況ヲ明カナラシムルト共ニ情報部隊、氣象部隊等ヨリ得タル最新ノ情報ヲ飛行部隊ニ連絡シ以テ其ノ進攻ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

三、航 測 部 隊

航測部隊ハ其ノ勤務ヲ飛行部隊ノ要求ニ即應セシムル爲常ニ對空無線部隊トノ連絡ヲ確保シアルヲ要ス特ニ氣象又ハ戦闘ノ狀況ニ依リ飛行部隊豫定ノ如ク航進ヲ實施シ得ズ或ハ分散シ或ハ出發飛行場ニ歸還セザルベカラザルヲ豫想セラル、場合ニ於テ特ニ然リ

1、位置線測定ニ任ズル小隊

位置線測定ニ任ズル小隊航測勤務ノ主眼ハ飛行部隊ノ要求ニ即應シ確實迅速ニ無線位置線ヲ測定

シ飛行部隊ノ航進ニ資スルニ在リ

之ガ爲飛行團ノ出動ニ方リテ小隊長ハ自ラ飛行團長ニ就キ所要ノ事項ヲ連絡スルト共ニ各班長ヲシテ各々協方スベキ飛行部隊トノ細部ノ連絡ヲ實施シ航進ニ方リテハ飛行團長機及基準戰隊長機ノ監視ヲ周密ナラシメ機ヲ失セズ之ガ誘導ヲ實施スルモノトス

2、位置決定ニ任ズル小隊

位置決定ニ任ズル小隊航測勤務ノ主眼ハ小隊長ノ的確ナル指揮ノ下飛行部隊ノ要求ニ即應シ確實迅速ニ飛行機ノ位置ヲ決定通報シ飛行部隊ノ航進ニ資スルニ在リ

位置決定ニ任ズル小隊長ハ特ニ位置線測定ニ任ズル小隊トノ連繫ヲ緊密ニシ常ニ所屬飛行師團内出動部隊ノ企圖及行動ヲ詳知スルニ勉ムルコト肝要ナリ

飛行部隊特ニ遠距離進攻ヲ實施シ或ハ洋上ニ於ケル敵艦船ヲ攻撃スルニ方リテハ位置決定ノ要求益々多キヲ以テ之ガ要求ニ即應シ得ル如ク準備スルコト緊要ナリ

第九篇 邀 擊

二三六

邀撃ニ關シテハ本篇ニ據ルノ外第八篇ヲ準用スルモノトス
邀撃ニハ野戰ニ於ケル邀撃ト要地防空ノ爲行フ邀撃トアリ本篇ニ於テハ主トシテ野戰ニ於ケル邀撃ニ
關シ記述ス

第一章 要 則

一、邀撃ノ要

邀撃ノ要ハ來襲スル敵機ヲ確實ニ捕捉シ或ガ準備セル地域ニ捉ヘテ之ヲ擊滅スルニ在リ
邀撃ノ爲ニハ特ニ電波兵器ヲ活用スルヲ要ス

航操九七

二、邀撃ニ任ズル部隊

邀撃ハ主トシテ戦闘隊ノ任ズル所ナリト雖モ其ノ他ノ部隊モ亦之ニ任ズルコトアリ
各部隊ハ任務ニ基キ狀況特ニ進攻企圖、進攻準備進捗ノ狀況及敵情ニ應ジ或ハ全力ヲ以テ或ハ一部
若クハ進攻ニ任ゼザル兵力等ヲ以テ邀撃スルモノトス
防空ヲ主任務トスル戦闘隊ニ在リテハ主トシテ邀撃ニ依リ其ノ任務ヲ達成スルモノトス

航操九九

三、邀撃實施一般ノ要領

- 1、戦闘準備間(作綱一二九ニ據ル)
- 2、戦闘間(作綱一六二、一六三ニ據ル)
- 3、戦闘持久セル場合(作綱一六七、一六八ニ據ル)
- 4、待伏、巡邏、潜伏

狀況ニ依リ戦闘隊小兵力ヲ以テ戦線ニ近キ敵飛行場附近ノ上空ニ待伏シ或ハ戦線附近上空ヲ巡邏シ
又ハ戦線附近飛行場ニ潜伏シテ敵航空戦力ノ消耗減殺ヲ圖ルコトアリ之ガ爲通常部隊ニ潜伏飛行
場、巡邏空域等ヲ配當シ各部隊毎ニ適宜出動セシムルモノトス
此等ノ部隊ハ極力其ノ行動ヲ秘匿シ氣象等ヲ利用シ以テ敵ヲ奇襲擊墜スルヲ要ス潜伏飛行場ニ配置
セラレタル部隊ハ敵機ノ潜入ニ際シテハ航空情報機關ノ通報又ハ目視ニ依リ機ヲ失セズ出動スルモ
ノトス

戦規

四、邀撃ト進攻

邀撃ハ動モスレバ受動ニ陥リ徒ラニ我が戦力ヲ損耗スルノ弊ニ陥リ易シ故ニ各部隊ハ任務ニ基キ全
般ノ戦況及部隊ノ状態ニ適應スル如ク戦備ノ度ヲ定メ戦闘ニ方リテハ積極主動攻撃ヲ斷行シテ飽ク
迄其ノ目的ヲ達成スルト共ニ苟モ邀撃ニ墮シ進攻氣勢ヲ銷磨スルガ如キハ嚴ニ之ヲ戒メザルベカラ
ズ

航操九八

五、飛行場勤務の確

邀撃ノ爲ニハ特ニ飛行場勤務ヲ的確ニシ飛行部隊ノ急遽出動ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス夜間ニ於テ特ニ然リ之ガ爲戰闘計畫ニ基キ要スレバ各部隊ノ離陸方向、離陸順序等ヲ規定シ置クト共ニ特ニ地上勤務部隊ハ積極的ニ飛行部隊ノ出動ヲ援助スルヲ要ス

第二章 戰闘隊邀撃戰闘ノ要領

第一節 準 備

一、戰 闘 計 畫

邀撃戰闘ノ爲ニハ任務ニ基キ戰闘計畫ヲ定メ豫メ所要ノ事項ヲ部下部隊ニ徹底シ以テ戰闘實施ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

戰闘計畫ニ於テハ特ニ豫想スル敵ノ來襲狀況ニ應ズル戰闘部署、情報、通信等ニ關シ所要ノ事項ヲ定ムルモノトス

而シテ常ニ敵情就中其ノ出動狀況ノ波動ヲ明カニシ部下部隊ノ戰備ノ度ヲ定メ情報及命令速達ノ手段ヲ講ジ關係各飛行場、航空情報部隊、高射砲隊、隣接戰闘隊等トノ連絡ヲ緊密ナラシメ適時的確ニ戰闘ヲ指導スルコト緊要ナリ

航操一〇

戰規

二、戰 闘 部 署

邀撃戰闘部署ノ要ハ確實ニ敵ヲ捕捉スルト共ニ所要ニ應ジ隨時其ノ集結戰闘威力ヲ發揮シテ敵ヲ徹底的ニ撃滅スルニ在リ之ガ爲敵情ニ應ジ適宜哨戒區域ヲ設ケ且所要ノ地域ニ直接兵力ヲ配備スルモノトス此ノ際電波警戒機ノ活用ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

邀撃戰闘部署ニ方リテハ戰隊ニ擔任地域ヲ配當シ若クハ任務ヲ與ヘ又相互赴援ヲ律シ要スレバ哨戒區域ヲ指定シ且飛行團全力若クハ主力ノ集合點、攻撃前進方向等ヲ定メ適時兵力ノ集結指向ヲ期スルモノトス此ノ際任務ニ基キ隣接兵團ニ對スル赴援協力ヲ特ニ的確ナラシムルノ著意緊要ナリ

戰規

1、邀撃ノ擔任地域ハ豫想スル敵ノ來襲方向及其ノ兵力、氣象明暗ノ度等ニ應ジ敵ヲ確實ニ捕捉シ戰闘ニ方リ我が集結威力ヲ發揮シ得ル如ク之ヲ定ムルモノトス

擔任地域ハ各部隊ヲシテ搜索、哨戒、戰闘等ヲ擔任セシムル地域ニシテ經緯度、座標又ハ著明ナル地上物體ヲ以テ示スモノトシ特ニ警戒ノ間隙ヲ生ゼザル如ク要スレバ適宜重複セシムルコト肝要ナ

2、哨戒區域ヲ指定スルニ方リテハ斥候配置ノ方向、兵力、各斥候ノ協同要領、敵機發見時ノ報告及通報、戰闘ニ際シテノ行動等ヲ規定スルヲ可トス

3、夜間戰闘ノ爲ニハ通常待機地域ヲ設クルモノトス待機地域及其ノ數ハ我が兵力特ニ電波警戒機部隊及照明部隊ノ配置等ニ依リ異ナルモ通常一乃至數箇所ニ設クルモノトス待機地域ニハ一中隊

ヲ基準トシ中隊ハ重層配置ヲ以テ待機セシムルモノトス
4、各隊相互ノ協同ヲ律スル爲ニハ比隣部隊ニ對スル各部隊ノ支援又ハ隣接部隊ノ攻撃中ノ敵ノ退路遮斷或ハ追撃等ニ關シ所要ノ事項ヲ定ムルモノトス

三、戰備ノ度

戰鬪戰隊ハ飛行團長ノ企圖ニ基キ戰況特ニ敵航空部隊ノ活動狀況、敵ノ戰法等ヲ考慮シ各隊ノ取ルベキ態勢ヲ定ムルモノトス

狀況ノ緩急ニ應ジ取ルベキ態勢ノ種類竝ニ其ノ戰備ノ度ノ基準左ノ如シ

警急姿勢甲

空中勤務者ハ飛行機ニ搭乘シ機附ハ機側ニ位置シ飛行機ハ始動シアリテ即時出發セシメ得ルノ狀態ニ在ラシム

警急姿勢乙

空中勤務者ハ飛行機ニ搭乘シ機附ハ機側ニ位置シ飛行機ハ即時始動出發セシメ得ルノ狀態ニ在ラシム

待機姿勢

空中勤務者及機附ハ所定ノ場所ニ待機シ飛行機ハ即時始動出發セシメ得ルノ狀態ニ在ラシム

豫備姿勢

人員ハ點檢及飛行準備ノ爲ノ作業ニ從事シ完了後ハ所定ノ場所ニ於テ休憩シ飛行機ハ掩體、繫留位置等ニ控置ス

戰規

四、情報ノ收集

邀撃ノ爲ニハ特ニ戰鬪準備ヲ周到ニシ敵ノ奇襲ヲ豫防スルト共ニ勉メテ遠距離ニ敵ヲ發見シテ絶エズ其ノ航進狀況ヲ明カニシ我が豫期ヲ以テ敵ノ不期ニ乗ズル如ク戰鬪ヲ指導スルヲ要ス之ガ爲情報及氣象機關、地上防空部隊等トノ連絡ヲ緊密ニシ機ヲ失セズ情報ヲ入手スルノ手段ヲ講ズルト共ニ特ニ統計的ニ敵ノ行動ヲ觀察シテ速カニ其ノ企圖及慣用戰法ヲ看破スルコト緊要ナリ

航操一〇

情報機關トノ協同ニ方リテハ特ニ電波警戒部隊ト密ニ連繫シ其ノ活用ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

五、地上防空部隊トノ協同

邀撃ノ爲ニハ特ニ地上防空部隊トノ連繫ヲ緊密ニシ或ハ戰鬪空域ヲ區分シ或ハ同一空域ニ於テ同時ニ又ハ時機ヲ區分シテ戰鬪セシムル等相互ノ協同ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス
地上防空部隊トノ協同ニ方リテハ豫メ該指揮官ト左記事項中所要ノ件ヲ協定シ邀撃戰鬪ニ遺憾ナカラシムルモノトス

航操一〇
六

戰鬪空域ノ決定

待機空域及高度
 照射要領
 空地連絡
 情報ノ交換及利用
 友軍機ノ識別
 爆煙ニ依ル友軍戦闘機ノ誘導
 危害豫防等

第二節 邀撃戦闘

敵機ノ來襲ヲ察知セバ飛行部隊指揮官ハ速カニ其ノ狀況ヲ部下部隊ニ通報スルト共ニ豫メ定ムル所ニ基キ機ヲ失セズ出動ヲ下令シ各部隊ヲシテ直チニ戦闘部署ニ就カシムルモノトス此ノ際各部隊ハ飛行機警報又ハ空襲警報ニ依リ機ヲ失セズ獨斷出動シ戦闘部署ニ就クノ著意緊要ナリ
 邀撃戦闘ニ方リテハ特ニ其ノ戦闘指揮ヲ適切ニシ勉メテ我ガ戦力ヲ集結發揮シ爲シ得ル限り敵機ノ企圖達成ニ先ダチ之ヲ擊墜スルヲ要ス
 敵ノ戰爆連合部隊ニ對シテハ手段ヲ盡クシテ其ノ爆撃隊ノ擊滅ニ勉ムルヲ要ス
 敵機ノ退避ニ方リテハ邀撃ニ任ズル部隊ハ任務ニ支障ナキ限り之ヲ窮追シ手段ヲ盡クシテ擊滅スル

航操一〇
三

航操一〇
四

ヲ要ス

航操一〇
五

第三章 電波兵器ヲ使用スル邀撃ノ要領

一、要 旨

電波兵器ヲ使用スル場合ハ敵ノ來襲企圖ヲ速カニ看破シ得ルト共ニ之ガ航跡ヲ正確ニ捕捉シ以テ飛行部隊ヲ敵ニ對シテ適時的確ニ誘導シ得ルモノトス
 電波兵器ヲ使用スル邀撃戦闘ニ於テハ正確迅速ナル情報ノ接受、命令ノ傳達及誘導ニ遺憾ナカラシムル如ク特ニ通信網ヲ完整スルコト緊要ナリ

二、電波警戒機又ハ電波誘導機部隊

正確迅速ナル情報ノ接受利用ト適時的確ナル飛行部隊ノ誘導トハ邀撃戦闘成立ノ基礎ナリ故ニ電波警戒機又ハ誘導機部隊ハ周到ナル準備ト適切ナル勤務ニ依リ邀撃部隊ノ要求ヲ充足スニ勉ムルヲ要ス

三、戦闘指揮ノ要領

邀撃戦闘ヲ主宰スベキ指揮官ハ通常地上ニ於テ指揮スルモノトス
 指揮官ハ情況判斷ヲ適切ニシ電波警戒部隊其ノ他ヨリ得タル情報ノ取捨選擇機宜ヲ制シ機ヲ失セズ邀撃部隊ヲ出動セシメ爾後主トシテ誘導機ヲ以テ適切ニ敵ニ對シ誘導シ以テ確實ニ敵ヲ捕捉スルニ

勉ムルヲ要ス

此ノ際敵ノ行動特ニ航路及速度ヲ正確ニ判定スルハ戦闘指揮ヲ良好ナラシムル要素ナリ故ニ指揮官ハ電波警戒機ノ得タル情報ヲ基礎トシ電波兵器ノ特性就中觀測誤差ヲ考慮シ克ク情況ヲ明察シテ正確ナル諸元ヲ獲得スヲコト緊要ナリ

四、邀撃部隊ノ發進及誘導

邀撃部隊ヲ發進セシムベキ時機ハ全般ノ狀況ヲ判斷シ確實ニ敵ヲ捕捉シ得ルト共ニ勉メテ遠距離ニ敵ヲ捕捉スル如ク決定スルコト緊要ナリ
邀撃部隊發進後ニ於テハ常ニ彼我ノ航跡ヲ明カニシ其ノ關係位置ノ變化ニ應ジ電波誘導ニ任ズル部隊ヲ以テ適時前進方向及距離ノ修正ヲ命ジ以テ誘導ヲ的確ナラシムルヲ要ス

第四章 爆(襲)撃隊ノ邀撃

一、要 旨

爆撃隊ハ一般ノ狀況ヲ考慮シ其ノ有スル戦闘隊ヲシテ來襲スル敵機ヲ邀撃シ之ヲ捕捉撃滅スルト共ニ特殊ノ裝備ヲ有スル爆撃機ヲ以テ適時邀撃ヲ行フ夜間戦闘ノ爲特ニ然リトス敵機ノ來襲ニ方リテハ爲シ得レバ主力ヲ以テ機ヲ失セズ追尾攻撃ヲ實施シ或ハ他ノ飛行場ニ機動シ得ル如ク各部隊ノ戰備ノ度要スレバ緊急姿勢ニ在ラシムベキ戦闘隊ノ兵力、情報收集特ニ航空情報部隊トノ連絡法、邀

撃實施ノ要領等ヲ決定スルモノトス

襲撃隊ニ在リテハ通常來襲セル敵爆撃機等ニ對シ邀撃ヲ實施スルモノトシ前項ニ準ジ戰備ヲ整フルモノトス

二、戰 備 ノ 度

戦隊長ハ飛行團長ノ企圖ニ基キ戰況特ニ敵航空部隊ノ活動狀況、敵ノ戰法等ヲ考慮シ部下部隊ノ採ルベキ態勢ヲ定メ戰備ノ度ヲ律スルモノトス
狀況ノ緩急ニ應ジ採ルベキ態勢ノ種類、其ノ戰備ノ度ノ基準左ノ如シ

警 急 姿 勢

空中勤務者ハ飛行機ニ搭乘シ機附ハ機側ニ位置シ飛行機ハ要スレバ始動シ即時始動出發セシメ得ルノ状態ニ在ラシム

待 機 姿 勢

空中勤務者及機附ハ所定ノ場所ニ待機シ飛行機ハ即時始動出發セシメ得ルノ状態ニ在ラシム
豫 備 姿 勢
人員ハ點檢及飛行準備ノ爲ノ作業ニ從事シ完了後ハ所定ノ場所ニ於テ休憩シ飛行機ハ掩體、

繫留位置ニ控置ス

三、襲撃隊ノ邀撃戰圖

襲撃隊ハ邀撃ニ方リ機ヲ失セズ敵爆撃機ヲ捕捉スルト共ニ戦隊ノ戦闘威カヲ集中發揮シテ敵ニ徹底的打撃ヲ加ヘ一舉ニ敵ノ進攻戰意ヲ破摧スルヲ要ス

第十篇 航空基地及基地内ニ於ケル諸勤務

第一章 航空基地

第一節 通則

一、要旨

航空基地ハ數箇ノ飛行場ト之ヲ結合スル交通及通信施設、防空及飛行部隊ノ活動ニ必要ナル各種機關、施設及資材ヨリ成リ此等ノ有機的結合ニ依リ飛行部隊ノ運用及戰力發揮ニ遺憾ナカラシムルト共ニ特ニ防空及掩護施設ノ完備ニ依リ敵ノ空地ヨリスル攻撃ヲ破摧シ我が損害ヲ防止スベキモノトス

作綱三三
六

航空基地内ニ於テハ爲シ得ル限リ諸施設ヲ分散遮蔽シ縦ヒ一部ノ飛行場又ハ滑走路ヲ破壊セラルル等ノ事アルモ他ノ飛行場ニ地上移動シ又ハ他ノ滑走路、副滑走路等ヲ使用シテ活動ヲ繼續シ得ル如ク組織スルヲ要ス

二、航空基地ノ設定

航空基地ノ諸施設ハ其ノ要度及緩急順序ヲ考慮シ作戰ノ要求ニ即應スル如ク先ヅ主要飛行場ヲ設定

整備シ逐次飛行部隊ノ活動ニ必要ナル其ノ他ノ飛行場及諸施設ヲ完整シ以テ飛行部隊ノ戦力發揮ヲ容易ナラシムルモノトス而シテ航空基地ノ設定ハ多大ノ作業力ト長時日トヲ要スルヲ以テ機ニ先ダチ之ガ完整ニ勉ムルト共ニ状況緊迫スルニ伴ヒ之ヲ補備増強シ且戦闘間ニ於テモ常ニ之ガ維持増強ヲ圖ラザルベカラズ

作網三三
七

三、敵ノ攻撃ニ對スル對策

航空基地ハ戦闘間常ニ空地ヨリ敵ノ各種攻撃ヲ受クルヲ通常トス故ニ設定ノ當初ヨリ飛行場及施設ヲ分散配置スルト共ニ遮蔽、偽裝、掩體ノ構築等掩護施設ヲ完備シ損害ノ減少ニ勉ムルヲ要ス而シテ敵ノ來襲ニ際シテハ航空部隊ハ手段ヲ盡クシテ之ガ掩護ノ爲對應ノ處置ヲ講ジ飛行部隊ノ活動ニ支障ナカラシムルコト緊要ナリ

作網三三
八

之レ航空部隊ノ戦力ヲ施設ノ不備ニ依リ地上ニ於テ損耗スルハ最モ不利ニシテ絶對ニ避クルヲ必要トスルニ依ルモノトス

四、基地設定資材

航空基地設定資材就中飛行場舗裝材料ノ所要量ハ莫大ニシテ而モ迅速ナル補給ハ容易ナラズ故ニ航空高級指揮官ハ作戰ノ推移ヲ洞察シ豫メ資材ノ集積及整備ニ勉ムルト共ニ敵ノ破壊ニ對スル復舊ノ

爲航空基地内ニ所要ノ作業力及補修資材就中舗裝修理材料ヲ準備シ補修ヲ迅速ナラシムルヲ要ス雨期及凍結期ニ於テ特ニ然リ航空施設ニ要スル資材ハ勉メテ現地ニ於テ調達スル手段ヲ講ズルコト緊要ナリ

作網三三
九

第二節 飛行場及之ガ設定整備

第一款 要 則

一、飛行場ノ素質

飛行場ハ航空基地施設ノ根幹ニシテ飛行地區及附屬設備ヨリ成リ其ノ數、配置、防空及警備施設ノ良否ハ飛行部隊ノ運用及戦力發揮就中迅速ナル機動竝ニ強靱ナル作戰ノ遂行ニ至大ノ影響ヲ及スモノトス

作網三四
〇

二、飛行場ノ種類

航空基地内各飛行場ハ飛行部隊ノ展開ニ方リ其ノ目的ニ依リ根據飛行場又ハ機動飛行場トシテ使用セラルルヲ通常トシ狀況ニ依リ別ニ偽飛行場ヲ設置セラルルコトアリ

1、根據飛行場

根據飛行場ハ飛行部隊戰闘行動ノ根據タルベキ飛行場ニシテ飛行部隊ハ其ノ整備部隊ノ主力ヲ之

ニ配置スルヲ通常トス

2、機動飛行場

機動飛行場ハ飛行部隊戦闘行動 爲主トシテ機動、連絡、分散、秘匿等ニ使用スル飛行場ニシテ 狀況ニ依リ他部隊ノ根據飛行場ヲ之ニ充當シ又ハ他部隊ト共同使用セシメラルルコトアリ 敵ノ意表ニ出デング爲特ニ其ノ存在ヲ秘匿セル飛行場ヲ秘密飛行場ト謂ヒ機動飛行場トシテ使用 スルヲ通常トス

3、偽飛行場

偽飛行場ハ敵ヲ欺騙シ其ノ攻撃ヲ困難ナラシムル爲假設セル飛行場ヲ謂フ

三、飛行場記録

飛行場ハ飛行場記録ニ依リ常ニ其ノ状態ヲ明カナラシムルモノス之ガ爲平時ヨリ設定セラレアル飛行場ニ關スル記録ハ豫メ上級指揮官ヨリ航空部隊指揮官ニ通報セラレ新設若クハ補修セラレタル飛行場ニ關スル記録ハ航空高級指揮官關係部隊ヲシテ速カニ之ヲ調整セシメ上級指揮官ニ報告スルト 共ニ所要ノ部隊ニ通報スルモノトス

飛行場記録ニ記載スベキ事項概ネ左ノ如シ

飛行場ノ番號符號時トシテ地名

飛行地區ノ幅員及土質

附屬設備ニ關スル事項

指揮及連絡施設

格納庫、倉庫及工場ノ状態

休宿及給水設備ノ状態

飛行場附近ノ地形特ニ著明ナル地物

地形地物ノ關係位置

擴張ノ能否

障碍物ノ状態

天文、氣象ノ交感及季節ノ影響

防空施設ニ關スル事項

交通、通信及保安施設ニ關スル事項

飛行場ノ秘匿及偽裝ニ關スル事項

資材ノ集積及補給ニ關スル事項

休宿、給養及衛生ニ關スル事項

利用シ得ベキ工場、勤力及衛生施設、物資、勞力等

四、飛行場ノ設定及整備

飛行場ノ設定及整備ハ主トシテ飛行場設定部隊ノ任ズル所ナリト雖モ其ノ他ノ部隊モ亦之ニ任ズルコトアリ

飛行場ノ設定及整備エ方リテハ戰機ニ投ジ速カニ之ヲ完整スルト共ニ爾後其ノ機能ノ維持増強ヲ圖リ以テ飛行部隊ノ戰力發揮ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

地上部隊ニ於テ飛行場ノ設定及整備ヲ實施スル場合ニ於テハ航空部隊ハ爲シ得ル限り之ヲ援助スルヲ要ス

航操一二五

1、野戰飛行場設定司令官ハ通常航空軍司令官ニ隸シ野戰飛行場設定隊及臨機配屬セラレタル自動車部隊、建築隊、勤務隊等ヲ指揮シ主トシテ野戰飛行場ノ設定ニ任ジ狀況ニ依リ之ガ整備補修ニ任ズルモノトス

設規

時トシテ航空地區部隊等ノ實施スル飛行場整備ノ技術的指導ニ任ズルコトアリ

2、野戰飛行場設定隊ハ通常本部、中隊、整備隊ヨリ成リ一地ニ展開シ野戰飛行場ノ設定又ハ整備補修等ニ任ズルモノトス

3、飛行場大隊長ハ展開飛行場ニ於ケル整備ヲ擔任シ常ニ飛行場ノ保持増進ヲ圖リ以テ飛行部隊ノ戰力發揮ニ遺憾ナカラシムルモノトス之ガ爲通常警備主任ニ所要ノ人員、器材等ヲ配當シテ之ガ補修、保存ニ任ゼシムルノ外各隊ヲシテ各々任務ニ應ジ直接必要ナル施設ヲ擔任セシムルモノトス

第二款 設定及整備ノ要領

一、要 旨

飛行場設定ノ要訣ハ作戰上ノ要求ニ基キ有ユル地形、地質、天文、氣象等ヲ克服利用シ且熾烈ナル敵砲爆撃下ニ於テモ必要ナル飛行場ヲ迅速ニ完整スルニ在リ

戰闘間適時飛行場ヲ新設シ又ハ敵ノ飛行場ヲ占領シテ之ヲ利用センガ爲ニハ作戰地全般ニ互リ飛行場適地ノ空中偵察ヲ實施スルコト特ニ緊要ナリ而シテ設定ニ際シテハ特ニ作業力及資材ノ蒐集、機械力ノ利用等飛行場急速設定ニ關スル周到ナル準備ヲ必要トス

設規

二、偵 察

戰闘間各部隊ハ戰闘ノ推移ヲ豫察シ地圖、寫眞、情報等ニ基キ進ンデ空地ヨリ飛行場適地ヲ偵察シ上級指揮官ノ航空基地(飛行場)設定計畫ノ策定ニ資スルヲ要ス狀況ニ依リ各部隊ハ高級指揮官ノ命令ニ基キ空中挺進部隊又ハ第一線地上部隊ニ膚接シテ飛行場候補地ヲ占領シ之ガ設定ニ著手スルヲ要スルコトアリ

飛行場候補地ノ偵察ニ方リテハ航空基地ノ構成ヲ考慮シ附近ノ地形、交通、氣象、休宿施設、設定資材及作業力ノ蒐集等諸般ノ事項ニ互リ綿密ニ實施スルコト緊要ナリ

航操一四六

三、設定、整備

戰闘間飛行場ヲ新設シ又ハ敵ノ飛行場ヲ占領シテ之ヲ利用センガ爲ニハ敵情、航空基地ノ構成、飛行場使用ノ目的及時期、地形、氣象等ヲ考慮シテ速カニ先ヅ飛行地區ヲ整備シ次デ防空及警備施設附屬設備等ヲ施設シ爾後餘裕ヲ得ルニ從ヒ逐次此等ヲ擴張又ハ增強スルモノトス狀況ニ依リ先ヅ防空及警備施設、附屬設備等ヲ整備シタル後飛行地區ニ及スコトアリ
占領セル敵飛行場ノ使用ニ方リテハ特ニ地雷、陷穽等ノ有無ヲ踏査スルト共ニ速カニ各種障礙物、散亂セル爆彈ノ破片等ヲ除去スルコト緊要ナリ

航操一三

作網三四
六

1、飛行地區就中滑走路ハ空中ヨリスル敵ノ各種攻撃ニ對シ同時ニ制壓セラルルヲ避ケ且我が戰闘行動ヲ容易ナラシムル如ク其ノ數、方向及配置ヲ定ムルコト緊要ナリ

2、附屬設備ハ主トシテ空中ヨリ敵ノ各種攻撃ニ對シ人員、兵器、燃料、彈藥等ノ損害特ニ飛行機、燃料等ノ炎上及爆風ニ依ル毀壞ヲ局限シ得ル如ク極力分散配置スルト共ニ爲シ得ル限り掩體ヲ構築シ或ハ地下ニ掩蔽シ且對瓦斯施設ヲ完整シ置クコト緊要ナリ

航操一三

航操一三
九

3、掩體ノ構築ニ方リテハ地形地物ヲ利用シテ不規ニ分散シ掩護ヲ良好ナラシムルト共ニ偽裝、遮蔽等ニ注意シ敵ノ攻撃ヲ困難ナラシムルヲ要ス

航操一四
〇

4、飛行場補修ノ爲ニハ豫メ飛行場記録、兵要地誌等ニ依リ飛行場ニ關スル調査研究ヲ周到ナラシムルト共ニ常ニ補修用材料トシテ土囊、煉瓦屑、礫石、木材等ヲ準備シ置クコト緊要ナリ

5、飛行場内ニ於テハ有線通信施設ヲ完備シ分散セル部隊ノ指揮ヲ容易ナラシムルノ著意緊要ナリ

四、秘密及偽飛行場ノ設定

1、秘密飛行場

秘密飛行場ヲ新設スル場合若クハ其ノ豫定地ニ對シ設備ヲ實施スル場合ニ於テハ特ニ事前ニ我が企圖ヲ暴露セシメザルヲ要ス之ガ爲位置ノ選定並ニ作業ノ時期及方法ヲ適切ナラシムルト共ニ遮蔽及偽裝ニ注意シ且防諜ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

作網三四
八

2、偽飛行場

偽飛行場ノ設定ニ方リテハ之ニ要スル作業力、眞飛行場ノ配置、氣象、地形等ヲ考慮シ位置ノ選定及施設ノ程度ヲ適切ナラシムルコト緊要ナリ

作網三四
九

五、各種障礙ニ對スル對策

飛行場ハ降雨、降雪、凍結、砂塵等ニ依リ飛行部隊ノ戰闘行動ニ重大ナル影響ヲ呈スルニ至ルコト少カラズ而シテ排水、地固、除雪等ノ爲ニハ多大ノ作業力ヲ要スルヲ以テ飛行場ノ設定ニ方リテハ當初ヨリ之ガ對策ヲ講ジ置クコト緊要ナリ之ガ爲航空高級指揮官ハ上級指揮官ノ指示ニ基キ飛行場使用ノ目的、位用スベキ飛行部隊ノ種類及兵力、使用期間、豫想スル作戰ノ推移等ヲ考慮シ重要ナル飛行場ニ對シテハ勉メテ鋪裝工事ヲ實施セシムルモノトス

作網三五
〇

六、飛行場記録ノ提出

飛行場ヲ新設又ハ占領シタル場合ニ於テハ各部隊ハ速カニ飛行場記録ヲ高級指揮官ニ提出スルト共

ニ關係飛行部隊ニ通報スルモノトス既設飛行場ノ状態ニ變化アリタル合場ニ於テモ亦前項ニ準ズル
モトス

第三節 其ノ他ノ施設

一、交通施設

航空基地内ニ於ケル交通施設ノ良否ハ其ノ價值ヲ左右シ航空部隊ノ活動ニ影響ヲ及スコト大ナリ故
ニ航空高級指揮官ハ航空基地内各飛行場間ノ道路ヲ整備スルノ外水路成シ得レバ鐵道引込線、手押
輕便鐵道、埠頭等交通施設ノ完備ニ勉メ以テ關係機關相互ノ交通並ニ資材ノ輸送及集積ニ遺憾ナカ
ラシムルヲ要ス

作綱三五

此ノ際勉メテ所在ノ動力、地方物資等ヲ利用スルノ著意ヲ必要トス

二、指揮及連絡ニ關スル施設

航空高級指揮官ノ位置スベキ主要飛行場ニハ豫メ指揮及連絡ニ關スル基礎的施設ヲ完整シ之ガ利用
ニ便ナラシムルト共ニ重要通信器材ノ爲ニハ掩護施設ヲ施シ且通信所ノ豫備位置ヲ準備シ敵ノ攻撃
ニ依ル指揮ノ混亂、中絶等ヲ防止スルコト緊要ナリ

作綱三五

三、保安施設

航空基地内主要飛行場ニハ保安施設ヲ完備スルコト緊要ナリ保安施設ノ實施ニ方リテハ航測、無線

作綱三五

標識、照明等ニ關スル永久施設ノ外臨機簡易ナル方法ニ依ル航路標識、着陸設備等ヲ設置シ飛行部
隊ノ行動ヲ容易ナラシムルコト緊要ナリ

保安施設ハ飛行場設定ト同時ニ完整シ且機ヲ失セズ誤差測定ヲ實施シテ施設ニ對スル信頼性ヲ増大
スルコト緊要ナリ

作綱三五

四、兵器及資材ノ修理、集積、貯藏等ノ施設

兵器及資材ノ修理、集積、貯藏等ノ施設ハ敵ノ攻撃目標トナリ易ク之ガ完備ノ爲ニハ多大ノ作業力
ト長時日トヲ要スルヲ通常トス故ニ此等施設ノ新設ニ方リテハ敵ノ攻撃ニ對シ損害ヲ局限シ得ル如
ク附近ノ地形地物ヲ利用シ爲シ得ル限り分散配置シ且所要ノ掩體ヲ構築スル等掩護ニ遺憾ナカラシ
ムルヲ要ス而シテ豫想作戰地ニ於ケル此等施設ハ平時ヨリ其ノ完備ニ勉メ作戰間常ニ之ヲ補備増強
スルト共ニ地上作戰ノ進展ニ伴ヒ機ヲ失セズ敵施設ヲ占領シ之ヲ利用スルノ著意ヲ必要トス

作綱三五

航空基地内ニ集積スベキ燃料、彈藥等可燃性資材ハ敵ノ空中攻撃又ハ謀略ニ依ル損害ヲ防遏スル如
ク飛行場周邊ノ地形、交通網、附屬設備、飛行機繫留位置等ヲ考慮シ通常飛行場外ニ分散配置シ且
飛行機繫留位置ト勉メテ離隔セシムルモノトス之ガ爲地形地物ヲ利用シ要スレバ遮蔽施設ヲ行ヒ且

燃料ト彈藥トハ區分シテ集積シ勉メテ掩體ヲ構築シテ掩蔽シ且一掩體內ニ於ケル收容量ハ勉メテ之ヲ僅少ナラシムルコト緊要ナリ此ノ際土窟、土壘、不燃性建物等ヲ利用シ且燃料流出ニ依ル延焼防止ニ著意スルヲ要ス

作編三五

五、休 宿 施 設

休宿施設ハ航空基地内適宜ノ地點ニ分散遮蔽シテ設クルモノトシ警備、飛行場ニ於ケル諸勤務等ニ任ズル人員休宿ノ爲ニハ飛行地區ヨリ適宜離隔シ且勤務ニ便ナル如ク之ヲ施設シ又傷病患者收療ノ爲ニハ飛行場内及飛行場ヨリ離隔セル地點ニ所要ノ衛生施設ヲ設クルモノトス而シテ人員掩護ノ爲此等施設特ニ飛行場ニ近接セル施設附近ニハ勉メテ多數ノ掩體、掩壕等ヲ設クルコト緊要ナリ

作編三五
七

第二章 飛行場勤務

一、飛行場勤務ノ目的

飛行場勤務ノ目的ハ飛行場ノ使用ニ規律アラシメ其ノ機能ヲ遺憾ナク發揮セシムルニ在リ故ニ飛行場勤務ニ任ズル機關ハ特ニ勤務ヲ嚴正ナラシムルト共ニ各部隊ハ克ク其ノ統制ニ服シ之ガ目的達成遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操一二
四

二、勤務員及其ノ位置

飛行場勤務ノ爲各飛行場ニ飛行場司令、飛行場日直將校及所要ノ飛行場勤務班ヲ置ク

飛行場司令ハ飛行場日直將校ヲ兼ヌルコトヲ得

航操一二
五

飛行場勤務ニ任ズル機關ハ飛行場内ノ明瞭ナル地點ニ位置シ且之ヲ標示シテ各部隊ノ連絡ヲ容易ナラシムルモノトス

航操一三
三

三、飛行場司令及其ノ任務

高級指揮官ヨリ特ニ命セラレザル場合ニ於テハ當該飛行場ヲ根據トスル高級先任ノ飛行部隊指揮官飛行部隊ノ在ラザル飛行場ニ於テハ高級先任ノ航空地區部隊指揮官ハ飛行場司令トス
飛行場司令ハ飛行場ノ使用就中飛行場内一般ノ配置、飛行實施等ニ關スル事項ヲ統制ス之ガ爲高級指揮官ノ定ムル所ニ基キ飛行場規定ヲ増補スルト共ニ飛行場及其ノ附近ニ位置スル情報、通信及航測部隊等ノ通信施設ノ配置、線路ノ構成竝ニ此等部隊ノ通信勤務ニ關シ所要ノ事項ヲ統制スルモノトス此ノ際特ニ各部隊ノ任務及特性ヲ考慮スルコト緊要ナリ
航空路上ノ飛行場ニ於テハ通常飛行場司令官飛行場司令ノ勤務ヲ併セ行フモノトス
飛行場司令官ハ飛行場司令ノ勤務以外ニ休宿、給養、衛生等ノ勤務ヲ併セ行フモノトス
飛行場司令ノ飛行場規定ニ關シ増補スベキ事項概ネ左ノ如シ
飛行場内一般ノ配置ニ關スル事項
飛行部隊ノ配置及諸施設ノ配當
飛行場内地區ノ區分、標識及照明

航操一二
六

航操一二
七

飛行地區内ノ交通統制

飛行實施ニ關スル事項

飛行場及其ノ附近ニ於ケル飛行要領

彼我識別ノ爲ノ飛行要領

空地連絡ニ關スル事項

警報ノ傳達ニ關スル事項

保安施設ノ利用ニ關スル事項

飛行場ノ保護ニ關スル事項等

飛行場司令ハ克ク飛行場規定ヲ各部隊ニ徹底セシメ嚴ニ之ガ履行ヲ監督スルモノトス而シテ飛行場使用ノ經驗ニ鑑ミ要スレバ機ヲ失セズ飛行場規定ニ所要ノ補綴修正ヲ加フルコト緊要ナリ又飛行場司令ハ常ニ飛行場ノ整備擔任部隊ト連絡シ之ガ整備ノ完璧ヲ期スルヲ要ス

飛行場司令ハ飛行場勤務實施ノ爲勤務員及器材ノ差出、服務期間、服務要領等ヲ定ムルモノトス

四、飛行場日直將校及其ノ任務

飛行場日直將校ハ通常當該飛行場ヲ使用スル飛行部隊ヨリ差出スルモノトス

飛行場日直將校ハ飛行場司令ノ命ヲ受ケ飛行場勤務班ヲ指揮シ飛行場司令ノ業務ヲ輔佐スルモノトス

ス

航操一二八

航操一二九

航操一三〇

航操一三一

五、飛行場勤務班ノ任務

飛行場勤務班ノ人員及器材ハ當該飛行場ヲ使用スル飛行部隊若クハ地上勤務部隊ヨリ差出スモノトス

飛行場勤務班ハ飛行場日直將校ノ指揮ヲ受ケ夫々飛行實施ニ關スル規整、飛行場ノ標識及照明、空地連絡、臨機飛來スル飛行部隊(機)ニ對スル協力等ニ任ズルモノトス

航操一三二

六、新ニ到著シ又ハ臨機飛來セル飛行部隊(機)

新ニ到著シ又ハ臨機飛來セル飛行部隊(機)ハ機ヲ失セズ飛行場司令ニ届告シ飛行場ノ使用、部隊(機)ノ配置、飛行實施等ニ關シ其ノ指示ヲ受クルモノトス

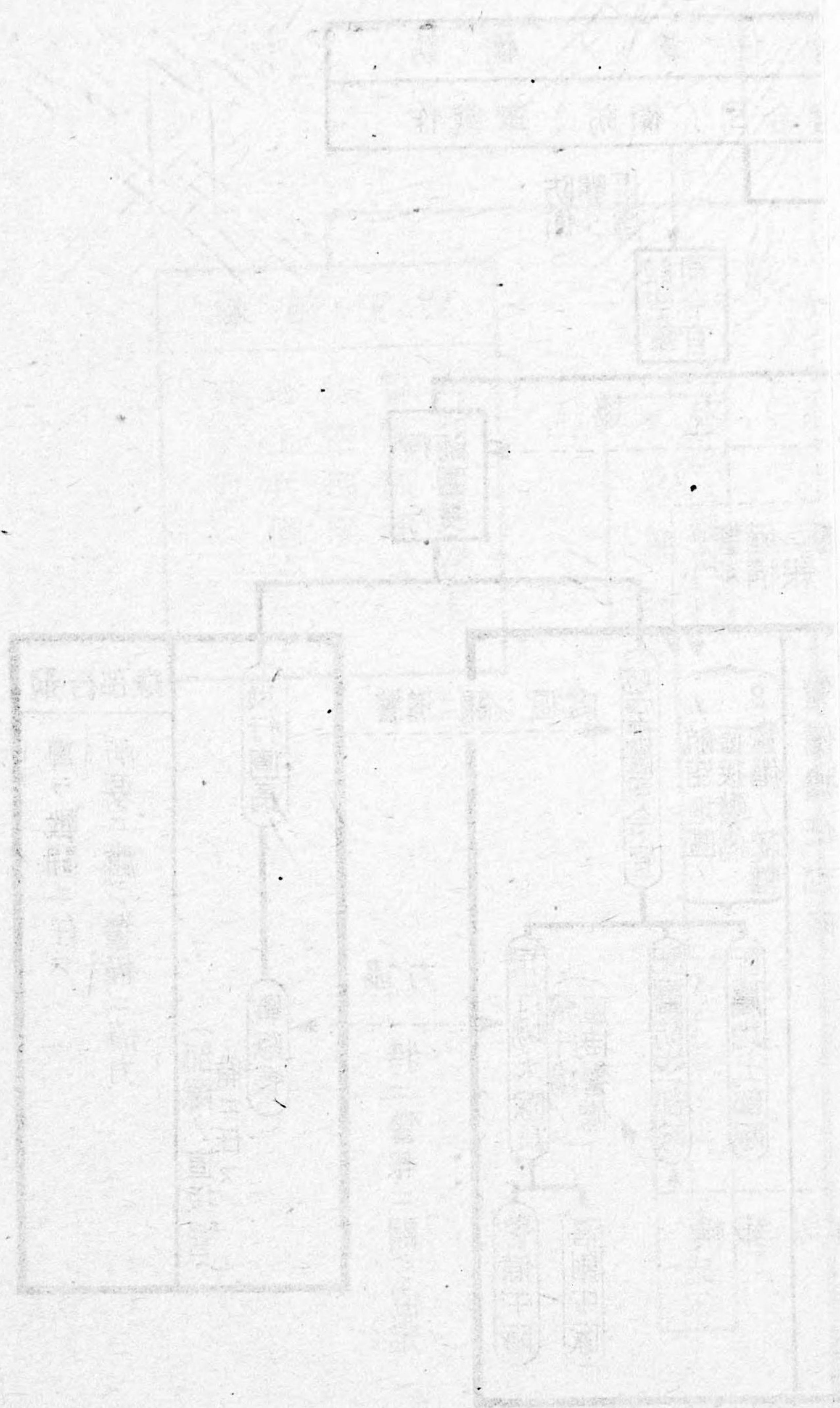
航操一三〇

第三章 航空基地ノ警備

第一節 要 則

一、航空基地(飛行場)警備ノ主眼

航空基地(飛行場)警備ノ主眼ハ空地ヨリスル敵ノ攻撃ニ對シ航空基地内ニ於ケル飛行場、重要施設等ヲ掩蔽シ航空基地ノ機能ヲ確保スルニ在リ之ガ爲警備部隊指揮官ハ敵情、住民ノ動靜、航空基地(飛行場)ノ位置、友軍地上部隊トノ關係等ヲ考慮シ警備部署ヲ適切ナラシムルト共ニ搜索、敵情監



航空基地(飛行場)ノ警備ハ主トシテ航空地區部隊ノ任ズル所ナリト雖モ戰鬪ニ方リテハ其ノ他ノ部隊モ亦之ニ協力スルモノトス

航操一
六

各部隊ハ所要ニ應ジ自ラ直接警備ノ處置ヲ講ズルモノトス
飛行場大隊長ハ警備中隊及警備ノ爲配屬セラレタル部隊ヲシテ飛行場警備ニ任ゼシムルノ外各部隊ヲシテ本務遂行ノ間常ニ警備ヲ嚴ナラシメ要スレバ警備中隊ニ協同セシム
飛行部隊ノ飛行機ノ直接警備ハ當該部隊ノ地上勤務者在ル場合ニ於テハ飛行部隊自ラ實施シ又休宿地ノ直接警備ハ通常休宿部隊自ラ實施ス之ガ爲飛行部隊ト飛行場大隊ハ密接ニ連繫スルヲ要スルモノトス

三、警備ノ爲著意スベキ事項

1、航空基地(飛行場)ノ警備ニ方リテハ爲シ得ル限り各種掩體ヲ構築シ防火、偽裝、遮蔽等ノ施設ヲ施スト共ニ常ニ戰備ヲ整ヘ四圍ノ情勢ヲ明カニシ且住民ニ對スル宣撫、懷柔、威嚇等ノ行使ヲ適切ニシ以テ警備ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操一
六

2、航空基地(飛行場)附近ニハ敵諜者ノ潛入スルコト多シ故ニ警備部隊指揮官ハ要スレバ保安地區ヲ設ケ憲兵、地上部隊等ト緊密ニ連繫シ或ハ當該保安地區内ニ於ケル住民ニ退去ヲ命ジ或ハ居住證明ヲ與ヘテ諜者トノ區別ヲ明カニシ或ハ保安地區周邊ノ道路ヲ閉塞シ又ハ交通ヲ制限スル等防諜ニ遺憾ナカラシムルコト緊要ナリ

航操一
一

3、警備ニ方リテハ動モスレバ警戒ニ狎レ志氣ノ弛緩ヲ來シ易シ故ニ指揮官ハ常ニ部下ノ掌握ヲ確實ニシ其ノ志氣ヲ振作スルト共ニ機會ヲ設ケテ警備ニ關スル訓練ヲ實施シ之ガ完璧ヲ期スルヲ要ス

航操一一八

四、警備規定

航空基地（飛行場）警備ノ爲航空地區司令官ハ上級指揮官ノ命令ニ基キ部隊ノ展開ニ伴ヒ速カニ警備ニ關スル規定ヲ定メ豫メ之ヲ部下部隊ニ徹底スルト共ニ關係部隊ニ通報シ警備ノ完璧ヲ期スルヲ要ス

警備規定ハ狀況ニ應ジ左記事項中所要ノ件ヲ定ムルモノトス

警備ノ擔任區分及其ノ指揮關係

對空、地上及對瓦斯警備ノ要領

戰備ノ度

警報ニ應ズル處置

彼我飛行機ノ識別法

防諜、防火、燈火管制

飛行場附近ニ在ル他部隊トノ連絡等

警備規定ヲ定ムルニ方リテハ關係飛行部隊指揮官ト連絡シ特ニ飛行場勤務トノ關係ヲ緊密ナラシム

ルコト緊要ナリ

第二節 警備部隊警備ノ要領

警備部隊トハ航空地區部隊及配屬セラレタル地上兵種部隊ヲ謂フ

一、要旨

警備部隊指揮官ハ特ニ警備ノ重點ヲ定メ部下部隊ニ警備ノ擔任區分ヲ示シ對空及地上ノ警備ニ任ゼシムルト共ニ所要ノ兵力ヲ豫備トシテ直轄スルモノトス此ノ際警備部隊指揮官ハ航空基地（飛行場）ニ位置スル關係部隊指揮官ト連絡シ其ノ直接警備スベキ兵器及施設又ハ地域ヲ詳知シ要スレバ警備ノ擔任、援助等ニ關シ協定スルコト緊要ナリ

航操一一三

二、對空警備

對空警備ノ爲ニハ敵機ノ來襲方向、掩護スベキ資材又ハ施設、其ノ配置等ヲ考慮シ所要ノ地點ニ對空監視哨ヲ配置シ且地上防空部隊ノ配置及對空射擊部隊ヲ定メ所在飛行部隊ノ邀擊戰鬥ト緊密ニ連繫セシムルモノトス

航操一一三

對空監視哨（兵）

對空監視ノ爲通常警備部隊指揮官直轄ノ下ニ對空監視哨ヲ配置スルト共ニ所要ノ部隊ニ對空監視兵ヲ設クルモノトス

3、警備ニ方リテハ動モスレバ警戒ニ狎レ志氣ノ弛緩ヲ來シ易シ故ニ指揮官ハ常ニ部下ノ掌握ヲ確實ニシ其ノ志氣ヲ振作スルト共ニ機會ヲ設ケテ警備ニ關スル訓練ヲ實施シ之ガ完璧ヲ期スルヲ要ス

航操二一八

四、警備規定

航空基地(飛行場)警備ノ爲航空地區司令官ハ上級指揮官ノ命令ニ基キ部隊ノ展開ニ伴ヒ速カニ警備ニ關スル規定ヲ定メ豫メ之ヲ部下部隊ニ徹底スルト共ニ關係部隊ニ通報シ警備ノ完璧ヲ期スルヲ要ス

警備規定ハ狀況ニ應ジ左記事項中所要ノ件ヲ定ムルモノトス

警備ノ擔任區分及其ノ指揮關係

對空、地上及對瓦斯警備ノ要領

戰備ノ度

警報ニ應ズル處置

彼我飛行機ノ識別法

防諜、防火、燈火管制

飛行場附近ニ在ル他部隊トノ連絡等

警備規定ヲ定ムルニ方リテハ關係飛行部隊指揮官ト連絡シ特ニ飛行場勤務トノ關係ヲ緊密ナラシム

ルコト緊要ナリ

航操二一

第二節 警備部隊警備ノ要領

警備部隊トハ航空地區部隊及配屬セラレタル地上兵種部隊ヲ謂フ

一、要旨

警備部隊指揮官ハ特ニ警備ノ重點ヲ定メ部下部隊ニ警備ノ擔任區分ヲ示シ對空及地上ノ警備ニ任ゼシムルト共ニ所要ノ兵力ヲ豫備トシテ直轄スルモノトス此ノ際警備部隊指揮官ハ航空基地(飛行場)ニ位置スル關係部隊指揮官ト連絡シ其ノ直接警備スベキ兵器及施設又ハ地域ヲ詳知シ要スレバ警備ノ擔任、援助等ニ關シ協定スルコト緊要ナリ

航操二一

二、對空警備

對空警備ノ爲ニハ敵機ノ來襲方向、掩護スベキ資材又ハ施設、其ノ配置等ヲ考慮シ所要ノ地點ニ對空監視哨ヲ配置シ且地上防空部隊ノ配置及對空射擊部隊ヲ定メ所在飛行部隊ノ邀擊戰鬥ト緊密ニ連繫セシムルモノトス

航操二一三

對空監視哨(兵)

對空監視ノ爲通常警備部隊指揮官直轄ノ下ニ對空監視哨ヲ配置スルト共ニ所要ノ部隊ニ對空監視兵ヲ設クルモノトス

對空監視哨ヲ配置スベキ位置ハ上空ニ對スル視界廣闊ニシテ飛行音ノ聽取容易ナルト共ニ指揮官及對空射擊ニ任ズル部隊トノ連絡ニ便ナルヲ要ス

對空監視哨及展望哨ヲ配置スルニ方リテハ敵ノ來襲ヲ判斷スル方面、監視區域及其ノ重點等ヲ示シ且報告、連絡法等ニ關シ所要ノ事項ヲ規定ス

高射部隊ノ配置

高射機關銃(砲)ハ各々其ノ特性ヲ發揮シ對空掩護ノ重點上空ニ濃密ナル火網ヲ構成シ得ル如ク其ノ配置ヲ定ム而シテ高射機關銃(砲)ノ陣地ハ豫想スル敵機ノ攻撃方向ニ對シ最モ有效ニ射擊シ得ル如ク主線ノ方向ヲ定メ且相互ニ射擊ヲ妨害セザル如ク概ネ梯形ニ配置スルヲ通常トス而シテ其ノ距離間隔ハ狀況ニ依リ異ルモ高射機關砲ニアリテハ長邊六十米短邊三十米ヲ標準トス

高射部隊以外ノ部隊

警備中隊ハ狀況ノ許ス限り警備小隊ヲ對空戰鬥ニ參加セシメ爾餘ノ部隊モ亦爲シ得ル限り對空射擊ヲ實施ス飛行場大隊長ハ之ガ爲所要ノ事項ヲ定ム

三、對地上警備

地上警備ノ爲ニハ掩護スベキ資材又ハ施設、其ノ配置、敵ニ關スル顧慮ノ大小等ヲ考慮シ警備ノ重點、警備地區、火點及陣地ノ位置、警備部隊ノ配置等ヲ定ムルモノトス

警備地區ハ飛行場ノ狀態等ヲ考慮シ兵力ニ適應スル如ク之ヲ定ム警備中隊ハ之ヲ若干ノ警備地區ニ

區分ス而シテ一警備地區ニハ通常一警備小隊ヲ配當シ一部ノ兵力ヲ豫備トシテ控置ス

警備地區ノ境界ハ成ルベク天然ノ地形ニ依リ且敵ノ近接シ易キ主要ナル道路及地區ハ勉メテ之ヲ境界線上ニ在ラシメザル如ク定ムルコト特ニ緊要ナリ

配置ノ要領 警備部隊ヲ配置スルニハ特ニ主要ナル道路及敵ノ近接容易ナル地區ヲ警戒シ所要ニ應ジ敵方ヲ展望スルニ便ナル地點及敵側ヨリ我が狀況ヲ視察スルノ虞アル地點要スレバ更ニ戰鬥ノ考慮上必要ナル地點ヲ占領シ時トシテ一部隊ヲ前方ノ地障線上或ハ交通路上ノ要點ニ派遣スルコトアリ敵機甲部隊ノ急襲ニ對シテハ地形ノ利用ヲ巧ニシ地雷、陷穽其ノ他ノ方法ニ依リ進路ヲ阻絶シ所要ノ對戰車火器ヲ配置ス此ノ際地障線等ヲ利用シ成ルベク遠ク敵ヲ拒止スルヲ有利トス

火力配置ニ方リテハ高射機關銃、高射機關砲ヲモ地上戰鬥ニ使用シ得ル如ク準備セシメ且手榴彈、擲彈筒、押收火器等ノ利用ニ勉ムルノミナラズ飛行部隊ト協定シ機上火器ノ地上戰鬥參加ヲモ適切ナラシムルヲ要ス

高射機關銃小隊及高射機關砲小隊ヲ地上戰鬥ニ參加セシムルニハ通常高射機關銃ハ火力ノ骨幹トシテ抵抗線前ノ要點ニ對シ熾烈ナル火力ヲ、高射機關砲ハ敵ノ機甲部隊或ハ重火器ノ現出ヲ豫想セララル地域ニ對シ其ノ威力ヲ發揮シ得ル如ク此等ヲ配置ス

四、對瓦斯警備

對瓦斯警備ノ爲ニハ防護ノ重點ヲ定メ之ニ應ズル瓦斯警戒、防護資材ノ配置、各部隊ノ防護擔任區

分、瓦斯ノ標示及記號等ヲ定ムルモノトス

五、戰備ノ度

飛行場ニ在ル部隊ハ豫想スル狀況、飛行場附近住民ノ我ニ對スル態度、飛行場ノ施設、地形、交通
寒著等ヲ考慮シ戰備ノ度ヲ適切ニシ狀況ニ適合セシムルヲ要ス

戰備ノ度ニ關シテハ警戒ニ服シアル部隊ノ假眠區分、各部隊休宿間ノ直接警戒、勤務間ノ服裝、炊
事、採暖、發煙、發光、合言葉、救急ノ諸準備等ニ就キ所要ノ事項ヲ定ムルモノトス

六、配屬部隊ノ用法

高射砲兵部隊ヲ配屬セラレタル場合ニ於テハ飛行場大隊長ハ通常之ヲ直轄シ概略ノ陣地及掩護上ノ
重點ヲ示シ任務ニ就カシム狀況ニ依リ地上戰闘ニ參加セシムルコトアリ

高射砲兵部隊以外ノ警備部隊ヲ配屬セラレタル場合ニ於テハ大隊長ハ其ノ特性、兵力、素質等ヲ考
慮シ之ヲ警備中隊ニ配屬シ或ハ其ノ長ヲシテ警備中隊ヲ併セ指揮セシム狀況ニ依リ大隊長直轄シテ
飛行場附近ノ要地ヲ占領セシメ又ハ危險ナル方面ニ派遣シテ警戒ニ任ゼシムルヲ可トスルコトアリ
如何ナル場合ニ於テモ勉メテ其ノ建制ヲ保持セシム

七、警備戰闘

1、敵ノ來襲ヲ察知シタル場合ニ於テハ警備部隊指揮官ハ機ヲ失セズ之ヲ上級指揮官ニ報告スルト
共ニ關係部隊ニ通報シ豫メ定ムル所ニ基キ速カニ部下部隊ヲシテ戰備ヲ整ヘシムルヲ要ス

2、敵機ノ來襲ニ際シテハ警備部隊指揮官ハ豫メ定ムル所ニ基キ又ハ臨機部下部隊ヲ部署シ速カニ
敵機ノ擊墜ニ勉ムルト共ニ損害ノ減少ヲ圖リ瓦斯防護、防火、救護等ニ遺憾ナカラシメ滑走路等
ヲ破壊セラレタル場合ニ於テハ飛行場司令ニ連絡シテ之ヲ標示スルト共ニ速カニ修復ニ勉ムルヲ
要ス此ノ際飛行部隊指揮官ハ機ヲ失セズ部下部隊ヲシテ警備部隊ノ戰闘ニ協力セシムルコト緊要
ナリ

3、空中挺進部隊ノ攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ警備部隊指揮官ハ降下又ハ著陸前ニ之ガ擊墜ニ勉
ムルト共ニ降下セル部隊ニ對シテハ豫メ定ムル所ニ基キ又ハ臨機部下部隊ヲ部署シ速カニ攻撃部
隊ヲ派遣シ其ノ集結ニ先ダチ各個ニ擊滅スルヲ要ス又著陸セル部隊ニ對シテハ其ノ著陸直後ノ混
亂ニ乗ジ之ヲ擊滅スルコト緊要ナリ

4、地上ヨリスル敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ警備部隊指揮官ハ豫メ定ムル所ニ基キ又ハ臨機
部下部隊ヲ部署シ且關係部隊ト緊密ニ協同シテ敵ノ擊滅ニ任ズルト共ニ飛行機、重要資材及施設
ノ安全ヲ圖ルヲ要ス

飛行場危險ニ陥リタル場合ニ於テハ指揮官以下身ヲ以テ飛行機、重要資材及施設ヲ掩護スルヲ要
ス

5、瓦斯攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ警備部隊指揮官ハ速カニ汚毒ノ狀況ヲ搜索シテ瓦斯效力ヲ判
斷シ要スレバ汚毒セル地域ノ標示、消(除)毒等ノ處置ヲ講ズルモノトス此ノ際先ヅ速カニ飛行部

隊ノ出動ニ支障ナカラシムル如ク處置スルコト緊要ナリ

第三節 飛行部隊ノ警備(戰規)

一、要 旨

戰隊長ハ展開ニ方リ飛行場大隊トノ協定ニ基キ戰隊直接警備ノ爲所要ノ處置ヲ講ズルト共ニ飛行場警備規定ヲ承知シテ速カニ之ヲ部下部隊ニ徹底セシメ特ニ敵機ノ來襲又ハ地上ノ敵ノ攻撃ニ際スル戰隊ノ行動ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

飛行場ニ於ケル戰隊ノ飛行機及休宿位置ハ飛行場警備一般ノ配置ニ依リ警備セラルルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ戰隊長ハ戰隊地上勤務者ヲ以テ飛行機及休宿位置直接警備ノ爲哨兵ヲ配置シ飛行場大隊ト連繫シ部隊衛兵ニ準ジ服務セシムルコトアリ

二、空中攻撃ヲ受ケタル場合

飛行場敵ノ空中ヨリ攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ戰隊長ハ豫メ規定セル所ニ基キ之ヲ邀撃シ敵機ノ擊墜ニ勉ムルト共ニ地上勤務者ハ飛行場大隊ノ對空戰鬥ニ協力セシムルモノトス

三、地上攻撃ヲ受ケタル場合

飛行場敵ノ地上ヨリスル攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ戰隊長ハ爲シ得レバ空中ヨリ敵ヲ攻撃シ飛行場警備部隊ノ戰鬥ヲ容易ナラシメ又ハ機ヲ失セズ空中部隊ヲ他ノ飛行場ニ移動シテ敵ノ攻撃ヲ無効

ナラシムルコト緊要ナリ

狀況離陸ヲ許サザル場合ニ於テハ戰隊長ハ豫メ規定セル所ニ基キ各中隊及整備隊ヲシテ飛行機ヲ直接掩護セシムルト共ニ飛行場大隊長ト緊密ニ連繫シテ特ニ飛行機ノ掩護ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

四、瓦斯攻撃ヲ受ケタル場合

飛行場敵ノ瓦斯攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ戰隊長ハ飛行場大隊ト連繫シ飛行場警備規定ニ基キ機ヲ失セズ對瓦斯處置ヲ講ズルト共ニ飛行場大隊ノ指導ニ依リ速カニ人員、資材ノ消毒ヲ實施シ空中勤務ニ支障ナカラシムルコト緊要ナリ此ノ際敵ハ瓦斯攻撃ニ引續キ攻撃ヲ反復シ又ハ瓦斯ヲ以テ波狀攻撃ヲ行フコトアルヲ以テ之ガ對策ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

五、戰鬥間警戒ノ爲著意スベキ件

戰鬥間戰隊長ハ敵機活動ノ狀況、飛行場ノ狀況特ニ敵ノ攻撃ニ依ル損害ノ狀況、氣象等ヲ考慮シ飛行場大隊ト連絡シ要スレバ部下各中隊ノ配置ヲ變更シ或ハ警備ノ部署ヲ變更スル等飛行場ニ於ケル諸勤務ヲ狀況ニ適應セシムルヲ要ス

第四章 補給及修理並ニ輸送

第一節 一般ノ要領

一、要 旨

戦闘遂行ノ爲必要ナル航空用資材ハ所要量著大ニシテ且複雑多岐ニ互リ之ガ補給ハ常ニ必ズシモ容易ナラザルヲ通常トス故ニ指揮官ハ不斷ノ努力ヲ拂ヒ航空用資材ノ圓滑ナル補給ヲ期スルト共ニ之ガ愛護節用及自隊修理ニ勉メ以テ飛行部隊ノ戦力發揮ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操一四
二

航空部隊ニ於ケル航空用資材ノ補給及修理ハ關係機關ノ緊密ナル協同連繫ニ依リ始メテ其ノ完キヲ期シ得ルモノトス故ニ補給及修理機關ノ指揮官ハ業務ノ實施ニ方リ常ニ上下左右ノ連絡ヲ緊密ニシ相互積極的ニ協力スルコト緊要ナリ而シテ一般兵器及資材、糧食、衛生材料等ノ補給ニ關シテハ地上軍兵站機關トノ連繫ヲ緊密ナラシムルヲ要ス

航操一四
三

二 補給修理ニ關スル各級指揮官ノ責務

1、航空軍司令官、飛行師團長、飛行團長(作綱四〇一ニ據ル)

2、補給修理機關

補給及修理ノ主眼ハ飛行部隊ノ要求ヲ充足スルニ在リ故ニ補給及修理機關ノ指揮官ハ補給及修理

ニ關スル詳細ナル計畫ヲ定メ其ノ實施ヲシテ部隊ノ需要ニ即應セシムルト共ニ常ニ狀況ノ變化ニ應ジ得ルノ準備ヲ整ヘアルヲ要ス之ガ爲指揮官ハ進ンデ關係部隊就中飛行部隊ノ實情ニ親炙シ其ノ狀況ヲ明カナラシムルト共ニ狀況ニ應ジ適時計畫ヲ補綴修正シ之ガ適正ヲ期スルコト緊要ナリ

航空廠(作綱第四〇二參照)野戰航空修理廠(作綱四〇三參照)

船舶航空廠(作綱四〇四參照)野戰航空補給廠(作綱四〇五參照)

3、航空地區部隊(作綱四〇一、細部ハ第二章參照)

4、飛行部隊(第三章參照)

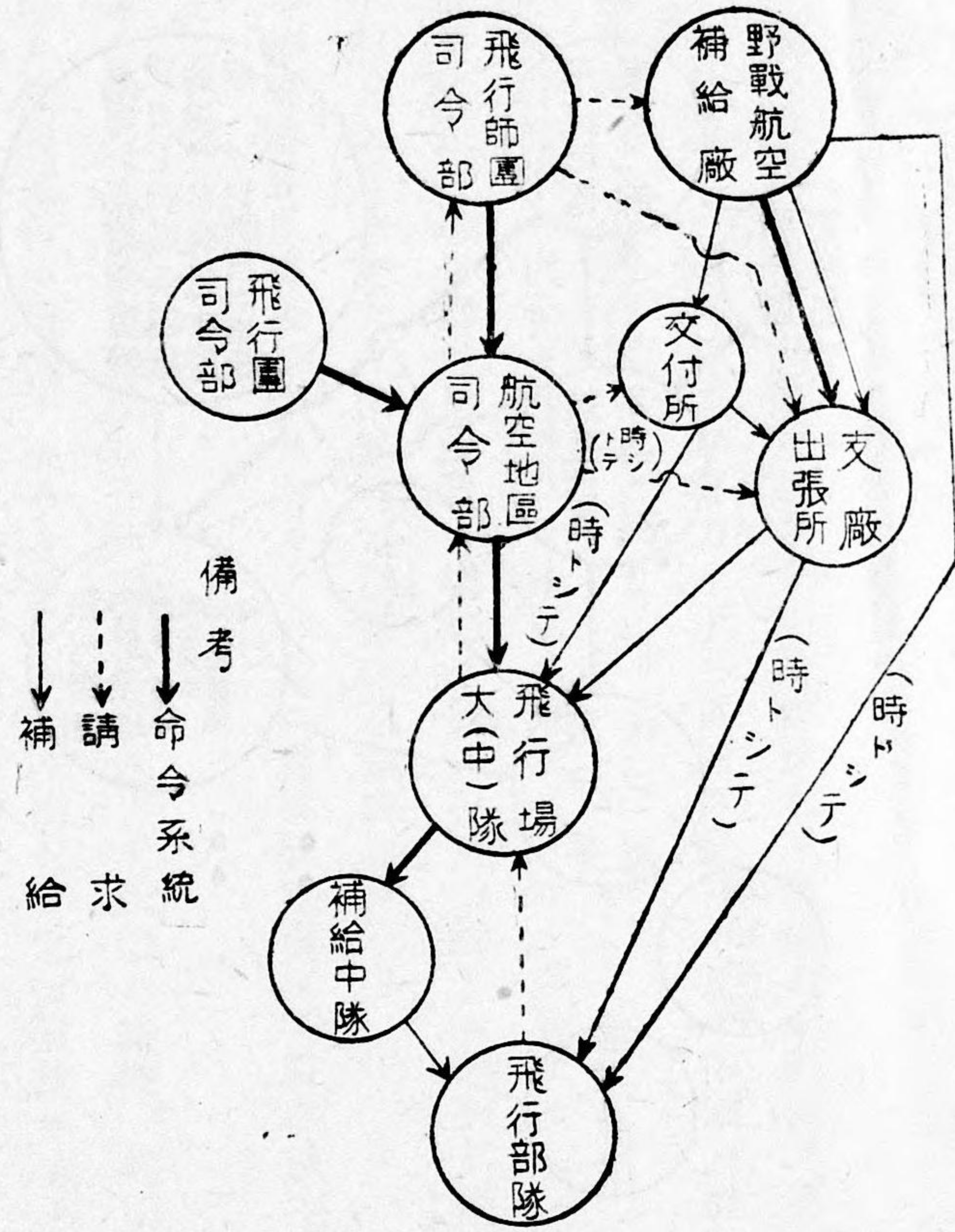
三、航空資材ノ集積

飛行師團長ノ集積ノ要領(作綱一七四、四〇六ニ據ル)

四、補 給

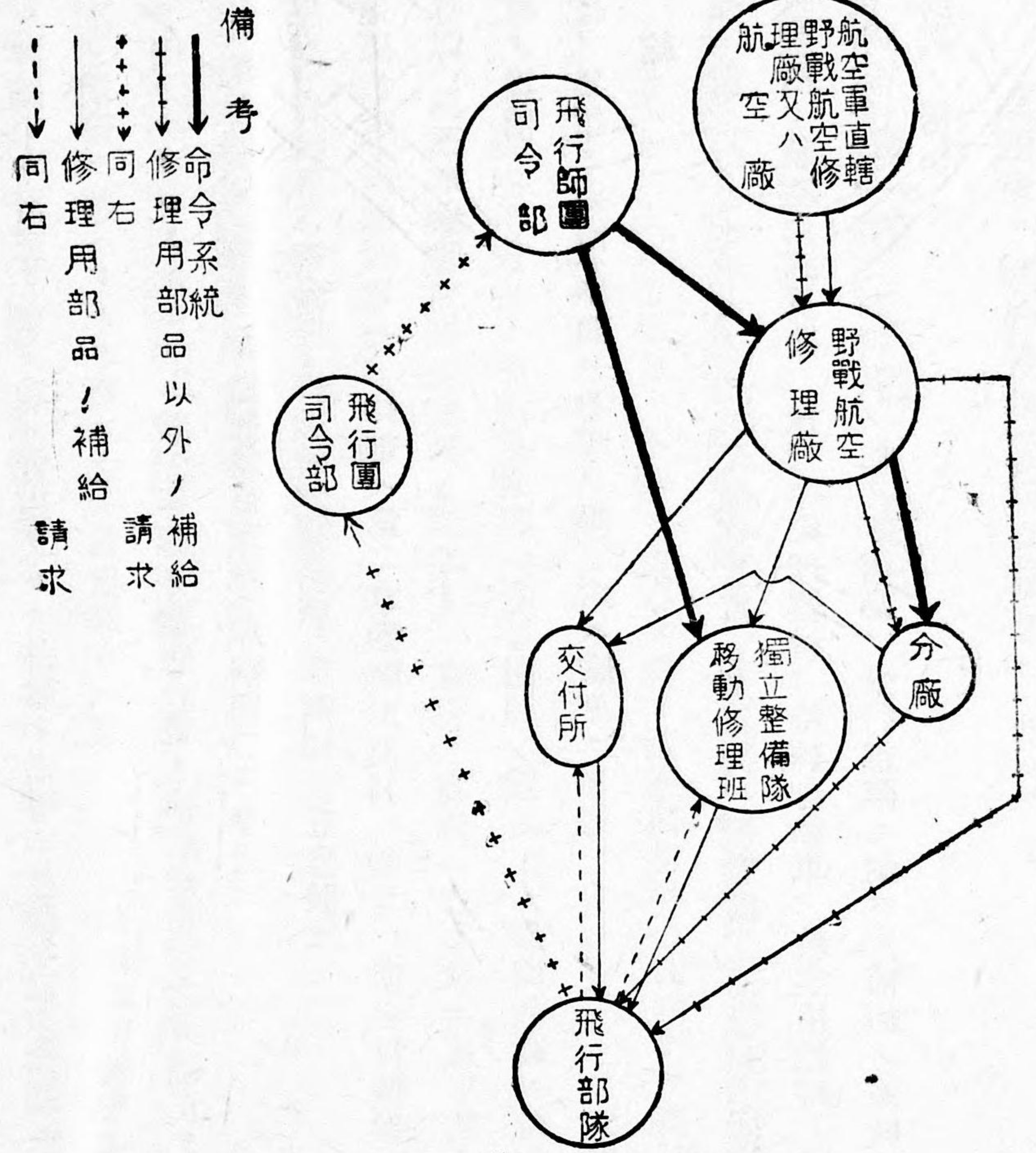
補給ハ損耗ニ對シ行ハルルモノニシテ航空兵器(飛行機、發動機、同部品、搭載機關砲(銃)、搭載並ニ地上無線機、航空用寫真機、飛行機修理器材、特殊自動車、航空用燃料、同彈藥、酸素等)地上兵器、化學戰資材、衛生材料其ノ他ノ軍需品ノ飛行部隊ニ對スル補給ノ系統左ノ如シ

1、航空兵器ノ補給



(口) 航空用燃料、彈藥、酸素(作綱四〇七參照)

(イ) 航空兵器(航空用燃料、彈藥、酸素ヲ除ク)(作綱四〇七參照)

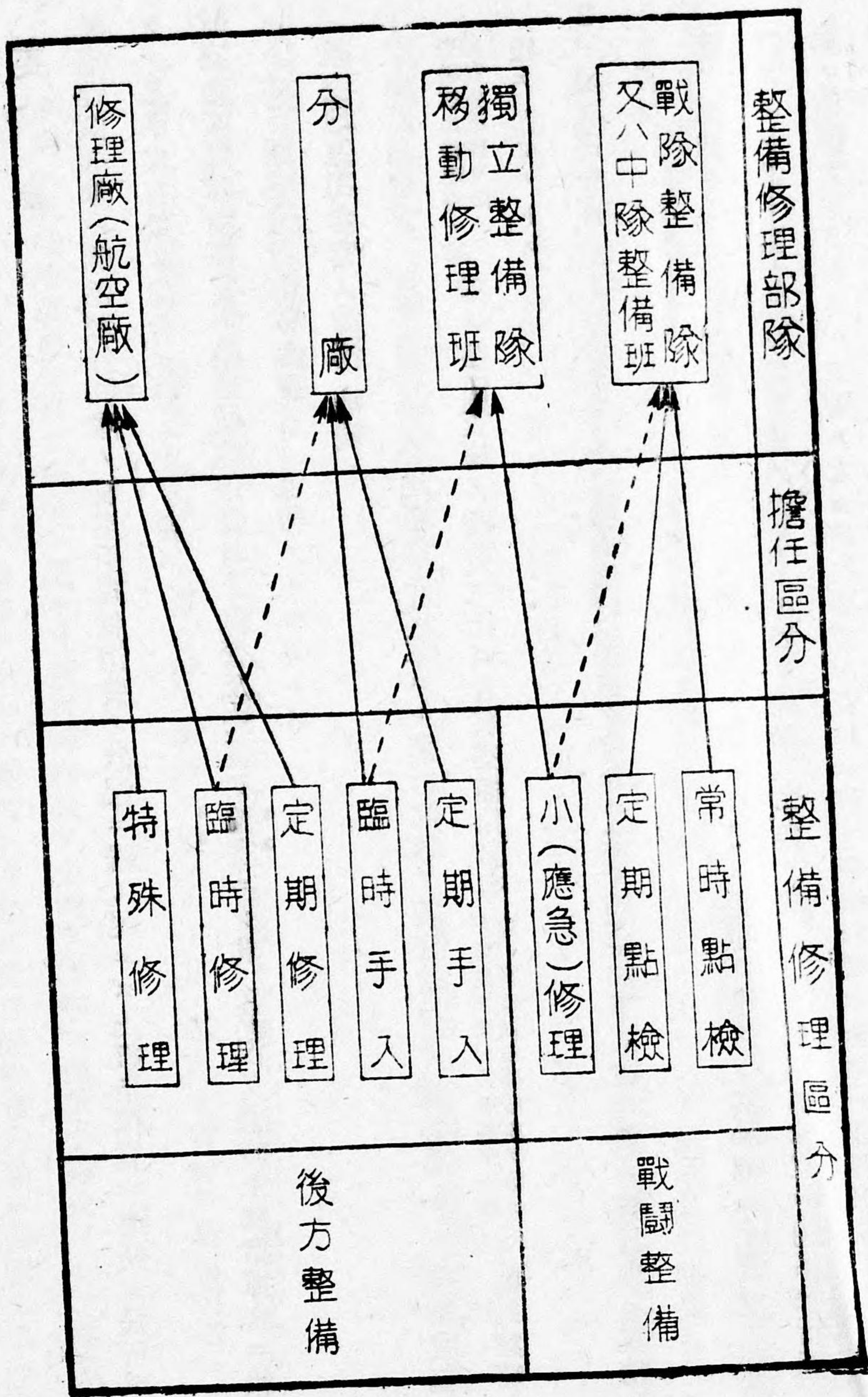


航空高級指揮官ハ修理機關ノ運用ヲ適切ニシ通常獨立整備隊ヲ、所要ニ應ジ移動修理班ヲ所要ノ飛行場ニ派遣シテ作業ヲ實施セシメ以テ戰隊ノ作業ヲ補備増強シ迅速ナル戦力ノ恢復ニ寄與シ以テ整備ノ重點ヲ形成シ或ハ急需ニ應ズルヲ要ス而シテ此等修理機關ノ勤務及移動等ノ爲ニハ航空地區部隊、輸送飛行隊、輸送機關等ヲシテ援助セシムルモノトス

4、部品ノ補給

修理用部品、材料及工具等ノ補給ノ良否ハ整備ノ爲大ナル影響ヲ有スルヲ以テ之ガ補給ヲ良好ナラシムルト共ニ整備修理機關ハ現地ニ在ル修理用資材ノ利用ニ勉ムルコト緊要ナリ

5、各部隊ノ整備(修理)ノ擔任區分左ノ如シ



備考

- 1、點線ハ狀況ニ依リ行フモノヲ示ス
- 2、擔任區分概略右ノ如シト雖モ狀況ニ依リ彼此援助シ明確ナル區分ヲ附シ難キ場合アリ

第二節 航空地區部隊

一、要 旨

航空地區部隊ハ關係飛行部隊ノ航空用資材消費ノ狀況ニ鑑ミ絶エズ上級指揮官ニ連絡シ飛行場ニ於ケル基準保有量ノ保有ニ勉ムルヲ要ス

航操一四
六

航空地區部隊指揮官ハ集積航空用資材ノ保管及掩護ヲ確實ニシ其ノ狀況ヲ適時上級指揮官ニ報告スルト共ニ關係飛行部隊指揮官ニ通報スルモノトス

航操一四
七

二、航空地區司令官ノ業務(地規)

1、地區司令官ハ通常擔任航空地區内ニ位置スル飛行部隊ノ戰闘遂行ノ爲必要ナル補給實施業務野戰航空修理廠ノ補給並ニ整備實施ノ援助ニ任ジ且航空補給諸廠野戰航空廠、野戰航空修理廠、野戰航空補給廠ヲ除ク給實施業務ヲ除ク輸送業務ヲ擔任スルモノトス

2、地區司令官ハ上級指揮官又ハ關係飛行團長ノ命令ニ基キ適時部下部隊ニ對シ飛行場ニ集積スベキ資材就中燃料、彈藥、酸素等ノ種類、數量及基準保有量、補充ヲ受クベキ部隊及時期要スレバ保管、出納ニ任ズベキ部隊、補給スベキ部隊等ニ關シ所要ノ事項ヲ示スト共ニ絶エズ資材ノ狀況ヲ詳カニシ常ニ其ノ基準保有量ヲ充足スル如ク補給ノ手段ヲ講ジ以テ航空部隊就中關係飛行團ノ活動ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス之ガ爲主要ナル資材ニ就キ各飛行場ニ對スル集積及補給計畫ヲ策定ス

スルコト緊要ナリ

3、燃料、彈藥、酸素等ノ補給ハ野戰航空補給廠、同支廠又ハ同出張所ヨリ、其ノ他ノ航空兵器ノ補給ハ野戰航空修理廠、同分廠又ハ移動修理班ヨリ、飛行場設定材料、糧秣、被服、衛生材料等航空兵器以外ノ軍需品ノ補給ハ指定セラレタル最寄軍兵站機關又ハ軍補給諸廠ヨリ受クルヲ通常トス時トシテ交付所ヨリ各種航空資材ノ補給ヲ受クルコトアリ而シテ此等補給機關ト飛行場トノ間ノ輸送ハ上級指揮官ノ策定セル輸送計畫又ハ其ノ要項ニ基キ地區司令官之ヲ實施スルモノトス

交付所ヲ開設セラレタル場合ニ於テハ地區司令官ハ勉メテ所要ノ機關ヲ派遣シ補給業務ヲ圓滑ナラシムルヲ要ス

三、飛行場大隊長ノ業務(地規)

1、大隊長ハ任務ニ基キ關係部隊トノ連絡ヲ緊密ニシ狀況ノ推移ニ即應スル補給ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス之ガ爲戰況ノ推移ヲ洞察シテ諸資材ノ準備ヲ整フルト共ニ所在ノ資材ヲ最モ有效ニ融通活用スルコト緊要ナリ

2、大隊長ハ航空地區司令官ノ命令ニ基キ且飛行部隊長ノ企圖ヲ詳知シ補給中隊長ヲシテ諸資材就中燃料、彈藥及酸素ノ集積及保管ヲ適切ナラシメ要スレバ之ヲ擔任機動飛行場ニ分置シ以テ飛行部隊ノ要求ニ即應スルヲ要ス

3、諸資材ヲ飛行部隊等ニ補給シタル場合ニ於テハ大隊長ハ航空地區司令官ノ定ムル所ニ基キ速カニ之ガ補充ノ處置ヲ講ジ要スレバ獨斷補給諸廠等ニ就キ補給ヲ受クルノ著意肝要ナリ

4、大隊長ハ航空地區司令官ノ定ムル所ニ基キ燃料、彈藥、酸素等ノ保有量其ノ他保管セル諸資材ノ狀況ヲ適時報告スルト共ニ所要ニ應ジ飛行部隊長等ニ通報シ其ノ戰鬥指導ニ資スルコト緊要ナリ

四、補給中隊長ノ業務(地規)

1、中隊長補給命令ヲ受クルヤ通常小隊長ニ補給ヲ受クベキ部隊、資材ノ種類及數量、補給ノ要領要スレバ小隊長相互ノ協同關係、差出人員及器材等ニ關シ所要ノ事項ヲ命令スルモノトス

飛行部隊ニ對スル補給要領ハ飛行部隊トノ協定ニ基キ大隊長ノ定ムル所ニ依ルヲ通常トスルモ特ニ積極的ニ協力シ飛行部隊ノ要求ニ即應シテ之ヲ充足シ苟モ補給上ノ缺陷ニ依リ其ノ行動ヲ拘束スルガ如キコトナカラシムルヲ要ス

2、中隊長ハ常ニ資材就中燃料、彈藥、酸素ノ狀況ヲ詳知シ日々之ヲ大隊長ニ報告スルト共ニ適時關係部隊ニ通報シ之ガ連絡ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

中隊長ハ要スレバ資材ノ補給就中補充ノ請求ニ關シ意見ヲ具申シ補給ヲ適切ナラシムルヲ要ス

第三節 飛行部隊(戰規)

一、要旨

航空兵器ノ整備及修理ハ飛行部隊戰力發揮ノ基礎ナリ故ニ飛行部隊指揮官ハ上級指揮官ノ企圖ニ基キ戰況ノ推移ヲ豫察シ之ニ適應スル如ク豫メ綿密ナル計畫ヲ定メ關係航空修理機關ト聯繫シ航空兵器ノ整備及修理ノ完璧ヲ期スルモノトス

航操一四
八

二、飛行團長

飛行團長ハ戰鬥開始ニ先ダテ戰鬥經過ヲ豫想シテ兵器ノ整備及諸資材ノ準備ニ關シ部下部隊ニ憑據ヲ與ヘ又戰鬥間常ニ各部隊ノ兵器及諸資材ノ損耗ノ狀況ヲ明カニスルト共ニ修理及補給機關トノ聯繫ヲ緊密ニシ此等機關ノ作業ヲシテ克ク飛行部隊ノ狀況ニ適應セシメ戰鬥間ニ於ケル兵器ノ整備及諸資材ノ補給ニ關シ遺憾ナカラシムルヲ要ス

三、戰隊長

1、整備及補給ノ指導

戰隊長ハ飛行團長ノ指示ニ基キ戰鬥ノ推移、戰隊兵器ノ現況及關係協力部隊ノ狀況ヲ考慮シテ整備並ニ補給ニ關スル方針及整備ニ關スル規定ヲ定メ之ヲ整備隊長ニ明示シ整備勤務及整備實施ノ爲ノ準據ヲ與フルト共ニ絶エズ整備實施ヲ指導シ關係航空補給修理諸廠トノ聯繫ヲ緊密ニシ適時

的確ナル要求ヲ行ヒ以テ戰隊全般ノ兵器整備ノ完璧及補給ノ圓滑ヲ期スルヲ要ス
戰隊長ハ戰隊保管兵器ノ現況ニ關シ適時飛行團長ニ報告スルヲ要ス

2、整備ニ關スル部署

戰隊長ハ戰隊整備力ノ運用ヲ適切ニシ飛行中隊ノ空中勤務遂行ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス之ガ爲
整備隊長ヲシテ指揮班及各飛行中隊ノ整備ヲ統一指揮セシムルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ所要ノ
整備力ヲ一時飛行中隊長ノ指揮ニ入ラシメ中隊毎ニ整備ヲ實施セシムルコトアリ
戰隊長ハ各飛行中隊ノ活動狀況竝ニ整備力ヲ考慮シ要スレバ所要ノ整備力ヲ飛行中隊ニ配屬シ或
ハ修理ト整備トニ對スル重點指向ヲ變更スル等戰隊兵器ノ整備ニ遺憾ナカシムルヲ要ス
戰隊長ハ勉メテ各中隊使用飛行機竝ニ空中勤務者ト整備人員トノ關係ヲ固定シ空中勤務者ヲシテ
常ニ兵器ニ親炙シ積極的ニ之ガ整備ニ協力セシムルヲ要ス戰鬪激烈ナル場合ニ於テ特ニ然リ

3、兵器整備ニ關スル方針竝ニ規定

戰隊長ノ策定スベキ戰隊兵器整備ニ關スル方針竝ニ之ニ關スル規定ニ包含セシムベキ事項概ネ左
ノ如シ

戰鬪ニ應ズル機體、發動機其ノ他ノ兵器整備ノ時期、數、更新ニ關スル要綱

戰鬪整備ノ爲獨立整備隊及移動修理班ノ協力要項

後方整備ノ爲關係野戰航空修理廠、同分廠トノ協同連繫

戰隊内ニ於ケル兵器及器材ノ改修

戰鬪ノ爲各中隊ニ對スル兵器及裝備器材等ノ交付

戰鬪整備竝ニ後方整備ノ圓滑ナル實行ヲ期スル爲ノ關係諸部隊ノ施設、兵器及器材ノ運用

兵器及器材ノ更新ニ基ク整備及取扱教育等

4、關係機關トノ連繫

戰隊長ハ常ニ兵器及器材ノ狀況ヲ知悉シ作戰及訓練ニ基ク兵器及器材損耗ノ状態ト整備隊、獨立
整備隊ノ戰鬪整備竝ニニ關係野戰航空修理廠、同分廠ノ後方整備能力トヲ克ク調和セシメ兵器ノ
損耗一時ニ多發セル場合ニ於テモ常ニ戰隊ノ兵器ニ餘裕アラシムルヲ要ス之ガ爲絶エズ整備隊及
獨立整備隊ニ於ケル兵器及器材整備ニ關スル統計資料ヲ收集整理シ且之ヲ統計的ニ察觀シ整備竝
ニ補給計畫ノ基礎タラシムルト共ニ兵器及器材整備改善ノ資料タラシムルノ著意緊要ナリ

戰隊長ハ適時燃料、彈藥及酸素等ノ消費數量竝ニ兵器及器材ノ現況ヲ飛行師團長、飛行團長、飛
行場大隊、關係野戰航空修理廠、同分廠、野戰航空補給廠、同支廠及出張所等ニ報告、通報シ
速カニ之ガ補填ヲ完了シ又ハ補給準備ノ完璧ヲ期セザルベカラズ之ガ爲戰隊長ハ各種ノ手段ヲ
講シ要スレバ自隊飛行機ヲ以テ積極的ニ關係航空補給修理諸廠ニ就キ補給ヲ受クルノ著意緊要
ナリ

5、修理機ノ處置

修理ヲ必要トスル飛行機ヲ生ジタル場合ニ於テハ戰隊長ハ其ノ狀況ヲ速カニ上級指揮官ニ報告スルト共ニ自隊ニ於テ修理シ得ベキヤ否ヤヲ決定シ要スレバ關係修理機關ト協力シテ速カニ修理ヲ完成スルヲ要ス

修理ヲ必要トスル飛行機ニシテ飛行シ得ルモノハ部隊自ラ之ヲ關係修理機關ニ空中輸送シ自隊裝備定數内ノ完備機ヲ受領スルヲ通常トス

航操一四
九

6、飛行場變換

作戰ノ推移ニ應ジ戰隊展開航空基地ヲ移動スル場合ニ於テハ戰隊長ハ飛行團長ノ企圖ニ基キ戰隊兵器及器材ノ損耗又ハ命數ト新作戦ニ應ズル豫想整備量竝ニ整備力トヲ判定シ新任務ニ應ズル如ク戰隊ノ整備人員竝ニ所要兵器ノ推進計畫ヲ立案シ且機ヲ失セズ新任務ノ爲豫想スル所要整備力、補給資材等ニ關シ飛行團長ニ意見ヲ具申スルト共ニ其ノ命令ニ基キ關係航空補給修理諸廠ト細部ノ協定ヲ實施シ戰隊戦力ノ維持充實ニ罅隙ナカラシムルコト緊要ナリ

第四節 輸送

航空部隊ノ輸送ハ陸路輸送、水路輸送及空路輸送ニ依ルモノトス
陸路、水路(海上)輸送ノ爲ハ鐵道、船舶、自動車、動物等ヲ利用シ空路輸送ノ爲ニハ輸送機、グライダ―等ヲ用フ

一、陸(水)路輸送

第七篇機動ヲ參照スベシ

二、空路輸送

- 1、飛行シ得ル飛行機ハ空路輸送ニ依ルヲ本則トス
- 2、人員、資材ノ空輸ハ緊要ナル方面、時機ニ限定スベキモノトス但シ特殊ノ場合ニ於テハ終始空輸ニ依ラザルベカラザルコトアリ
- 3、空路輸送ヲ容易ナラシム爲内地ヲ中心トシテ作戰地ニ至ル間及作戰地内ニ所要ノ航空路ヲ設定スルモノトス

第五章 休宿、給養並ニ衛生

第一節 休宿及給養

要旨

戰鬥間ニ於ケル航空部隊ハ其ノ形態ニ於テ駐軍態勢ニ在リト雖モ戰鬥(勤務)ハ晝夜ニ互リ且長期ニ及ブコト多ク加之航空基地ハ絶エズ空地ヨリスル敵ノ攻撃目標タリ故ニ航空部隊ハ戰鬥間常ニ對敵觀念

ヲ旺盛ニシ志氣ノ振作ニ勉メ以テ警備ヲ至嚴ナラシムルト共ニ休宿及給養ヲ適切ニシ長期ニ互ル戰闘
(勤務)ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航空部隊ハ戰闘間觀方ニ依リテハ常ニ駐軍態勢ニ在リト雖モ一面不斷ニ戰闘ヲ繼續シ而モ其ノ編制ハ
空地兩部隊ニ分レアルヲ以テ地上軍隊ニ於ケル陣中勤務トハ其ノ趣ヲ異コス

航操五〇

第一款 休 宿

一、戰闘間ニ於ケル休宿要領

戰闘間ニ於ケル航空部隊ノ休宿ハ各部隊ノ本務ニ應ジ戰闘(勤務)ノ狀況ヲ考慮シ部隊毎ニ之ヲ律ス
ルモノモノトス

戰闘間航空部隊ハ航空基地ニ於テ休宿スルモノトス而シテ各部隊ハ任務ニ應ジ所要ノ人員ヲ飛行場
ニ休宿セシメ警備及戰闘準備ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

航操一五
五一、一
五二

飛行場ニ休宿セシムベキ人員ハ邀撃及警備戰闘、飛行場勤務、不時ノ事變ノ發生等ニ即應スベキ所
要ノ者トシ其ノ他ノ者ハ飛行場ヨリ適宜離隔セル航空基地内適當ノ地點ニ於テ休宿スルモノトス

二、休宿地ノ選定及設備

航空地區部隊指揮官ハ高級指揮官ノ命令ニ基キ戰闘間ニ於ケル各部隊ノ任務ヲ考慮シ航空基地内ニ
其ノ休宿地ヲ選定シ休宿設備ヲ整フルモノトス之ガ爲各部隊ノ任務、戰況、航空基地施設、住民地

航操一五
三

等ノ許ス限リ家屋ヲ利用セシメ所要ニ應ジ宿舍、幕舎等ヲ建設スルモノトス而シテ休宿設備ハ戰闘
並ニ飛行場ニ於ケル各種勤務ニ支障ナキ限リ勉メテ飛行地區ヨリ離隔セシメ且分散遮蔽シテ設備ス
ルヲ要ス

三、休宿地ノ配當、内務及警戒

戰闘間航空部隊休宿ノ爲ニハ當該飛行場ニ在ル航空地區司令官又ハ飛行場大隊長ハ舍(露)營司令官
ニ準ジ各部隊ニ休宿地區ヲ配當シ飛行部隊指揮官等ト協定シ休宿ノ爲ノ内務、警備等ニ關スル事項
ヲ定メ之ヲ統轄スルモノトス

戰闘間ニ於ケル航空部隊休宿地ノ警戒ハ地上勤務部隊ヲ以テスル警備一般ノ配置ニ依リ其ノ目的ヲ
達スルヲ本旨トシ狀況ニ依リ休宿地直接警戒ノ爲衛兵等ヲ配置スルコトアリ而シテ該衛兵ハ休宿部
隊ノ人員ヲ以テ編成スルヲ通常トスルニ狀況ニ依リ其ノ他ノ部隊ヨリ所要ノ人員ヲ差出サシムルコ
トアリ

航操一五
五四、一
五五

四、勤 務 員

戰闘間航空部隊ハ休宿ノ爲ノ勤務員ヲ設ケザルヲ通常トス時トシテ舍(露)營司令官以下宿營ノ勤務
員ヲ設クルコトアリ

航操一五
六

集中地等特別ノ場合トス

五、宿 營

第十篇 航空基地及基地内ニ於ケル諸勤務

第五章 休宿、給與並ニ衛生

二八九